

インターフェース仕様書  
サービス事業所編

平成19年3月



# 目次

1. 障害福祉サービス .....	1
1.1. 介護給付費等の請求について .....	1
1.1.1. サービスの基本的な流れ .....	1
1.1.2. 返戻 .....	3
1.1.3. 再請求 .....	3
1.1.4. 過誤申し立ての依頼 .....	3
1.2. インタフェース仕様 .....	4
1.2.1. 受け渡し概要図 .....	4
1.2.1.1. 請求情報受け渡し概要 .....	5
1.2.1.2. 過誤情報受け渡し概要 .....	7
1.2.2. インタフェース一覧 .....	9
1.2.2.1. 介護給付費等請求書・明細書情報(入力情報) .....	9
1.2.2.2. 利用者負担上限額管理結果票情報(入力情報) .....	9
1.2.2.3. 利用者負担額一覧表情情報(サービス事業所等間の受け渡し情報) .....	9
1.2.2.4. サービス提供実績記録票情報(入力情報) .....	10
1.2.2.5. 増減単位数返戻通知情報(出力情報) .....	10
1.2.2.6. 支払通知情報(出力情報) .....	10
1.2.3. 項目説明 .....	11
1.2.3.1. 介護給付費等 請求書情報 .....	11
1.2.3.2. 介護給付費等 明細書情報 .....	14
1.2.3.3. サービス利用計画作成費請求書情報 .....	33
1.2.3.4. 利用者負担上限額管理結果票情報 .....	36
1.2.3.5. 利用者負担額一覧表情情報 .....	42
1.2.3.6. サービス提供実績記録票情報 .....	44
1.2.3.7. 障害福祉サービス費等支払決定増減表情情報 .....	96
1.2.3.8. 返戻等一覧表情情報 .....	100
1.2.3.9. 支払通知情報 .....	103
2. 障害児施設給付 .....	104
2.1. インタフェース仕様 .....	104
2.1.1. 受け渡し概要図 .....	104
2.1.1.1. 請求情報受け渡し概要 .....	105
2.1.1.2. 過誤情報受け渡し概要 .....	107
2.1.2. インタフェース一覧 .....	109
2.1.2.1. 障害児施設給付費請求書・明細書情報(入力情報) .....	109
2.1.2.2. 利用者負担上限額管理結果票情報(入力情報) .....	109
2.1.2.3. 利用者負担額一覧表情情報(サービス事業所等間の受け渡し情報) .....	109
2.1.2.4. サービス提供実績記録票情報(入力情報) .....	109
2.1.2.5. 増減単位数返戻通知情報(出力情報) .....	110
2.1.2.6. 支払通知情報(出力情報) .....	110
2.1.3. 項目説明 .....	111
2.1.3.1. 障害児施設給付費 請求書情報 .....	111
2.1.3.2. 障害児施設給付費 明細書情報 .....	114
2.1.3.3. 利用者負担上限額管理結果票情報 .....	128
2.1.3.4. 利用者負担額一覧表情情報 .....	134

2.1.3.5.	サービス提供実績記録票情報	136
2.1.3.6.	障害児施設給付費等支払決定増減表情報	150
2.1.3.7.	返戻等一覧表情報	154
2.1.3.8.	支払通知情報	157
3.	共同処理業務	158
3.1.	インターフェース仕様	158
3.1.1.	受け渡し概要図	158
3.1.1.1.	請求情報受け渡し概要	159
3.1.1.2.	過誤情報受け渡し概要	161
3.1.2.	インターフェース一覧	163
3.1.2.1.	請求書・明細書情報(入力情報)	163
3.1.2.2.	増減単位数返戻通知情報(出力情報)	163
3.1.2.3.	支払通知情報(出力情報)	163
3.1.3.	項目説明	164
3.1.3.1.	地域生活支援事業 請求書情報	164
3.1.3.2.	地域生活支援事業 明細書情報	167
3.1.3.3.	地域生活支援事業等支払決定増減表情報	176
3.1.3.4.	返戻等一覧表情報	180
3.1.3.5.	支払通知情報	183

## 1. 障害福祉サービス

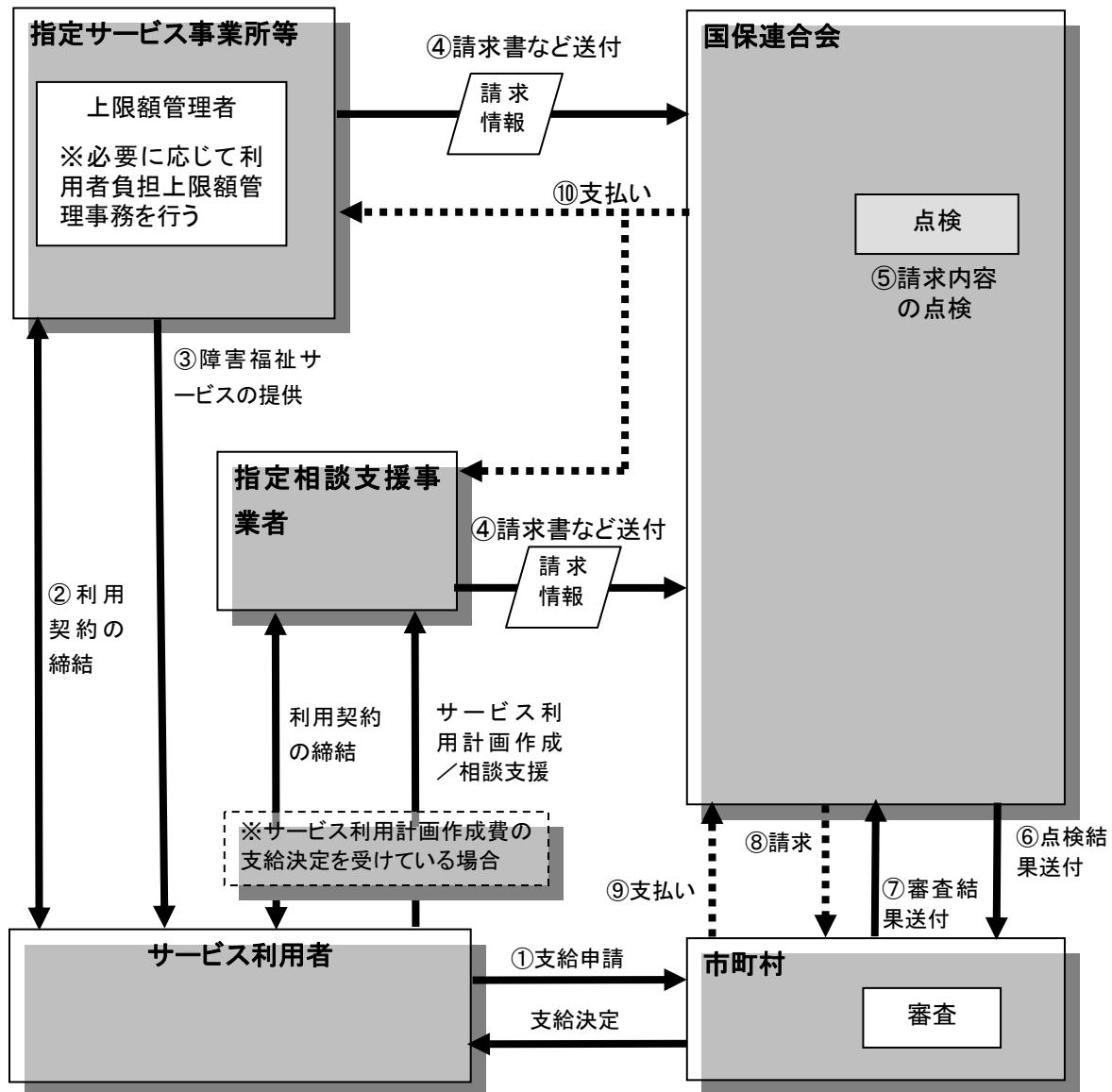
### 1.1. 介護給付費等の請求について

#### 1.1.1. サービスの基本的な流れ

サービスの基本的な流れを以下に示す。

- ① 障害福祉サービスの利用を希望する障害者は、市町村に障害福祉サービスの支給申請を行う。
- ② 市町村より障害福祉サービスの支給決定を受けた支給決定障害者等は、指定サービス事業者又は指定障害者支援施設(以下、「指定サービス事業者」という。)と利用契約を締結する。なお、市町村よりサービス利用計画作成費の支給決定を受けた支給決定障害者等は、指定相談支援事業者に障害福祉サービスにかかる利用計画の作成を依頼し、指定サービス事業者と利用契約を締結する。
- ③ 利用契約を締結した指定サービス事業者は、支給決定障害者等に個別支援計画等に従って、障害福祉サービスを提供する。
- ④ 指定サービス事業者及び指定相談支援事業者(以下、「指定サービス事業者等」という。)は、サービス提供の翌月に、介護給付費・訓練等給付費等の請求に関する情報(以下、「請求情報」)を作成して、国民健康保険団体連合会(以下、「国保連合会」という。)あて送付する。また、指定サービス事業者等は、必要に応じて他の指定サービス事業者と支給決定障害者等の利用者負担にかかる利用者負担上限額管理にかかる調整事務を行う。
- ⑤ 国保連合会は、指定サービス事業者等より送付された請求情報を市町村より提供された支給決定等に関する情報等を突合し、請求内容の点検を行う。
- ⑥ 国保連合会は、指定サービス事業者等からの請求情報の点検後に、市町村に点検結果の情報を送付する。
- ⑦ 市町村は、国保連合会から送付された点検結果情報を審査し、審査終了後、国保連合会に審査結果を送付する。
- ⑧ 国保連合会は、市町村審査結果に基づき、市町村あて介護給付費・訓練等給付費等の請求を行う。
- ⑨ 市町村は、国保連合会からの介護給付費・訓練等給付費等を支払う。
- ⑩ 国保連合会は、指定サービス事業者等に介護給付費・訓練等給付費等を支払う。

## サービスの基本的な流れ



#### 1.1.2. 返戻

介護給付費・訓練等給付費 請求書／明細書情報、契約報告書情報、サービス利用計画作成費請求書情報、サービス提供実績記録票情報、利用者負担上限月額管理結果票情報(以下、請求関係情報と呼ぶ)の内容に誤りがあった場合、国保連合会において点検エラーとなり、市町村の審査によって返戻が行われる。

#### 1.1.3. 再請求

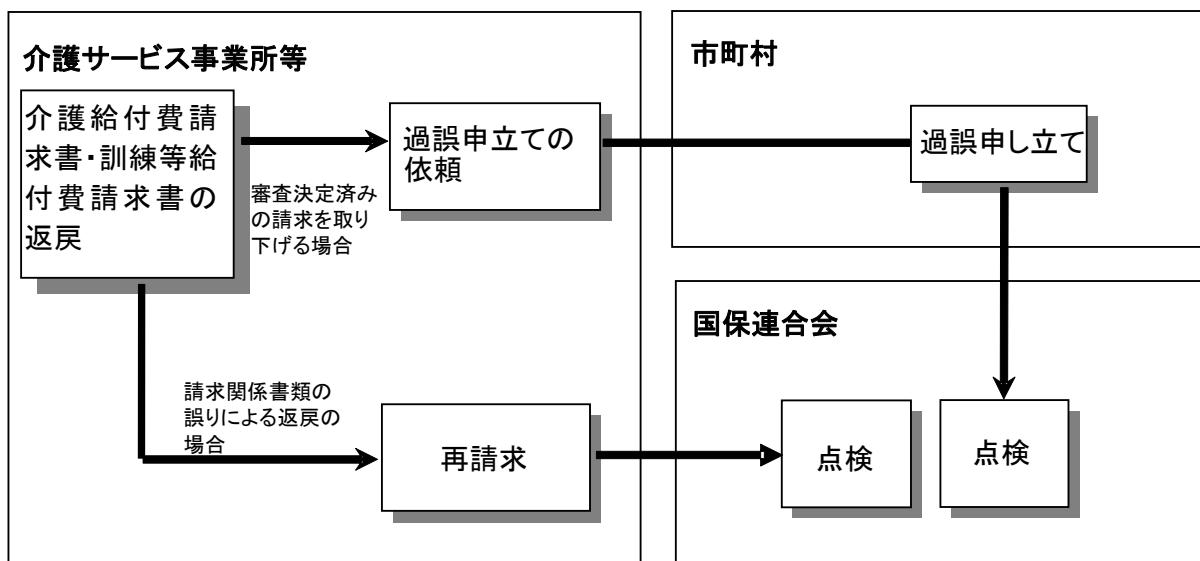
サービス事業所等は、国保連合会による点検および市町村による審査の結果、介護給付費請求書／訓練等給付費請求書情報等が返戻となった場合、その内容について確認を行う。

請求内容の誤りによる返戻であった場合、請求関係情報等を修正し国保連合会に再請求を行う。また、市町村から国保連合会に送る台帳の誤りによる返戻の場合、市町村に対し台帳の修正を依頼し、国保連合会に再請求を行う。

#### 1.1.4. 過誤申し立ての依頼

サービス事業所等は、請求書等の記載誤り等によって、実際のサービス提供実績とは異なる金額の支払いが行われた場合、介護給付費・訓練等給付費の取下げを行う(審査決定済みの請求のみ取り下げ可能)。取り下げを行う場合、市町村にその旨を連絡し、国保連合会に過誤申し立てを行うよう依頼する。

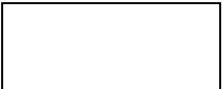
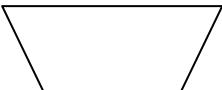
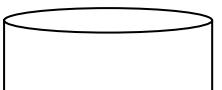
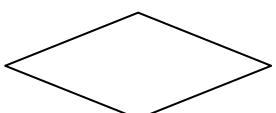
### 過誤申立て・再請求



## 1.2. インタフェース仕様

### 1.2.1. 受け渡し概要図

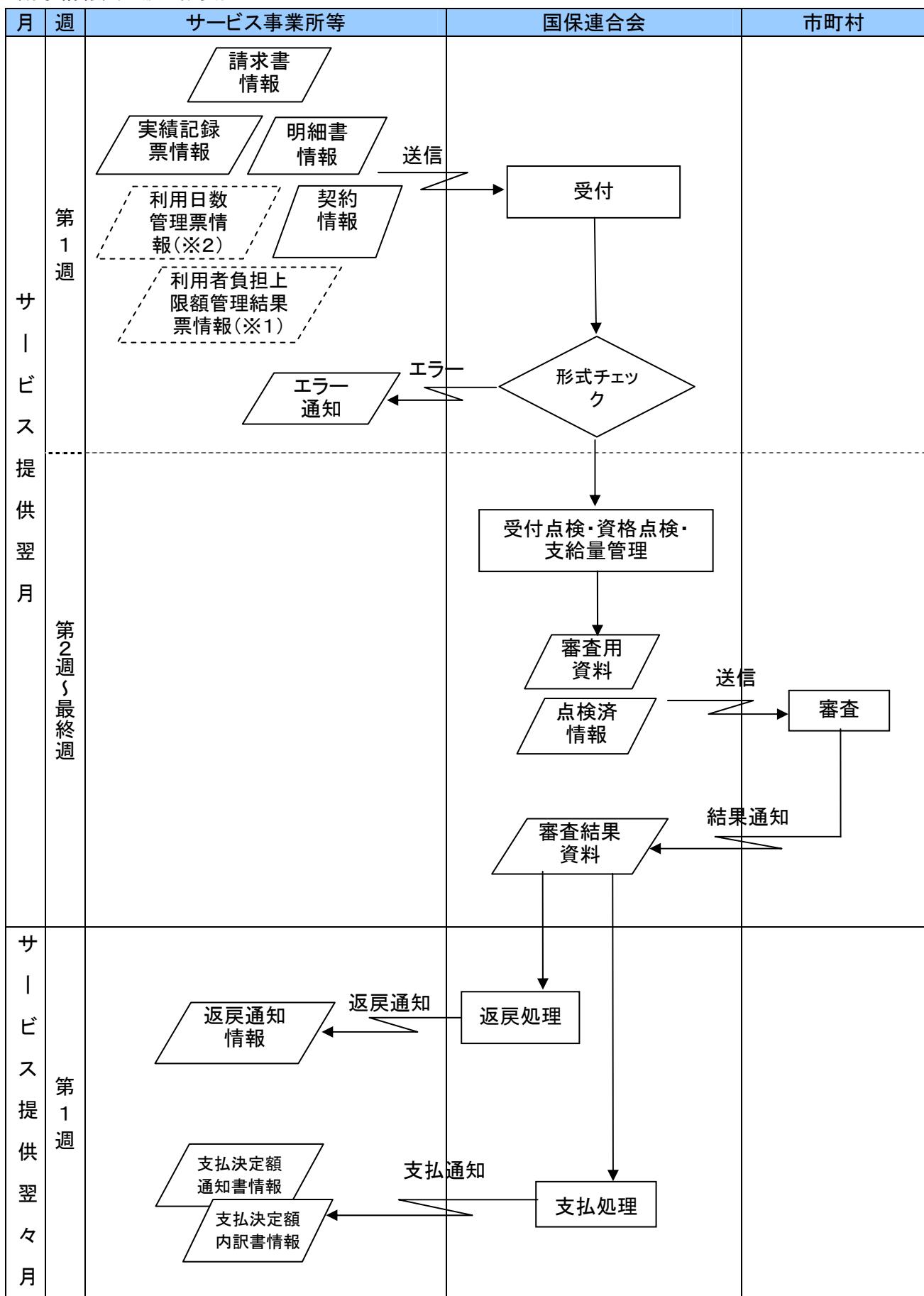
受け渡し概要図の中で用いている図の意味は、次の通り。

表示図	内容
	処理
	手作業
	データベース
	データ
	判断
	当該システムから出力された帳票
	他のシステムから出力された帳票及び添付書類等
	参照

#### 1.2.1.1. 請求情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会	市町村
<p>1. サービス事業所等は、支給決定者に対してサービスを行った場合、国保連合会に契約情報、請求書情報、明細書情報、実績記録票情報を送信する。利用者負担上限額管理を行った場合は、利用者負担上限額管理結果票情報(※1)も送信する。通所施設の利用日数の特例を受ける場合は、利用日数管理票情報(※2)も送信する。</p> <p>3. サービス事業所等は、形式チェックでエラーとなった情報の確認を行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p> <p>7. 国保連合会から返戻通知情報を受け取る。</p> <p>9. 国保連合会から支払決定額通知書情報等を受け取る。</p>	<p>2. 国保連合会は、サービス事業所等より送信された請求書情報等に対して形式チェックを行う。形式チェックの結果、エラーを発見した場合、サービス事業所等へエラーを通知する。 なお、データエラーは、送信された請求書情報等の記載内容の誤りではないため、返戻として扱われない。</p> <p>4. 国保連合会は受付点検・資格点検・支給量点検を行い、市町村審査用資料および、点検済情報を作成し、市町村へ送信する。</p> <p>6. 市町村の審査結果資料により、返戻が発生した場合、サービス事業所等へ返戻通知情報を送付する。</p> <p>8. 市町村の審査結果資料に基づきサービス事業所等へ支払決定額通知書情報等を送付する。</p>	<p>5. 市町村は審査を行い、審査結果を国保連合会に送信する。</p>
<b>備考</b>		
<p>※ 1)利用者負担上限額管理を行った場合のみ、上限額管理事業所から送信する。</p> <p>※ 2)通所施設の利用日数の特例を受ける場合、その対象期間の請求については利用日数管理票情報を送信する。</p>		

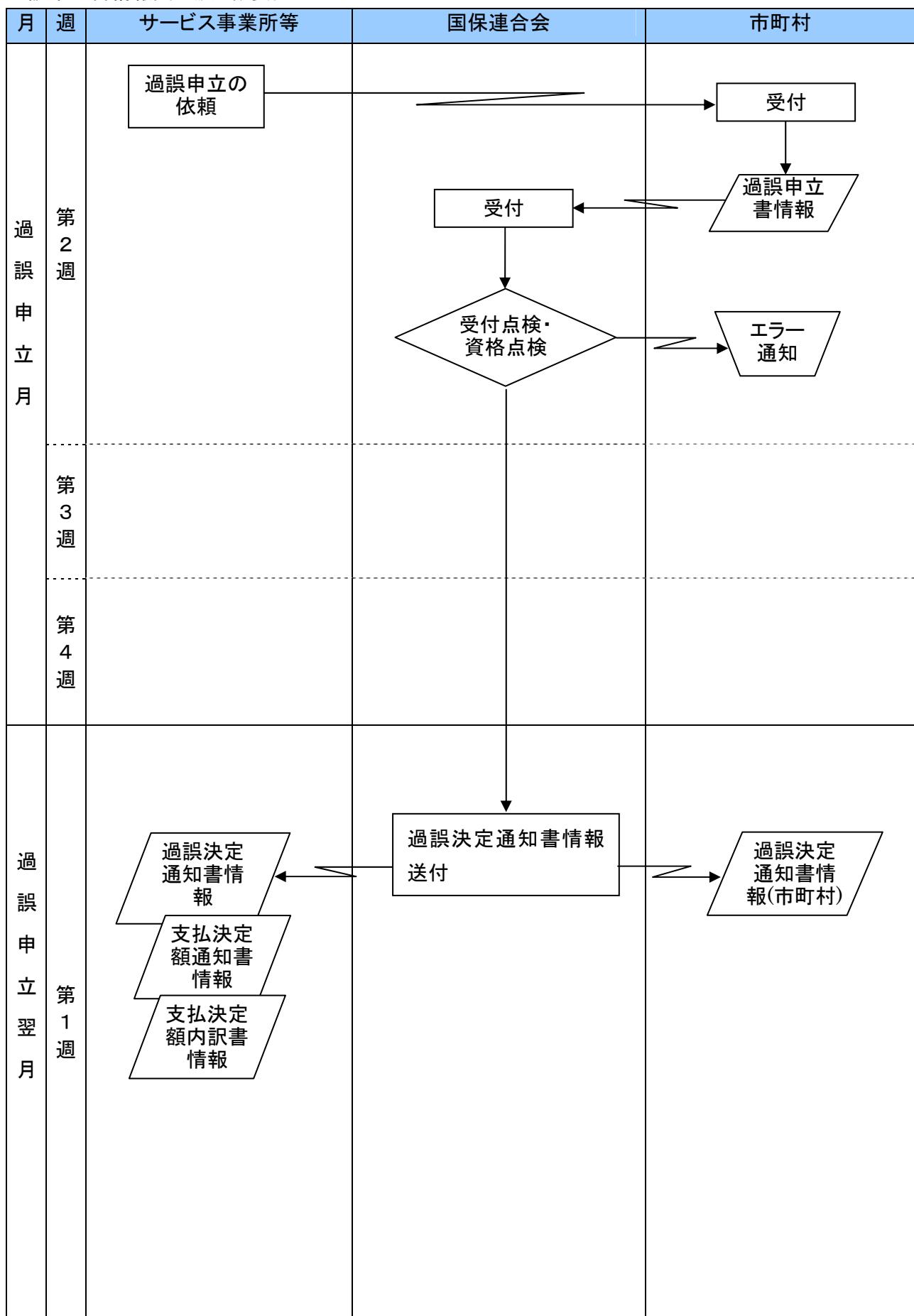
請求情報受け渡し概要図



### 1.2.1.2. 過誤情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会	市町村
<p>1. サービス事業所等は、一度審査決定した請求に対して取り下げを行う場合、市町村と調整し過誤申し立を依頼する。</p>	<p>3. 国保連合会は、受け付けた過誤申立書情報の受付点検・資格点検・支給量管理を実施し、エラーを発見した場合、市町村へエラーを通知する。</p> <p>5. 過誤申立書情報の点検結果に基づき市町村および、サービス事業所等へ過誤決定通知書情報を送付する。</p>	<p>2. 市町村は過誤申立書情報を国保連合会に提出する。</p> <p>4. 市町村は、受付点検でエラーとなった情報の確認を行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p>
備考		

過誤申立書情報受け渡し概要図



## 1.2.2. インタフェース一覧

### 1.2.2.1. 介護給付費等請求書・明細書情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	J111	介護給付費・訓練等給付費等請求書情報	サービス事業所等から介護給付費、訓練等給付費の請求を行う際に提出するサービス事業所単位の集計情報。	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送
(2)	J121	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報	サービス事業所等から介護給付費・訓練等給付費の請求を行う際に提出するサービス事業所単位、利用者単位の集計情報。 (居宅介護、行動援護、重度訪問介護、重度障害者等包括支援、児童デイサービス、短期入所、療養介護、生活介護、施設入所支援、旧法施設支援、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援)	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送
(3)	J131	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報（G H, C H）	サービス事業所等から介護給付費・訓練等給付費の請求を行う際に提出するサービス事業所単位、利用者単位の集計情報。 (共同生活介護、共同生活援助)	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送
(4)	J211	特例介護給付費・特例訓練等給付費等請求書情報	サービス事業所等から特例介護給付費・特例訓練等給付費の請求を行う際に提出するサービス事業所単位の集計情報。	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送
(5)	J221	特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報	サービス事業所等から特例介護給付費・特例訓練等給付費請求を行う際に提出するサービス事業所単位、利用者単位の集計情報。 (居宅介護、行動援護、重度訪問介護、児童デイサービス、生活介護、自立訓練、就労継続支援)	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送
(6)	J311	サービス利用計画作成費請求書情報	相談支援事業者がサービス利用計画作成費の請求を行う際に提出する、相談支援事業者単位、利用者単位の集計情報	相談支援事業所等 → 国保連合会	月次	伝送

### 1.2.2.2. 利用者負担上限額管理結果票情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	J411	利用者負担上限額管理結果票情報	上限額管理者が作成する利用者負担上限額管理結果票の集計情報（上限額管理を行った場合に上限額管理者が送信する）。	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送

### 1.2.2.3. 利用者負担額一覧表情報（サービス事業所等間の受け渡し情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	J511	利用者負担額一覧表情報	サービス事業所等の間で上限額管理対象者の利用者負担額等を受け渡すための情報	サービス事業所等 → 上限額管理者	月次	FD 等

#### 1.2.2.4. サービス提供実績記録票情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	J611	サービス提供実績記録票情報	サービス事業所等から介護給付費等の請求を行う際に提出する、サービス提供実績記録票の情報	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送

#### 1.2.2.5. 増減単位数返戻通知情報（出力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	J711	障害福祉サービス費等支払決定増減表情報	市町村ごとの請求差、返戻の状況をサービス事業所等へ通知するためのリスト ※サービス事業所等からの依頼があった場合のみ提供	国保連合会 → サービス事業所等	月次	伝送
(2)	J721	返戻等一覧表情報	返戻となる情報を確認するためのリスト ※サービス事業所等からの依頼があった場合のみ提供	国保連合会 → サービス事業所等	月次	伝送
(3)	J7A1	障害福祉サービス費等支払決定増減表	市町村ごとの請求差、返戻の状況をサービス事業所等へ通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(4)	J7B1	返戻等一覧表	返戻となる情報を確認するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF

#### 1.2.2.6. 支払通知情報（出力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	J8A1	障害福祉サービス費等支払決定額通知書	サービス事業所等への支払決定額を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(2)	J8B1	障害福祉サービス費等支払決定額内訳書	サービス事業所等へ支払決定額の内訳を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(3)	J8C1	事業所別障害福祉サービス費等支払明細書	サービス事業所等へ支払決定額の明細を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(4)	J8D1	障害福祉サービス費等支払過誤決定通知書	サービス事業所等へ過誤申立の決定額を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(5)	J8E1	訪問調査委託料支払明細一覧表	サービス事業所等へ訪問調査委託料の支払明細一覧を通知する為のリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF

### 1.2.3. 項目説明

本節では、“情報”として記載されている各帳票ごとのインターフェースについて記載する。

#### 1.2.3.1. 介護給付費等 請求書情報

##### (1) 介護給付費等 請求書情報

介護給付費、訓練等給付費、特例介護給付費、特例訓練等給付費(介護給付費等と呼ぶ)請求書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

市町村、受給者、請求サービス事業所および請求金額等に関する情報を格納する。

2 : 明細情報レコード(複数レコード)

サービス種類ごとの請求件数、単位数、利用者負担額、請求額等を格納する。

(2) 介護給付費等 請求書 基本情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	内容	※必須 (識別番号毎)		備考
					J111	J211	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する。	◎	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O1を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
6	請求金額	数字	10	請求金額を設定する。 請求金額=合計 納付費請求額+合計 特別対策費請求額+合計 自治体助成額。	◎	◎	
7	小計 介護給付費等・特例介護給付費等	件数	数字	6	小計 件数	◎	◎
8		単位数	数字	9	小計 単位数	◎	◎
9		費用合計	数字	10	小計 費用合計	◎	◎
10		給付費請求額	数字	10	小計 納付費請求額	◎	◎
11		特別対策費請求額	数字	10	小計 特別対策費請求額	○	○
12		利用者負担額	数字	10	小計 利用者負担額	◎	◎
13		自治体助成額	数字	10	小計 自治体助成額	○	○
14	別給付費 祉サービス費 特定障害者特 高額障害者特 福	件数	数字	6	小計 件数	○	○
15		費用合計	数字	10	小計 費用合計	○	
16		給付費請求額	数字	10	小計 納付費請求額	○	○
17	合計	件数	数字	6	合計 件数	◎	◎
18		単位数	数字	9	合計 単位数	◎	◎
19		費用合計	数字	10	合計 費用合計	◎	◎
20		給付費請求額	数字	10	合計 納付費請求額	◎	◎
21		特別対策費請求額	数字	10	合計 特別対策費請求額	○	○
22		利用者負担額	数字	10	合計 利用者負担額	◎	◎
23		自治体助成額	数字	10	合計 自治体助成額	○	○

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(3) 介護給付費等 請求書 明細情報レコード

項目名	属性	バイト	内容	※必須 (給付種別、識別番号毎)				備考	
				給付種別=1		給付種別=2			
				J111	J211	J111	J211		
1 交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	◎	※B	
2 レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	◎	◎	◎	◎		
3 サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	◎	◎	※Y	
4 市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックボックス1桁含む)	◎	◎	◎	◎	※C	
5 事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	◎	※C	
6 納付種別	数字	1	請求書における納付種別を表す。 1:介護給付費・訓練等給付費、特例介護給付費・特例訓練等給付費 2:特定障害者特別給付費、高額障害福祉サービス費	◎	◎	◎	◎		
7 サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード	◎	◎	◎ ※1	◎	※C	
8 件数	数字	6	サービス種類毎の明細書の件数	◎	◎	○	○		
9 単位数	数字	9	サービス種類毎の単位数	◎	◎				
10 費用合計	数字	10	サービス種類毎の費用の額。	◎ ※2	◎ ※2	○			
11 納付費請求額	数字	10	サービス種類毎の納付費請求額	◎	◎	○	○		
12 特別対策費請求額	数字	10	サービス種類毎の特別対策費請求額	○	○				
13 利用者負担額	数字	10	サービス種類毎の利用者負担額。 自治体助成がある場合、明細書の決定利用者負担額から自治体助成額を控除した額を設定する。	◎	◎				
14 自治体助成額	数字	10	サービス種類毎の自治体助成額	○	○				

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 介護給付費・訓練等給付費等請求書において、サービス種別ごとに特定障害者特別給付費を記載する欄は存在しないが、インターフェース設定上は特定障害者特別給付費を算定した事業所のサービス種類ごとに金額を設定する。

※2 明細書における、サービス種類ごとの総費用額(100/100 の額)の合計となる。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

### 1.2.3.2. 介護給付費等 明細書情報

#### (1) 介護給付費等 明細書情報

介護給付費等の明細書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

市町村、受給者および請求サービス事業所等に関する明細書の基本情報を格納する。

2 : 日数情報レコード(複数レコード)

サービス種別ごとの日数情報を格納する。

3 : 明細情報レコード(複数レコード)

実施したサービス単位のサービスコード・請求単位数等を格納する。

4 : 集計情報レコード(複数レコード)

サービス種別ごと集計欄毎の請求単位数、利用者負担額等を格納する。

5 : 契約情報レコード(複数レコード)

決定サービスコードごとの契約量を格納する。

(2) 介護給付費等 明細書 基本情報レコード

項目名	属性	バイト	内容	※必須 (識別番号毎)			備考
				J121	J131	J221	
1 交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2 レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	◎	
3 サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	◎	※Y
4 市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C
5 事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C
6 受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C
7 助成自治体番号	数字	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定	○	○	○	※C
8 支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	△	△	
9 支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	△	△	
10 地域区分コード	数字	2	地域区分コードを設定	◎	◎	◎	※C
11 就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	数字	1	1:無し 2:有り	◎			
12 利用者負担上限月額①	数字	6	利用者負担上限月額を設定	◎	◎	◎	
13 就労継続支援A型減免対象者	数字	1	1:無し 2:有り	◎			
14 障害程度区分コード	英数	2	月の末日における障害程度区分コードを設定		○		※C
15 上限額管理事業所	指定事業所番号	数字	10 上限管理事業所の事業所番号を設定	○	○	○	※C
16	管理結果	数字	1 上限額管理結果票の管理結果を設定	○	○	○	※1
17	管理結果額	数字	5 上限額管理結果票の管理結果額を設定	○	○	○	
18 日中介護等支援欄	指定事業所番号	数字	10 連絡調整を行った日中介護事業所の事業所番号を設定		○		
19	当該事業所への通所日数	数字	2 日中介護事業所への通所日数を設定		○		
20 請求額集計欄合計	給付単位数	数字	9 単位数の合計を設定	◎	◎	◎	
21	総費用額	数字	10 サービスの総費用額の合計を設定	◎	◎	◎	
22	上限月額調整(①②の内少ない数)	数字	6 利用者負担上限月額と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうの合計を設定	◎	◎	◎	

項目名	属性	バイト	内容	※必須 (識別番号毎)			備考
				J121	J131	J221	
23	A型減免	事業者減免額	数字	6	A型事業者減免額を設定	○	
24		減免後利用者負担額	数字	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○	
25		調整後利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額を設定	○	○ ○
26		上限額管理後利用者負担額	数字	6	上限額管理後利用者負担額	○	○ ○
27		決定利用者負担額	数字	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)。	◎	◎ ◎
28		給付費	数字	10	給付費の請求額を設定	◎	◎ ◎
29		高額障害福祉サービス費	数字	10	高額障害福祉サービス費を設定		○
30		特別対策費	数字	10	特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○ ○
31		自治体助成分請求額	数字	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定	○	○ ○
32	特定障害者特別給付費(合計)	算定日額	数字	4	算定する日額を設定	○	
33		日数	数字	2	算定する日数を設定	○	
34		給付費請求額	数字	5	給付費請求額を設定	○	
35		実費算定額	数字	6	実績記録票に記載された実費算定額を設定	○	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インターフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 “1”：管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない

“2”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下そのため、調整事務は行わない。

“3”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(3) 介護給付費等 明細書 日数情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	内容	※必須 (識別番号毎)			備考	
					J121	J131	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(日数情報レコード)	◎	◎	◎		
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y	
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C	
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C	
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C	
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード2桁を設定	◎	◎	◎	※C	
8	サービス開始日等	開始年月日	数字	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	◎	※Y
9		終了年月日	数字	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	○	○	※Y
10		利用日数	数字	2	サービス種類毎に利用日数を設定。	◎		◎	
11		入院日数	数字	2	サービス種類毎に入院日数を設定。	○	○		※1
12		外泊日数	数字	2	サービス種類毎に外泊日数を設定。	○	○		※1

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 介護給付費等明細書へは、入院又は外泊をした日数の合計を入院日数欄に記載するが、インターフェース上は入院日数、外泊日数を分けて設定する。

※必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

#### (4) 日数情報レコードの設定方法

①開始年月日の設定方法			
サービス種類		事務処理要領	データ設定例
施設入所支援	32	入所日を記載(請求の都度記載)。 同一月内に同一の施設の入退所を繰り返した場合、月初日に入所中であれば、当該入所の年月日を記載する。月初日に入所中でなければ、当該月の最初に入所した年月日を記載する。	(1)平成 19 年 9 月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成 15 年 4 月 1 日に入所して現在も継続入所している場合 明細書の開始年月日：平成 15 年 4 月 1 日  ②平成 15 年 4 月 1 日に入所して、平成 19 年 9 月 15 日に退所したが、平成 19 年 9 月 21 日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の開始年月日：平成 15 年 4 月 1 日  ③平成 19 年 9 月 15 日に入所した場合 明細書の開始年月日：平成 19 年 9 月 15 日  ④平成 19 年 9 月 1 日に入所し、9 月 14 日に一旦退所したが、9 月 20 日に再度入所した場合 明細書の開始年月日：平成 19 年 9 月 1 日
療養介護	21		
宿泊型自立訓練	34		
旧身体入所更生	81		
旧身体入所療護	83	※ 施設入所支援及び療養介護で、新体系に移行した日において現に入所している者は、新体系に移行した日を記載する。	
旧身体入所授産	85	※ 旧法施設支援(入所)で、支援費制度において施設訓練等支援費の支給決定を受けており、平成18年10月1日に現に入所している者は、支援費制度の下での入所日(平成15年4月1日以降)を記載する。	
旧知的入所更生	91		
旧知的入所授産	93		
旧知的通勤寮	95		
居宅介護	11	一連とみなされる利用契約の下で最初にサービスを提供した日付を記載する(請求の都度記載)。  ※ 居宅介護等、平成18年4月から自立支援法に移行したサービスについては、平成18年4月1日以降における最初にサービス提供した日を記載する。	(2)平成 19 年 9 月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成 19 年 9 月 1 日に契約を開始し、平成 19 年 9 月 3 日～平成 19 年 9 月 10 日にサービス提供を行った場合 明細書の開始年月日：平成 19 年 9 月 3 日  ②平成 19 年 9 月 1 日に契約支給量 10 日で契約したが、平成 19 年 9 月 15 日から契約支給量 15 日に変更契約し、平成 19 年 9 月 3 日～平成 19 年 9 月 10 日にサービス提供を行った場合 明細書の開始年月日：平成 19 年 9 月 3 日  ③平成 19 年 10 月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成 19 年 9 月 1 日から契約支給量 10 日で契約していたが、平成 19 年 9 月 15 日から契約支給量 15 日に契約変更した場合で、平成 19 年 10 月 5 日～平成 19 年 10 月 16 日にサービス提供を行った場合(※最初のサービス提供は 9 月 3 日) 明細書の開始年月日：平成 19 年 9 月 3 日
重度訪問介護	12		
行動援護	13		
重度包括	14		
生活介護	22		
児童デイ	23		
自立訓練(機能訓練)	41		
自立訓練(生活訓練)	42		
就労移行支援	43		
就労移行支援(養成施設)	44		
就労継続支援A型	45		
就労継続支援B型	46		
旧身体通所更生	82		
旧身体通所療護	84		
旧身体通所授産	86		
旧知的通所更生	92		
旧知的通所授産	94		

①開始年月日の設定方法			
サービス種類		事務処理要領	データ設定例
短期入所	24	前月から継続して入所している場合はその入所した日付を記載し、それ以外の場合は当該月の最初に入所した日付を記載する。	(1)と同様
共同生活介護	31	支給決定障害者が当該共同生活介護又は共同生活援助を行う共同生活住居(以下「共同生活住居」という。)に入居した年月日を記載する(請求の都度記載。)。同一月内に同一指定事業所番号の共同生活住居の入退居を繰り返した場合(共同生活介護と共同生活援助間の異動による場合を含む。退居年月日においても同じ。)は、月初日に入居中であれば、当該入居の年月日を記載し、月初日に入居中でなければ、当該月の最初に入居した年月日を記載する。	(1)と同様
共同生活援助	33		

②終了年月日の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
施設入所支援	32	支給決定障害者が月の途中に退所した場合に、退所した日付を記載する。	(4) 平成 19 年 9 月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成 15 年 4 月 1 日に入所して現在も継続入所している場合 明細書の終了年月日： 設定無し ②平成 15 年 4 月 1 日に入所して、平成 19 年 9 月 15 日に退所した場合 明細書の終了年月日： 平成 19 年 9 月 15 日 ③平成 15 年 4 月 1 日に入所して、平成 19 年 9 月 15 日に退所したが、平成 19 年 9 月 21 日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の終了年月日： 設定無し ④平成 15 年 4 月 1 日に入所し平成 19 年 9 月 15 日に退所し、平成 19 年 9 月 21 日から再度入所し、平成 19 年 9 月 28 日に退所した場合 明細書の終了年月日： 平成 19 年 9 月 28 日
療養介護	21		
宿泊型自立訓練	34		
旧身体入所更生	81		
旧身体入所療護	83		
旧身体入所授産	85		
旧知的入所更生	91		
旧知的入所授産	93		
旧知的通勤寮	95		
居宅介護	11	一連とみなされる利用契約を解消し、月の途中にサービスの提供を中止した場合に、最後にサービスを提供了した日付を記載する。	(5) 平成 19 年 9 月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成 19 年 9 月 16 日までサービス提供を行い、契約を終了した場合 明細書の終了年月日： 平成 19 年 9 月 16 日
重度訪問介護	12		
行動援護	13		
重度包括	14		
生活介護	22		
児童デイ	23		
自立訓練(機能訓練)	41		
自立訓練(生活訓練)	42		
就労移行支援	43		
就労移行支援(養成施設)	44		
就労継続支援A型	45		
就労継続支援B型	46		
旧身体通所更生	82		
旧身体通所療護	84		
旧身体通所授産	86		
旧知的通所更生	92		
旧知的通所授産	94		

②終了年月日の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
短期入所	24	当該月における最初の退所した日付を記載する。当該月に退所がなく、月末において入所継続中の場合は記載しない。	<p>(6)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。</p> <p>①平成19年8月25日に入所して現在も継続入所している場合 明細書の終了年月日：設定無し</p> <p>②平成19年8月25日に入所して、平成19年9月15日に退所した場合 明細書の終了年月日：平成19年9月15日</p> <p>③平成19年8月25日に入所して、平成19年9月15日に退所したが、平成19年9月21日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の終了年月日：設定無し</p> <p>④平成19年8月25日に入所し平成19年9月15日に退所し、平成19年9月21日から再度入所し、平成19年9月28日に退所した場合 明細書の終了年月日：平成19年9月15日</p>
共同生活介護	31	支給決定障害者が当該共同生活住居を退居した月においては、退居年月日を記載する。 同一月内に同一指定事業所番号の共同生活住居の入退居を繰り返した場合は、月末日に入居中であれば記載を省略し、月末日に入居中でなければ、当該月の最後に退居した年月日を記載する。	(4)と同様
共同生活援助	33		

③利用日数の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
施設入所支援	32	支給決定障害者が当該月に実際に入所していた日数を記載する。 日数には入所日及び退所日を含むものとし、入院又は外泊をした日数(入院又は外泊を開始した日及び施設等に戻った日は含まない。)は含めない。	(7)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成15年4月1日に入所して19年9月もそのまま入所していた場合 明細書の利用日数：30日  ②平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所した場合 明細書の利用日数：15日  ③平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所したが、平成19年9月21日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の利用日数：25日(15+10)  ④平成19年9月に入所中であり、9月11日～9月20日の期間入院した場合 明細書の利用日数：22日(30-8)  ⑤平成19年9月に入所中であり、9月21日から入院している場合 明細書の利用日数：21日(30-9)
療養介護	21		
宿泊型自立訓練	34		
旧身体入所更生	81		
旧身体入所療護	83		
旧身体入所授産	85		
旧知的入所更生	91		
旧知的入所授産	93		
旧知的通勤寮	95		
居宅介護	11		
重度訪問介護	12	障害者等が当該月に実際にサービス利用した日数を記載する。	
行動援護	13		
重度包括	14		
生活介護	22		
児童デイ	23		
自立訓練(機能訓練)	41		
自立訓練(生活訓練)	42		
就労移行支援	43		
就労移行支援 (養成施設)	44		
就労継続支援A型	45		
就労継続支援B型	46		
旧身体通所更生	82		
旧身体通所療護	84		
旧身体通所授産	86		
旧知的通所更生	92		
旧知的通所授産	94		
短期入所	24	障害者等が当該月に実際にサービス利用した日数を記載する。	(8)と同様。

④入院日数の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
施設入所支援	32		
療養介護	21		(9)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。
旧身体入所更生	81	支給決定障害者が当該月に入院した日数(入院を開始した日及び施設等に戻った日は含まない。)を記載する。	①平成19年9月に入所中であり、9月11日～9月20日と、9月25日～9月27日の期間入院した場合 明細書の入院日数：9日(8+1)
旧身体入所療護	83		②平成19年9月に入所中であり、9月21日から入院している場合 明細書の入院日数：9日
旧身体入所授産	85	補足： 入院から外泊へ移行した場合、外泊日数にカウントする。	
旧知的入所更生	91	入院から外泊へ移行した場合、外泊日数にカウントする。	
旧知的入所授産	93		
旧知的通勤寮	95		
居宅介護	11		
重度訪問介護	12		
行動援護	13		
重度包括	14		
生活介護	22		
児童デイ	23		
宿泊型自立訓練	34		
自立訓練(機能訓練)	41		
自立訓練(生活訓練)	42		
就労移行支援	43	記載の必要ない	設定しない
就労移行支援(養成施設)	44		
就労継続支援A型	45		
就労継続支援B型	46		
旧身体通所更生	82		
旧身体通所療護	84		
旧身体通所授産	86		
旧知的通所更生	92		
旧知的通所授産	94		
短期入所	24		
共同生活介護	31	障害者が当該月に入院した日数(入院を開始した日及び共同生活住居に戻った日は含まない。)を記載する。 補足：	
共同生活援助	33	入院から外泊へ移行した場合、外泊日数にカウントする。外泊から入院へ移行した場合、入院日数にカウントする。	(9)と同様。

⑤外泊日数の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
施設入所支援	32	支給決定障害者が当該月に外泊をした日数(外泊を開始した日及び施設等に戻った日は含まない。)を記載する。	(10)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。 ①平成19年9月に入所中であり、9月11日～9月20日と、9月25日～9月27日の期間外泊した場合 明細書の外泊日数：9日(8+1) ②平成19年9月に入所中であり、9月21日から外泊している場合 明細書の外泊日数：9日
療養介護	21		
旧身体入所更生	81		
旧身体入所療護	83	補足： 入院から外泊へ移行した場合、外泊日数にカウントする。外泊から入院へ移行した場合、入院日数にカウントする。	
旧身体入所授産	85		
旧知的入所更生	91		
旧知的入所授産	93		
旧知的通勤寮	95		
居宅介護	11	記載の必要ない	設定しない
重度訪問介護	12		
行動援護	13		
重度包括	14		
生活介護	22		
児童デイ	23		
宿泊型自立訓練	34		
自立訓練(機能訓練)	41		
自立訓練(生活訓練)	42		
就労移行支援	43		
就労移行支援(養成施設)	44		
就労継続支援A型	45		
就労継続支援B型	46		
旧身体通所更生	82		
旧身体通所療護	84		
旧身体通所授産	86		
旧知的通所更生	92		
旧知的通所授産	94		
短期入所	24		
共同生活介護	31	障害者が当該月に外泊をした日数(外泊を開始した日及び共同生活住居に戻った日は含まない。)を記載する。 ※ 障害者が入院した医療機関を退院し、共同生活住居に戻らずそのまま外泊をした場合は、当該退院日についても外泊日数にカウントする。	(10)と同様
共同生活援助	33		

(5) 介護給付費等 明細書 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックテジット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	サービスコード	数字	6	サービスコード6桁	◎	※C
8	単位数	数字	6	サービスコードごとの単位数	◎	
9	回数	数字	3	サービスコードごとの回数	◎	
10	サービス単位数	数字	9	サービスコードごとの算定額	◎	
11	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	※1

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 介護給付費・訓練等給付費等明細書(様式第三)において、障害程度区分変更の場合に、変更前及び変更後の区分に係るサービスコードを記載した行の摘要欄に「平成〇〇年〇〇月〇〇日まで(から)」を記載する。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

(6) 介護給付費等 明細書 集計情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須			備考
					J121	J131	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	04を設定する(集計情報レコード)	◎	◎	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックテグット1桁含む)	◎	◎	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード2桁を設定	◎	◎	◎	※C
8	集計欄分類番号	数字	1	同一のサービス種類コードで複数の集計情報を作成する為の集計欄分類番号を設定	◎	◎	◎	※1
9	サービス利用日数	数字	2	サービス利用日数を設定 本体報酬を算定しない日において、各種加算のみを算定した場合も1日とカウントする。上限額管理加算も1日とカウントする。	◎	◎	◎	
10	給付単位数	数字	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号ごとの単位数を設定	◎	◎	◎	
11	単位数単価	数字	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字。8.5 円の場合、08500 を設定	◎	◎	◎	
12	給付率	数字	3	給付率を設定	◎	◎	◎	
13	総費用額	数字	10	サービスの総費用額を設定	◎	◎	◎	
14	請求額	数字	10	総費用額 × 給付率 / 100	◎	◎	◎	
15	利用者負担額②	数字	6	総費用額 - 給付率に基づく請求額	◎	◎	◎	
16	上限月額調整(①②の内少ない数)	数字	6	利用者負担上限月額と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうを設定	◎	◎	◎	
17	事業者減免額	数字	6	A型事業者減免額を設定	○			
18	減免後利用者負担額	数字	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○			
19	調整後利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額を設定	○	○	○	

項目番号	項目名	属性	バイト	内容	※必須			備考
					J121	J131	J221	
20	請求額	上限額管理後利用者負担額	数字	6	上限額管理後利用者負担額を設定	○	○	○
21		決定利用者負担額	数字	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)。	◎	◎	◎
22		給付費	数字	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎
23		高額障害福祉サービス費	数字	10	高額障害福祉サービス費の請求額を設定			○
24		特別対策費	数字	10	特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○
25		自治体助成分請求額	数字	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定	○	○	○
26	特定障害者特別給付費	算定日額	数字	4	サービス種類ごとに算定する日額を設定	○		※3
27		日数	数字	2	サービス種類ごとに算定する日数を設定	○		※3
28		給付費請求額	数字	5	サービス種類ごとに給付費請求額を設定	○		※3
29		実費算定額	数字	6	サービス種類ごとに利用者が負担する実費の額を設定	○		※3
30	利用日数管理票	対象期間(開始)	数字	6	利用日数の特例開始年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	○	○	※4
31		対象期間(終了)	数字	6	利用日数の特例終了年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	○	○	※4
32		当月の利用日数	数字	2	当月の利用日数	○	○	※4
33		原則日数の総和	数字	3	対象期間における原則日数の総和を設定する。	○	○	※4

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 1 : 2、3および4以外の情報は1を設定する。

2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合

例1 : 丙地以外に所在する旧身体障害者療護施設において入所を行った場合で、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算がある場合、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算については、集計欄分類番号=2で集計する。

例2 : 丙地以外に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスおよび、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号=1で集計する。また、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通

所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。

例3：丙地以外に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスおよび、「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。

- 3：同一サービス種類で給付率が異なる場合(介護給付費等の激変緩和加算)
- 4：同一サービス種類で給付率が異なる場合(特別対策事業の激変緩和加算)

## ※2 自治体助成分請求額設定ルール

自治体助成分請求額の計算方法としては、国制度(利用者負担額調整など)を適用した後の決定利用者負担額に対してサービス種類ごとに定率を助成する方式とする。

自治体助成分請求額＝決定利用者負担額×市町村助成率(小数点以下切捨)

例)生活介護と居宅介護のサービス提供を受ける利用者で、居宅介護の利用者負担額のうち半分を市町村が助成する場合

	生活介護	居宅介護	
決定利用者負担額	7,500	4,800	$4,800(\text{円}) \times 50(\%)$
自治体助成分請求額		2,400	

↓

実際の利用者負担額は、 $7,500 + 4,800 - 2,400 = 9,900$  となる。

※3 集計欄分類番号＝1のレコードのみに設定が必要である。

※4 利用日数管理票情報は、日中活動サービス(生活介護、旧法施設支援(通所)、自立訓練(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援)において利用日数の特例を利用する場合に、その対象期間中毎月設定する。集計欄分類番号＝1のレコードのみに設定が必要である。

必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(7) 介護給付費等 明細書 契約情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須		備考
					J121	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	05を設定する(契約情報レコード)	◎	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックボックス1桁含む)	◎	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
7	決定サービスコード	数字	6	決定サービスコード6桁を設定	◎	◎	※C
8	契約支給量	数字	5	整数部上3桁、小数部下2桁を設定。 100.5時間→10050 12日→01200 5回→00500	◎	◎	※1
9	契約開始年月日	数字	8	契約を開始した年月日(西暦年月日YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	※2 ※Y
10	契約終了年月日	数字	8	契約を終了した年月日(西暦年月日YYYYMMDDを設定する)	○	○	※2 ※Y
11	事業者記入欄番号	数字	2	受給者証の事業者記入欄番号を設定する。	◎	◎	※3

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 契約支給量には、受給者証の事業者記入欄に記載した契約支給量を設定する。また、短期入所においては受給者証の事業者記入欄に記載した当該月における直近の実績日数(月累計)を設定する。

※2 契約開始年月日、契約終了年月日には、受給者証の事業者記入欄に記載した契約日、サービス提供終了日を設定する。

また、短期入所においては、受給者証の事業者記入欄に記載した当該月における直近の実施日を設定する。

※3 受給者証の事業者記入欄に記載した欄番号を設定する。短期入所においては、当該月における直近の欄番号を設定する。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

## (8) 契約情報レコードを設定する目的

契約情報レコードは、契約支給量点検を行うためのものである。

## (9) 契約情報レコードの作成対象サービス

下記に契約情報レコードの設定が必要なサービスの一覧を示す。契約情報レコードは「決定コード」毎に設定が必要となる。

### 契約情報レコードの作成が必要なサービス

契約情報の設定が必要なサービス		決定コード	必須※
11	居宅介護	身体介護	111000
		家事援助	112000
		通院介助(伴う)	113000
		通院介助(伴ず)	114000
		通院乗降介助	115000
12	重度訪問介護	重度訪問介護	121000
			122000
			123000
		重度訪問加算移動介護	120901
13	行動援護		131000
22	生活介護		221000
			222000
23	児童デイ		231000
24	短期入所		241000
			242000
			243000
			244000
			245000
			246000
41	自立訓練(機能)		411000
42	自立訓練(生活)		421000
43	就労移行支援		431000
44	就労移行(養成)		441000
45	就労継続 A		451000
46	就労継続 B		461000
82	身体通所更生		820000
84	身体通所療護		840000
86	身体通所授産		860000
92	知的通所更生		920000
94	知的通所授産		940000

決定コード名称(参考)
居宅介護 身体介護決定
居宅介護 家事援助決定
居宅介護 通院介助(身体介護伴う)決定
居宅介護 通院介助(身体介護伴わない)決定
居宅介護 通院等乗降介助決定
重度訪問介護 15%加算対象者決定
重度訪問介護 7.5%加算対象者決定
重度訪問介護 その他決定
重度訪問介護 加算移動介護
行動援護 基本決定
生活介護 基本決定
生活介護 経過的措置対象者決定
児童デイ基本決定
短期入所 障害者決定
短期入所 障害者医療型(療養介護)決定
短期入所 障害者医療型(その他)決定
短期入所 障害児決定
短期入所 障害児医療型(重心)決定
短期入所 障害児医療型(その他)決定
自立訓練(機能訓練)基本決定
自立訓練(生活訓練)基本決定
就労移行支援基本決定
就労移行支援(養成施設)基本決定
就労継続支援A型基本決定
就労継続支援B型基本決定
旧身体通所更生基本決定
旧身体通所療護基本決定
旧身体通所授産基本決定
旧知的通所更生基本決定
旧知的通所授産基本決定

必須※ ◎ : 常に設定必要 ○ : 決定支給量と契約支給量が異なる場合のみ設定必要

### 契約情報レコードの必須設定に関する補足説明

日中活動系サービスにおいては、受給者証で支給決定された支給量と、サービス事業者との契約支給量が異なる場合のみ契約情報レコードの設定が必要である。

例:受給者証に支給決定された支給量(23日)に対して、A事業所との間で12日/月と利用契約した場合等

## (10) 契約情報レコードのデータ設定方法について

契約情報レコードは、明細書情報の中の1レコードとして作成し、サービス提供月における最新の契約内容のみを毎月設定することとする。毎月最新の契約情報を送信することにより、契約が月途中で変更になった場合でも1レコードのみを送信すればよい。また、契約終了時には契約終了情報を送信する必要もない。ただし、一人の利用者に対して複数の事業所が契約する場合は複数事業所の契約支給量の合計がその利用者の決定支給量を超えないようにする必要がある。

### <契約情報の設定例>

決定支給量100時間の利用者に対して次のように契約が発生したと想定する。

- ① 4月1日からA事業者が30時間を新規契約
- ② 4月1日からB事業者が70時間を新規契約
- ③ 5月20日でB事業者の契約が終了(5月20日までに既に50時間のサービスを提供)
- ④ 5月21日からC事業者が契約。5月の契約支給量残は20時間である為、最大20時間までの契約となる。
- ⑤ 6月1日から70時間へ契約変更を行う。

### 契約支給量の例

	4月	5月	6月	<u>契約支給量の設定方法</u>
決定支給量	100	100	100	
A事業所の契約	30	30	30	A事業所は毎月30時間の契約情報を送信する。
B事業所の契約	70	50	※5/20で終了	B事業所は4月は70時間、5月は50時間の契約情報を送信する。
C事業所の契約		20	70	C事業所は5月は20時間、6月は70時間の契約情報を送信する。

### 契約開始日／終了日の例

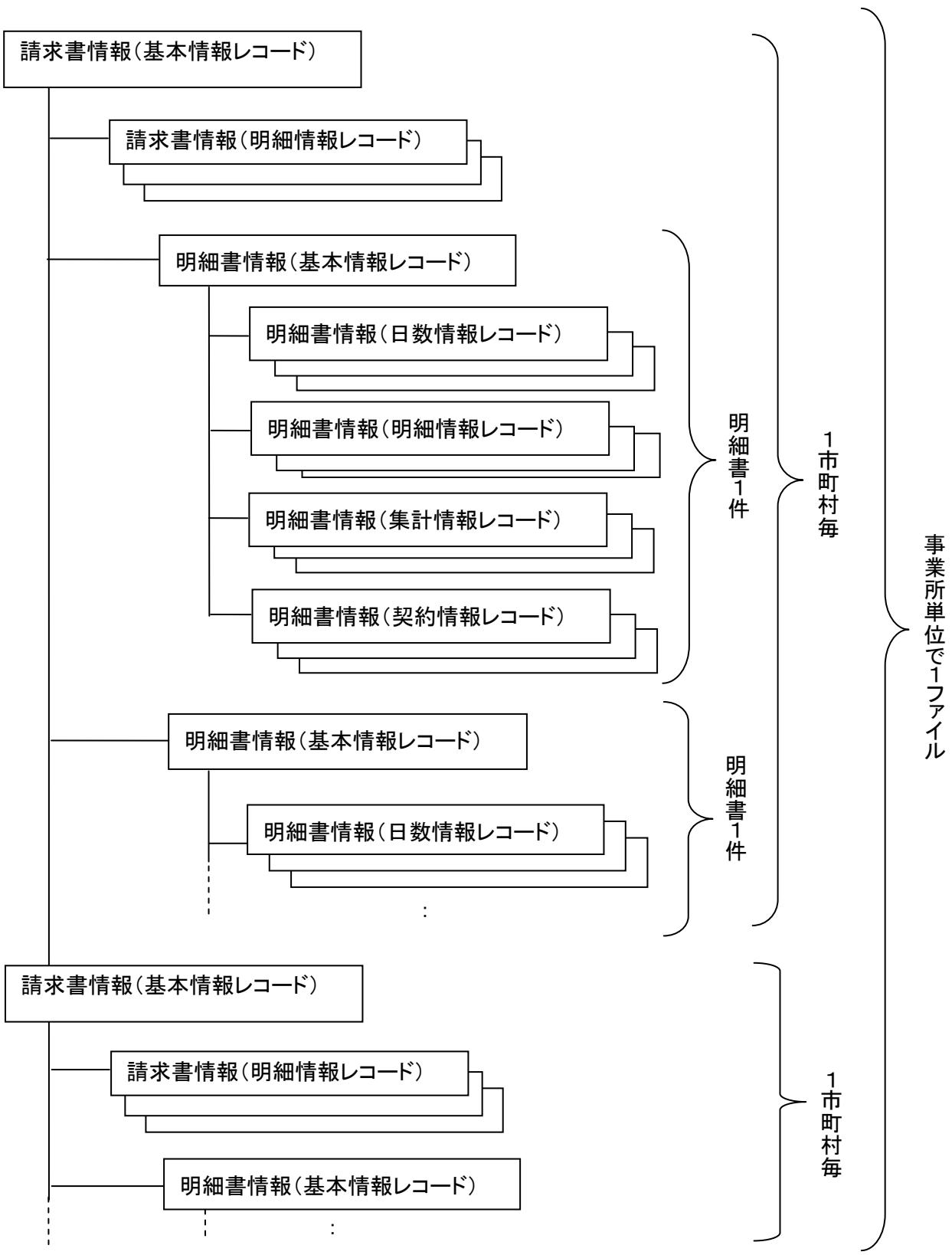
		4月	5月	6月	<u>契約開始日／終了日の設定方法</u>
A事業所	契約開始日	4月1日	4月1日	4月1日	毎月4月1日契約開始を設定
	契約終了日	設定無し	設定無し	設定無し	
B事業所	契約開始日	4月1日	4月1日	※5/20で終了	5月は契約開始4月1日、契約終了5月20日を設定
	契約終了日	設定無し	5月20日		
C事業所	契約開始日		5月21日	6月1日	5月は、契約開始5月21日、契約終了5月30日を設定。 6月は、契約開始6月1日を設定。 (※1)(※2)
	契約終了日		5月31日	設定無し	

※1 契約を変更した場合は、契約変更後の契約開始日、契約終了日を設定する。

※2 一月内に複数の契約変更がある場合は、直近の契約開始日、契約終了日を設定する。

## 介護給付費等請求書／明細書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 1.2.3.3. サービス利用計画作成費請求書情報

#### (1) サービス利用計画作成費請求書情報

サービス利用計画作成費請求書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1: 基本情報レコード

サービス利用計画作成費の単位数、請求額等を格納する。

##### 2: 明細情報レコード(複数レコード)

利用者ごとのサービス利用計画作成費請求サービスコード、単位数等を格納する。

#### (2) サービス利用計画作成費請求書 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック マジック1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	件数	数字	6	件数を設定	◎	
7	地域区分コード	数字	2	地域区分コードを設定	◎	※C
8	請求金額	数字	10	合計の請求金額を設定	◎	
9	単位数単価	数字	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5円の場合、08500を設定	◎	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

(3) サービス利用計画作成費請求書 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	項目番	数字	4	1からの連番を設定	◎	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
8	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	
9	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	
10	モニタリング日	数字	8	直近のモニタリング日を設定(西暦年月日YYYYMMDDを設定する)	○	※Y
11	請求額計算欄	サービスコード	6	サービスコードを設定	◎	※C
12	単位数	数字	4	単位数を設定	◎	
13	請求額	数字	6	明細1行ごとの請求額を設定(小数点以下切捨て)	◎	
14	単位数単価	数字	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字。8.5円の場合、08500を設定	◎	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

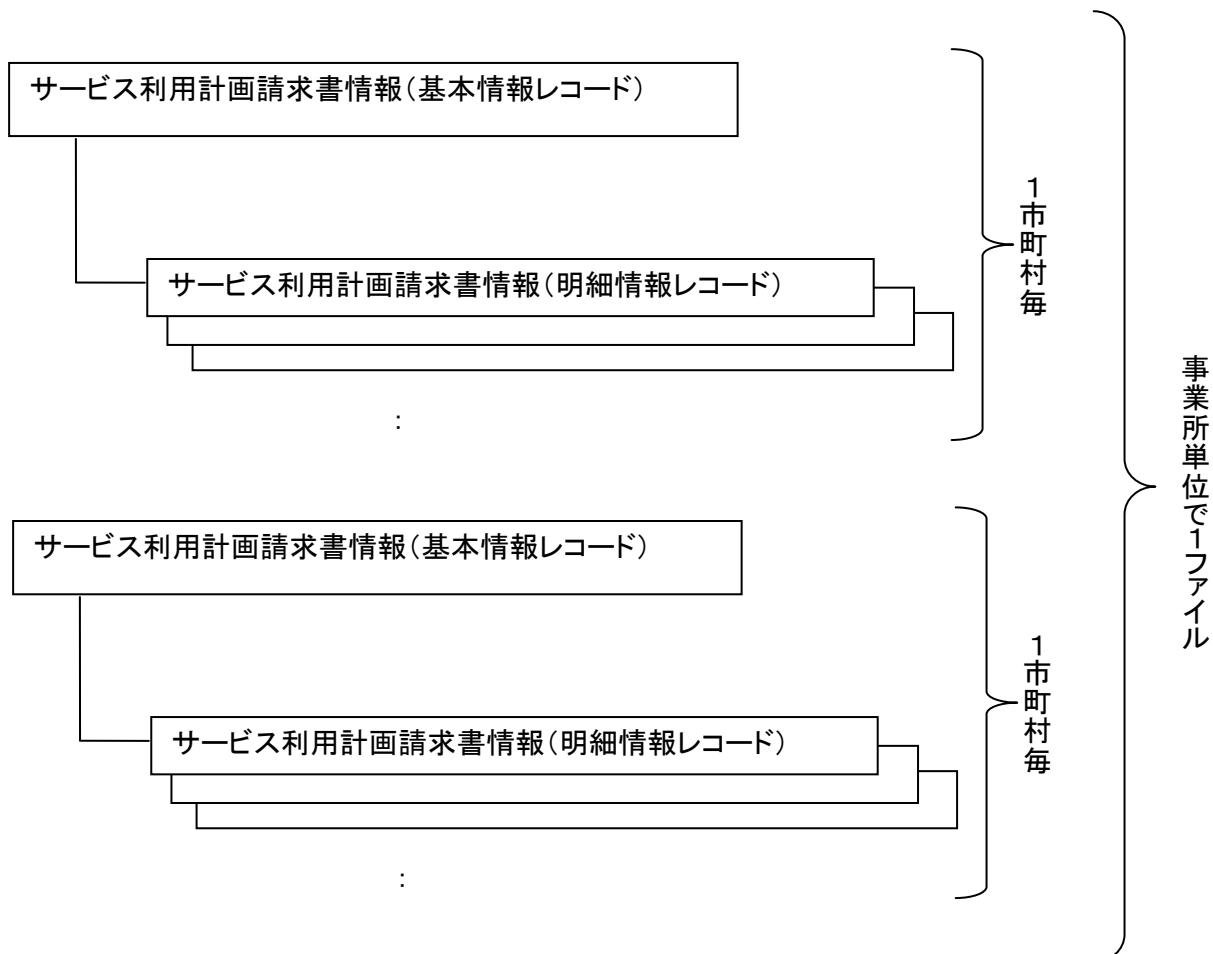
※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

## サービス利用計画作成費請求書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



#### 1.2.3.4. 利用者負担上限額管理結果票情報

##### (1) 利用者負担上限額管理結果票情報

利用者負担上限額管理結果票情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

上限額管理事業所単位に利用者負担上限額管理結果票の基本情報等を格納する。

2 : 明細情報レコード(複数レコード)

各サービス提供事業所ごとの上限額管理結果額等を格納する。

(2) 利用者負担上限額管理結果票 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎		
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
4	上限額管理結果票情報作成区分コード	数字	1	上限額管理票の作成区分を設定する。 1:新規 2:修正 3:取消	◎	※1	
5	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チャックテゾット1桁含む)	◎	※C	
6	上限管理事業所番号	数字	10	上限管理を行った事業所の事業所番号を設定	◎	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
8	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△		
9	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△		
10	利用者負担上限月額	数字	5	利用者負担上限月額を設定	◎		
11	利用者負担上限額管理結果	数字	1	上限額管理結果を設定	◎	※2	
12	合計	総費用額	数字	10	サービスの総費用額	◎	※3
13		利用者負担額	数字	6	利用者負担額	◎	※3
14		管理結果後利用者負担額	数字	6	管理結果後利用者負担額	◎	※3

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 上限額管理票情報の作成区分を設定する。当該処理年月内で初めて送付する場合は。「新規」を設定する。内容に変更が発生し、再度送付する場合は、「修正」を設定する。情報自体を取り消す場合は「取消」を設定する。設定の詳細は「(4)利用者負担上限額管理結果票 レコード作成方法」を参照。

※2 “1”：管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない  
“2”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。  
“3”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※3 事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インターフェース上は常に必須とする。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(3) 利用者負担上限額管理結果票 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	◎		
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックボックス1桁含む)	◎	※C	
5	上限管理事業所番号	数字	10	上限管理を行った事業所の事業所番号を設定	◎	※C	
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
7	項目番	数字	2	1から通番を設定	◎		
8	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
9	利用者負担額集計・調整欄	総費用額	数字	10	サービスの総費用額	◎	※1
10		利用者負担額	数字	6	利用者負担額	◎	※1
11		管理結果後利用者負担額	数字	6	管理結果後利用者負担額	◎	※1

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

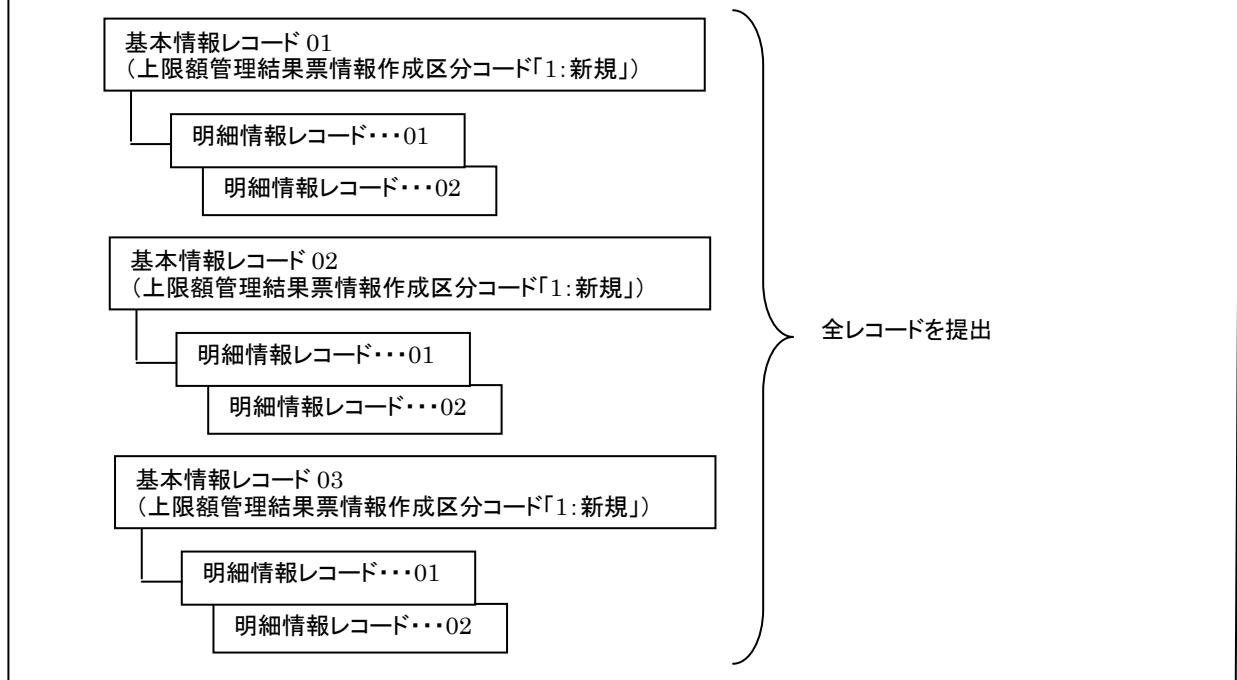
※1 事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インターフェース上は常に必須とする。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

#### (4) 利用者負担上限額管理結果票情報レコード作成方法

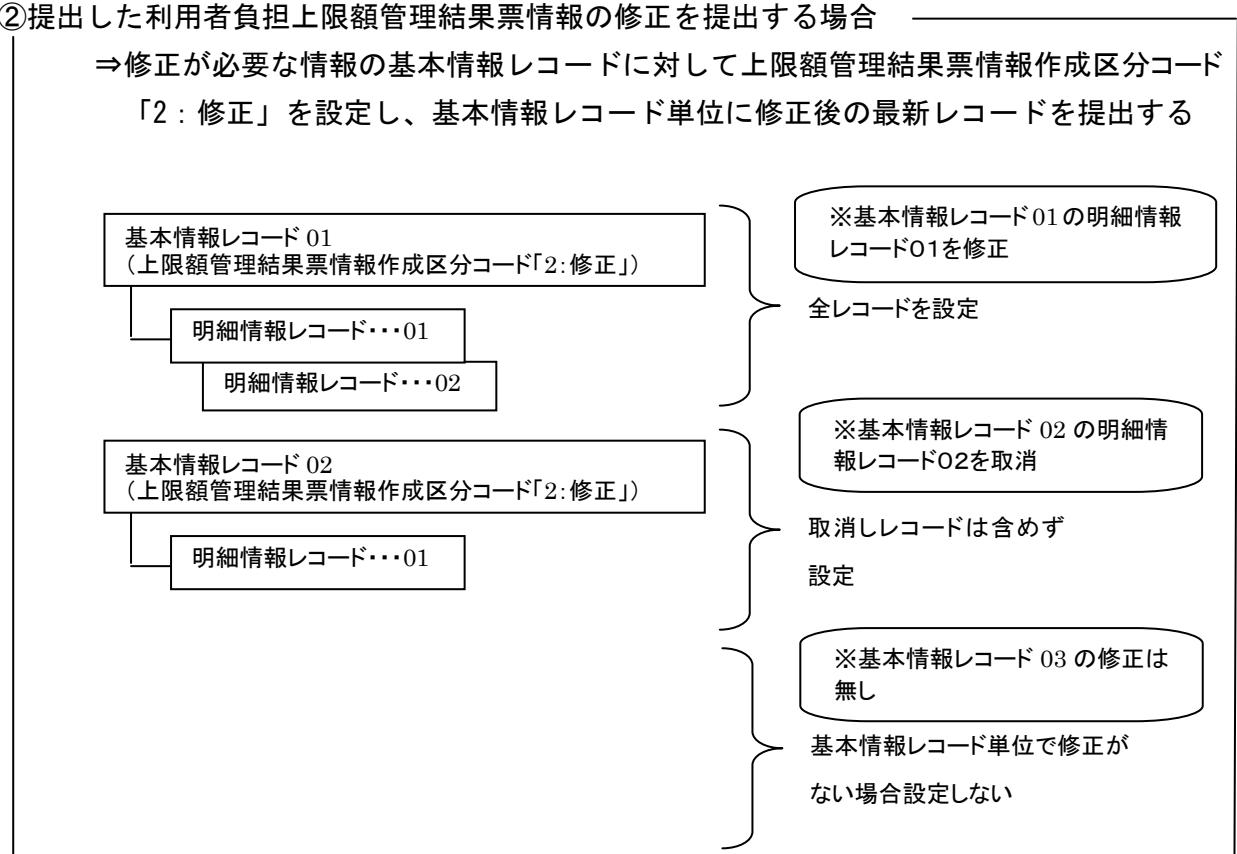
##### ①新規に利用者負担上限額管理結果票情報を提出する場合

⇒ 上限額管理結果票情報作成区分コード「1：新規」を設定し、全レコードを提出する。



##### ②提出した利用者負担上限額管理結果票情報を修正する場合

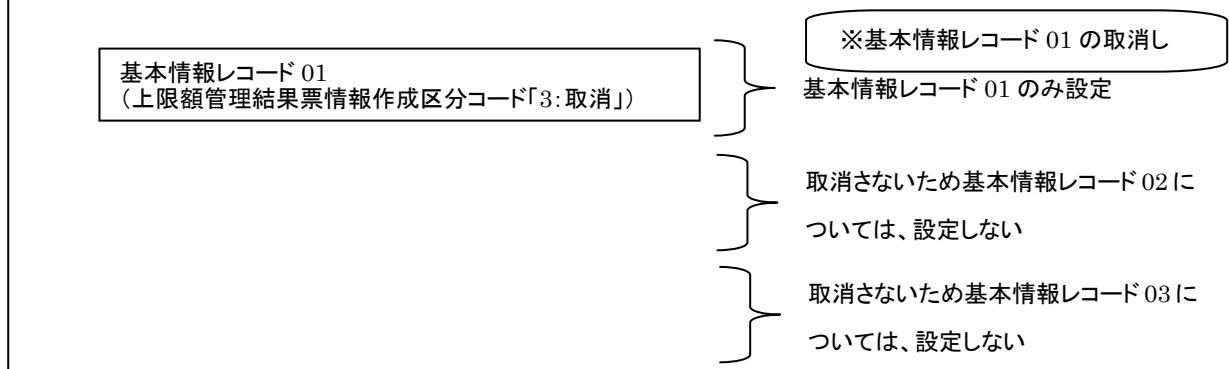
⇒ 修正が必要な情報の基本情報レコードに対して上限額管理結果票情報作成区分コード「2：修正」を設定し、基本情報レコード単位に修正後の最新レコードを提出する



③提出した利用者負担上限額管理結果票情報を取消す場合（基本情報レコード単位の取消）

⇒取消しが必要な基本情報レコードに対して上限額管理結果票情報作成区分コード

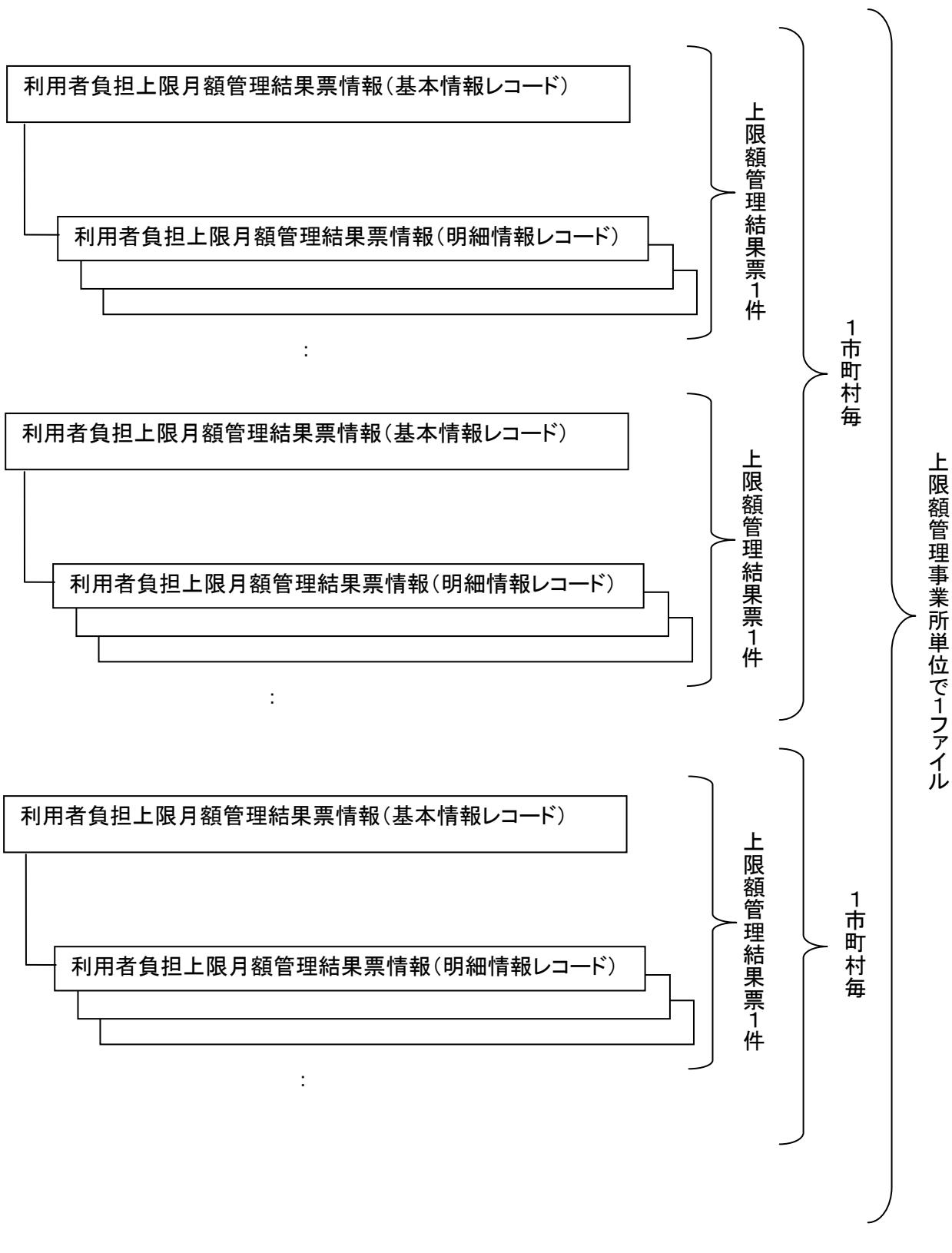
「3：取消」を設定し、基本情報レコードのみ提出する。



注) 同一キー（証記載市町村番号・受給者証番号・サービス提供年月・上限額管理事業所番号）の利用者負担上限額管理結果票更新結果の取消を行い、新規で再度登録する場合は、同一ファイルに取消データと新規データを作成してはならない。

## 利用者負担上限額管理結果票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 1.2.3.5. 利用者負担額一覧表情報

#### (1) 利用者負担額一覧表情報

利用者負担額一覧表情報は1つの情報レコードから構成される。

利用者負担額一覧表情報に関してはインターフェース仕様書(共通編)に定める「コントロールレコード」、「データレコード」、「エンドレコード」の設定は不要である。

##### 1: 情報レコード

受給者ごとの請求額、利用者負担額等を格納する。

#### (2) 利用者負担額一覧表 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
3	上限額管理事業所番号	数字	10	上限額管理者の事業所番号	◎	※C	
4	事業所番号	数字	10	事業所番号	◎	※C	
5	項目番	数字	4	1からの連番を設定	◎		
6	事業所名称	漢字	80	利用者負担額一覧表を作成した事業所の主たる事業所名称を設定。 インターフェースを受け渡した場合に、上限額管理結果票の各事業所名称欄に印刷する為の項目。	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
8	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックマジック1桁含む)	◎	※C	
9	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△		
10	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△		
11	総費用額	数字	10	サービスの総費用額	◎		
12	利用者負担額	数字	6	明細書の調整後利用者負担額	◎		
13	提 供 サ ー ビ ス	サービス種類コード1	数字	2	提供したサービス種類コード2桁を優先順位が高い順に設定	◎	※1
14		サービス種類コード2	数字	2	提供したサービス種類コード2桁を優先順位が高い順に設定	○	※1
15		サービス種類コード3	数字	2	提供したサービス種類コード2桁を優先順位が高い順に設定	○	※1

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

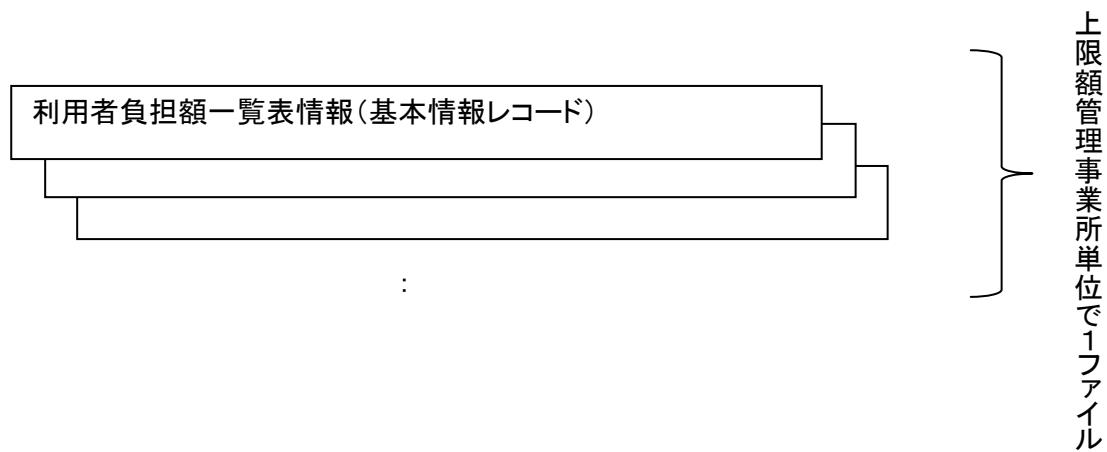
※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 サービス種類コードは最大3つまでを優先順位の高い順に設定する。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

## 利用者負担額一覧表情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 1.2.3.6. サービス提供実績記録票情報

#### (1) サービス提供実績記録票情報

サービス提供実績記録票情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

支給決定障害者毎のサービス提供実績記録票の基本情報等を格納する。

2 : 明細情報レコード(複数レコード)

日ごとの明細情報等を格納する。

(2) 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	説明	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックマジット1桁含む)	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
7	様式種別番号	数字	4	様式番号2桁、枝番2桁を設定	※1
8	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	数字	1 1:無し 2:有り	
9		補足給付額(円／日)	数字	4 補足給付適用の有無が有りの場合に、一日単位の補足給付額を設定	
10		食費の単価 朝食(円／日)	数字	5 補足給付適用の有無が有りの場合に、朝食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
11		食費の単価 昼食(円／日)	数字	5 補足給付適用の有無が有りの場合に、昼食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
12		食費の単価 夕食(円／日)	数字	5 補足給付適用の有無が有りの場合に、夕食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
13		食費の単価 一日(円／日)	数字	5 補足給付適用の有無が有りの場合に、一日単位の単価を設定(契約が1日単位の場合)	
14		光熱水費の単価 一日(円／日)	数字	6 補足給付適用の有無が有りの場合に、日単位の光熱水費単価を設定(契約が一日単位の場合)	
15		光熱水費の単価 一月(円／月)	数字	6 補足給付適用の有無が有りの場合に、一月単位の光熱水費単価を設定(契約が一月単位の場合)	
16	合計 (身体介護・行動援護・重度訪問)	内訳 100%	数字	4 1・2級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
17		内訳 70%	数字	4 3級ヘルパー、減算対象ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
18		内訳 重訪	数字	4 重度訪問介護研修修了者による時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
19		合計 算定時間数計	数字	4 算定時間数の合計を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	

項目番	項目名	属性	バト	説明	備考
20	合計2(通院介護(伴う))	内訳 100%	数字	4 1・2 級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
21		内訳 70%	数字	4 3 級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
22		内訳 重訪	数字	4 重度訪問介護研修修了者による時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
23		合計 算定時間数計	数字	4 算定時間数の合計を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
24	合計3(家事援助)	内訳 100%	数字	4 1・2 級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
25		内訳 90%	数字	4 3 級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
26		合計 算定時間数計	数字	4 算定時間数の合計を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
27	合計4(通院介護(伴はず))	内訳 100%	数字	4 1・2 級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
28		内訳 90%	数字	4 3 級ヘルパー等による実績時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
29		合計 算定時間数計	数字	4 算定時間数の合計を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
30	合計5(通院等乗降介助)	内訳 100%	数字	3 1・2 級ヘルパー等による実績回数を設定	
31		内訳 90%	数字	3 3 級ヘルパー等による実績回数を設定	
32		合計 算定時間数計	数字	3 算定回数の合計を設定	
33	提供実績の合計	算定 移動介護分	数字	3 移動介護の時間数を設定(整数)	
34		実績 送迎加算(回)	数字	2 片道単位の送迎回数を設定	
35		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数字	2 家庭連携加算のサービス提供回数を設定	
36		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数字	2 家庭連携加算の算定回数を設定	
37		合計 算定日数(日)	数字	2 算定日数の合計を設定	
38		夜間支援体制加算(回)	数字	2 夜間支援体制加算の回数を設定	

項目番	項目名	属性	バト	説明	備考
39	日中介護等支援加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	日中介護等支援加算のサービス提供回数を設定	
40	日中介護等支援加算(回) (算定回数)	数字	2	日中介護等支援加算の算定回数を設定	
41	通所型(回)	数字	2	通所型の回数を設定	
42	訪問型 1時間未満(回)	数字	2	訪問型 1時間未満の回数を設定	
43	訪問型 1時間以上(回)	数字	2	訪問型 1時間以上の回数を設定	
44	短期滞在加算(回)	数字	2	短期滞在加算の回数を設定	
45	食事提供加算(回)	数字	2	食事提供加算の提供回数を設定	
46	入院・外泊時加算(回)	数字	2	加算を算定する回数を設定	
47	入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	入院時支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	
48	入院時支援特別加算(回) (算定回数)	数字	2	入院時支援特別加算の算定回数の合計を設定	
49	自立生活支援加算(回)	数字	2	自立生活支援加算の回数の合計を設定	
50	自活訓練加算(回)	数字	2	自活訓練加算の回数を設定	
51	訪問支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	訪問支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	
52	訪問支援特別加算(回) (算定回数)	数字	2	訪問支援特別加算の算定回数の合計を設定	
53	施設外支援 当月(日)	数字	2	当月の施設外支援を行った日数を設定	
54	施設外支援 累計(日／180日)	数字	3	累計の施設外支援の日数を設定	
55	帰宅時支援加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	帰宅時支援加算のサービス提供回数の合計を設定	
56	帰宅時支援加算(回) (算定回数)	数字	2	帰宅時支援加算の算定回数の合計を設定	
57	朝食(回)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝食の合計回数を設定	
58	昼食(回)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼食の合計回数を設定	

項目番	項目名	属性	バト	説明	備考
59	夕食(回) 光熱水費(回) 各小計 食事(円) 各小計 光熱水費(円) 実費合計額(円)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕食の合計回数を設定	
60		数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、光熱水費を徴収する日数を設定	
61		数字	7	補足給付適用の有無が有りの場合に、単価と算定回数から食費の合計を計算し設定する。	
62		数字	7	補足給付適用の有無が有りの場合に、単価と算定回数から光熱水費の合計を計算し設定する。1月単位の契約の場合は1月の額を設定する。	
63		数字	8	補足給付適用の有無が有りの場合に、食費、高熱水費の小計を合計し設定する。	
64	入所時特別支援加算	利用開始日(年月日)	数字	8	利用開始日(YYYYMMDD)を設定。 ※Y
65		30日目(年月日)	数字	8	30日目(YYYYMMDD)を設定 ※Y
66		当月算定日数(日)	数字	2	入所時特別支援加算を算定した日数を設定
67	退所時特別支援加算	入所中算定日(年月日)	数字	8	入所中算定日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
68		退所日(年月日)	数字	8	退所日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
69		退所後算定日(年月日)	数字	8	退所後算定日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
70	初期加算	利用開始日(年月日)	数字	8	利用開始日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
71		30日目(年月日)	数字	8	30日目(YYYYMMDD)を設定 ※Y
72		当月算定日数(日)	数字	2	日数を設定
73	地域移行加算	入所中算定日(年月日)	数字	8	入所中算定日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
74		退所日(年月日)	数字	8	退所日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
75		退所後算定日(年月日)	数字	8	退所後算定日(YYYYMMDD)を設定 ※Y
76	重度包括	実績単位数(単位)	数字	6	当月の実績単位数を設定
77		実績割合(%)	数字	4	当月の実績割合を設定(整数部 3 桁+小数部 1 桁を設定、例:99. 5→0995)

項目番	項目名	属性	バト	説明	備考
78	支給決定量(単位)	数字	6	受給者証の支給決定量を設定	
79	報酬請求額(円)	数字	7	当月の報酬請求額を設定	
80	利用者負担上限月額(円)	数字	6	受給者証の利用者負担上限月額を設定	
81	利用者負担額(円)	数字	6	当月の利用者負担額を設定	
82	共同生活介護合計日数	数字	2	共同生活介護の合計日数を設定	
83	短期入所合計日数	数字	2	短期入所の合計日数を設定	
84	その他サービス合計時間数	数字	4	その他サービスの合計時間数を設定(整数部3桁+小数部1桁を設定、例:99.5→0995)	
85	当該月の日数	数字	2	当該月の日数を設定	
86	サービス担当者会議開催日 (YYYYMMDD)を設定	数字	8		※Y
87	第1時間帯 早朝	数字	3	第1時間帯の早朝時間数を設定	
88	第1時間帯 日中	数字	3	第1時間帯の日中時間数を設定	
89	第1時間帯 夜間	数字	3	第1時間帯の夜間時間数を設定	
90	第1時間帯 深夜	数字	3	第1時間帯の深夜時間数を設定	
91	第2時間帯 早朝	数字	3	第2時間帯の早朝時間数を設定	
92	第2時間帯 日中	数字	3	第2時間帯の日中時間数を設定	
93	第2時間帯 夜間	数字	3	第2時間帯の夜間時間数を設定	
94	第2時間帯 深夜	数字	3	第2時間帯の深夜時間数を設定	
95	第3時間帯 早朝	数字	3	第3時間帯の早朝時間数を設定	
96	第3時間帯 日中	数字	3	第3時間帯の日中時間数を設定	
97	第3時間帯 夜間	数字	3	第3時間帯の夜間時間数を設定	

重度訪問介護(様式3-2)集計欄

項目番	項目名	属性	バイト	説明	備考
98	第3時間帯 深夜 第4時間帯 早朝 第4時間帯 日中 第4時間帯 夜間 第4時間帯 深夜 第5時間帯 早朝 第5時間帯 日中 第5時間帯 夜間 第5時間帯 深夜 第6時間帯 早朝 第6時間帯 日中 第6時間帯 夜間 第6時間帯 深夜	数字	3	第3時間帯の深夜時間数を設定	
99		数字	3	第4時間帯の早朝時間数を設定	
100		数字	3	第4時間帯の日中時間数を設定	
101		数字	3	第4時間帯の夜間時間数を設定	
102		数字	3	第4時間帯の深夜時間数を設定	
103		数字	3	第5時間帯の早朝時間数を設定	
104		数字	3	第5時間帯の日中時間数を設定	
105		数字	3	第5時間帯の夜間時間数を設定	
106		数字	3	第5時間帯の深夜時間数を設定	
107		数字	3	第6時間帯の早朝時間数を設定	
108		数字	3	第6時間帯の日中時間数を設定	
109		数字	3	第6時間帯の夜間時間数を設定	
110		数字	3	第6時間帯の深夜時間数を設定	
111	施設種類	数字	2	設定しない	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 (4)様式と様式種別番号の対応を参照のこと。

(3) 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	説明	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックdigit1桁含む)	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
7	様式種別番号	数字	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定 様式3-1の場合、0301を設定	※1
8	提供通番	数字	3	居宅介護、行動援護、重度訪問介護において、複数の明細情報レコード(サービス提供時間)が一連のサービス提供であることを識別するための番号。	※2
9	日付	数字	2	日を設定(短期入所の場合、サービス提供を行った全ての日を設定する)	
10	サービス提供回数	数字	2	サービス提供回数を設定	※3
11	サービス内容	数字	6	居宅介護および、重度包括のサービス種別を判定する為に、決定コード 6 桁を設定	
12	ヘルパー資格	数字	2	資格要件対象のサービスのみ設定 居宅介護(11:1・2級等 12:3級等 13:重訪) 行動援護(21:1・2級等 22:減算)	
13	運転フラグ	数字	1	運転を表す場合1を設定。	
14	開始時間	数字	4	開始時間を数字 4 桁で設定 例) 10:00→1000	
15	終了時間	数字	4	終了時間を数字 4 桁で設定 例) 11:00→1100	
16	算定時間数	数字	3	算定時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 1 桁を設定、例: 10. 5→105)	
17	乗降(回数)	数字	2	乗降介助の回数を設定	
18	移動	数字	2	重度訪問介護の移動の時間数を設定(整数)	
19	派遣人数	数字	1	通常は‘1’を設定。同一時間に2人ヘルパーでサービス提供を行った場合‘2’を設定。	
20	前月からの継続サービス	数字	1	居宅介護サービスにおいて、前月から継続したサービス提供を行った場合、1を設定する。	

項目番	項目名	属性	バ'ト	説明	備考
21	送迎加算 往	数字	1	デイサービスの送迎(往路)を行った回数を設定	
22	送迎加算 復	数字	1	デイサービスの送迎(復路)を行った回数を設定	
23	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数字	4	実際に支援に要した時間数を設定(整数部 2 枠+小数部 2 枠を設定、例:1. 5時間→0150)	
24	家庭連携加算 (算定時間数)	数字	2	算定する時間数を設定(整数)	
25	自活訓練加算	数字	1	加算を算定する場合1を設定	
26	短期滞在加算	数字	1	加算を算定する場合1を設定	
27	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)	数字	4	実際にサービス提供した時間数を設定(整数部 2 枠+小数部 2 枠を設定、例:1. 5時間→0150)	
28	訪問支援特別加算 (算定時間数)	数字	2	算定する時間数を設定(整数)	
29	施設外支援	数字	1	施設外支援を行った場合1を設定	
30	退所時支援特別加算	数字	1	退所時支援特別加算を行った場合、1を設定	
31	地域移行加算	数字	1	地域移行加算を行った場合、1を設定	
32	食事提供加算	数字	1	加算対象となる低所得者に対して食事を提供した場合1を設定	
33	入院・外泊時加算	数字	1	加算を算定する場合1を設定	
34	提供形態	数字	1	1:通所型 2:訪問型	
35	備考	漢字	100	備考欄に記載が必要な場合、設定	※4
36	サービス提供の状況	数字	1	1:宿泊型自立訓練 2:入院 3:外泊 4:入院→外泊 5:外泊→入院 6:入院→共同生活住居に戻る→外泊 7:外泊→共同生活住居に戻る→入院	
37	夜間支援体制加算	数字	1	加算を算定する場合1を設定	
38	入院時支援特別加算 (サービス提供回数)	数字	1	入院時支援特別加算の算定用件を満たす支援を行った場合1を設定。報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する。	
39	入院時支援特別加算 (算定回数)	数字	1	入院時支援特別加算の報酬上算定できる回数を設定する。	
40	帰宅時支援加算 (サービス提供回数)	数字	1	帰宅時支援加算の算定用件を満たす支援を行った場合1を設定。報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する。	
41	帰宅時支援加算 (算定回数)	数字	1	帰宅時支援加算の報酬上算定できる回数を設定する。	

項目番	項目名	属性	バト	説明	備考
42	自立生活支援加算	数字	1	自立生活支援加算を算定する場合1を設定	
43	日中介護等支援加算 (サービス提供回数)	数字	1	日中介護等支援加算の算定用件を満たす支援を行った場合1を設定。報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する。	
44	日中介護等支援加算 (算定回数)	数字	1	日中介護等支援加算の報酬上算定できる回数を設定する。	
45	算定日数	数字	1	算定対象日に1を設定	
46	自立訓練 訪問型時間数	数字	4	訪問型自立訓練を提供した場合、その時間数を設定する。整数部2桁小数部2桁で設定する(様式には本項目は無いがインターフェースには設定する)。	
47	実費算定	朝食	数字	1 準足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って朝食を提供した場合1を設定。	※5
48		昼食	数字	1 準足給付適用の有無が有りの場合で、昼食を提供した場合1を設定。	※5
49		夕食	数字	1 準足給付適用の有無が有りの場合で、夕食を提供した場合1を設定。	※5
50		光熱水費	数字	1 準足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って、光熱水費を徴集する日に1を設定。	
51	重度包括	適用単価	数字	3 適用単価を設定	
52		基本単位数	数字	4 基本単位数を設定	
53		加算	数字	1 1:早朝 3:夜間 4:深夜	
54		加算後単位数	数字	4 加算後単位数を設定	
55		単位数	数字	4 単位数を設定	
56		1日計	数字	5 1日計を設定	
57	重度訪問 (様式3-2)	1時間(13時間)	数字	1 1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
58		2時間(14時間)	数字	1 1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
59		3時間(15時間)	数字	1 1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
60		4時間(16時間)	数字	1 1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
61		5時間(17時間)	数字	1 1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
62		6時間(18時間)	数字	1 1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	

項目番	項目名	属性	ババ	説明	備考
63	7時間(19時間) 8時間(20時間) 9時間(21時間) 10時間(22時間) 11時間(23時間) 12時間(24時間)	数字	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
64		数字	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
65		数字	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
66		数字	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
67		数字	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
68		数字	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 (4) 様式と様式種別番号の対応を参照のこと。

※2 居宅介護、行動援護、重度訪問介護において、サービス提供年月内でサービス提供の順に1から通番を採番する。居宅介護、行動援護においては一連のサービス提供を行った場合(サービス間隔が2時間未満の場合)、一連のサービス提供について同一番号を設定する。また、1日の所要時間を通算して算定する重度訪問介護においては、同一日のサービス提供に対して、同一番号を設定することとなる。2人派遣により行が分かれる場合は、提供通番は別番号を設定する。

※3 二人派遣で時間がずれた場合、二人派遣で1人目と2人目の従業者要件が異なる場合に、開始時間の早い順に1からの連番を設定する。ただし、重度訪問介護(様式3-2)においては、12時間目までの行に‘1’、13時間目以降の行に‘2’を設定する。また、重度訪問介護(様式3-2)において、二人派遣により行が分かれる場合にはヘルパー単位に1からの連番を設定する。

例) 5:00～20:00(1人目)、15:00～20:00(2人目)の場合

日付	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間
1人目 1日	1	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中
1人目 1日	2	日中	夜間	夜間	夜間							
2人目 1日	1	日中	日中	日中	夜間	夜間						

※4 居宅介護における「運転時間」、「空き時間」、行動援護における「減算」、施設入所支援における「地域移行加算」、旧法(入所／旧法(通勤寮))における「退所時特別支援加算」、旧法(通所)／就労継続／就労移行における「施設外支援」に関しては設定項目を設けている為、備考欄への設定は必要ない。

※5 1日単位の契約の場合は、朝食、昼食、夕食の全てに1を設定。

(4) 様式と様式種別番号の対応

項番	情報名	様式名	様式種別番号	備考
(1)	居宅介護サービス提供実績記録票情報	様式1	0101	
(2)	行動援護サービス提供実績記録票	様式2	0201	
(3)	重度訪問介護サービス提供実績記録票	様式3－1	0301	
(4)	重度訪問介護サービス提供実績記録票	様式3－2	0302	
(5)	重度障害者等包括支援サービス提供実績記録票	様式4	0401	
(6)	児童デイサービス提供実績記録票	様式5	0501	
(7)	短期入所サービス提供実績記録票	様式6	0601	
(8)	生活介護サービス提供実績記録票	様式7	0701	
(9)	共同生活介護サービス実績記録票	様式8	0801	
(10)	施設入所支援提供実績記録票	様式9	0901	
(11)	旧法施設支援(入所)提供実績記録票	様式10	1001	
(12)	旧法施設支援(通勤寮)提供実績記録票	様式11	1101	
(13)	旧法施設支援(通所)実績記録票	様式12	1201	
(14)	自立訓練(機能訓練)サービス提供実績記録票	様式13	1301	
(15)	自立訓練(生活訓練)サービス提供実績記録票	様式14	1401	
(16)	宿泊型自立訓練サービス提供実績記録票	様式15	1501	
(17)	就労移行支援実績記録票	様式16	1601	
(18)	就労継続支援実績記録票	様式17	1701	
(19)	共同生活援助サービス実績記録票	様式18	1801	

(5) 入力必須項目と様式の対応表(基本情報レコード)

様式種別番号		0101	0201	0301	0302	0401	0501	0601	0701	0801	0901	1001	1101	1201	1301	1401	1501	1601	1701	1801
項目番号	項目名	居宅介護	行動援護	重度訪問介護3-1	重度訪問介護3-2	重度包括	児童デイサービス	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	旧法施設支援(通勤寮)	旧法施設支援(通所)	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	共同生活援助	
1	交換情報識別番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	レコード種別コード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	サービス提供年月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	市町村番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	事業所番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	受給者証番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	様式種別番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	補足給付関係情報	補足給付適用の有無																		
9		補足給付額(円／日)																		
10		食費の単価 朝食(円／日)																		
11		食費の単価 昼食(円／日)																		
12		食費の単価 夕食(円／日)																		
13		食費の単価 一日(円／日)																		
14		光熱水費の単価 一日(円／日)																		
15		光熱水費の単価 一月(円／月)																		
16	合計1	内訳 100%																		
17		内訳 70%																		
18		内訳 重訪																		
19		合計 算定時間数計																		
20	合計2	内訳 100%																		
21		内訳 70%																		
22		内訳 重訪																		
23		合計 算定時間数計																		
24	合	内訳 100%																		

様式種別番号																											
項目番	項目名	居宅介護	行動援護	重度訪問介護3-1	重度訪問介護3-2	重度包括	児童デイサービス	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	0901	旧法施設支援(通勤寮)	1001	旧法施設支援(通所)	1101	自立訓練(機能訓練)	1201	自立訓練(生活訓練)	1301	宿泊型自立訓練	1401	就労移行支援	1501	就労継続支援	1601	共同生活援助
25	計 3	内訳 90%	○																								
26		合計 算定時間数計	○																								
27		内訳 100%	○																								
28	合 計 4	内訳 90%	○																								
29		合計 算定時間数計	○																								
30		内訳 100%	○																								
31	合 計 5	内訳 90%	○																								
32		合計 算定時間数計	○																								
33		算定 移動介護分			○ ○																						
34	提供実績の合計	実績 送迎加算(回)							○																		
35		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)							○																		
36		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)							○																		
37		合計 算定日数(日)								○																	
38		夜間支援体制加算(回)									○																
39		日中介護等支援加算(回) (サービス提供回数)									○																
40		日中介護等支援加算(回) (算定回数)									○																
41		通所型(回)																		○ ○							
42		訪問型 1時間未満(回)																		○ ○							
43		訪問型 1時間以上(回)																		○ ○							
44		短期滞在加算(回)																		○							
45		食事提供加算(回)								○ ○								○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○							
46		入院・外泊時加算(回)									○ ○ ○																
47		入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)									○ ○ ○															○	

様式種別番号																		
項目番	項目名	居宅介護	行動援護	重度訪問介護3-1	重度訪問介護3-2	重度包括	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	旧法施設支援(通勤寮)	旧法施設支援(通所)	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	共同生活援助
48	入院時支援特別加算(回)(算定回数)								○	○	○	○					○	○
49	自立生活支援加算(回)								○									○
50	自活訓練加算(回)										○							
51	訪問支援特別加算(回)(サービス提供回数)						○	○					○			○	○	
52	訪問支援特別加算(回)(算定回数)						○	○					○			○	○	
53	施設外支援 当月(日)												○			○	○	
54	施設外支援 累計(日／180日)												○			○	○	
55	帰宅時支援加算(回)(サービス提供回数)								○								○	
56	帰宅時支援加算(回)(算定回数)								○								○	
57	実費算定の合計	朝食(回)									○	○						
58		昼食(回)									○	○						
59		夕食(回)									○	○						
60		光熱水費(回)									○	○						
61		各小計 食事(円)									○	○						
62		各小計 光熱水費(円)									○	○						
63		実費合計額(円)									○	○						
64	入所時特別支援加算	利用開始日(年月日)									○	○	○					
65		30日目(年月日)									○	○	○					
66		当月算定日数(日)									○	○	○					
67	退所時特別支援加算	入所中算定日(年月日)									○	○	○					
68		退所日(年月日)									○	○	○					
69		退所後算定日(年月日)									○	○	○					

様式種別番号																												
項目番	項目名		居宅介護	行動援護	重度訪問介護3-1	重度訪問介護3-2	重度包括	0401	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	0901	旧法施設支援(通勤寮)	1001	旧法施設支援(通所)	1101	自立訓練(機能訓練)	1201	自立訓練(生活訓練)	1301	宿泊型自立訓練	1401	就労移行支援	1501	就労継続支援	1601	共同生活援助
70	初期加算	利用開始日(年月日)								○								○	○	○	○	○						
71		30日目(年月日)								○								○	○	○	○	○						
72		当月算定日数(日)								○								○	○	○	○	○						
73	地域移行加算	入所中算定日(年月日)											○															
74		退所日(年月日)											○															
75		退所後算定日(年月日)											○															
76	重度包括	実績単位数(単位)						○																				
77		実績割合(%)						○																				
78		支給決定量(単位)						○																				
79		報酬請求額(円)						○																				
80		利用者負担上限月額(円)						○																				
81		利用者負担額(円)						○																				
82		共同生活介護合計日数						○																				
83		短期入所合計日数						○																				
84		その他サービス合計時間数						○																				
85		当該月の日数						○																				
86		サービス担当者会議開催日						○																				
87	重度訪問介護(様式3-2)集計欄	第1時間帯 早朝						○																				
88		第1時間帯 日中						○																				
89		第1時間帯 夜間						○																				
90		第1時間帯 深夜						○																				
91		第2時間帯 早朝						○																				
92		第2時間帯 日中						○																				
93		第2時間帯 夜間						○																				
94		第2時間帯 深夜						○																				

様式種別番号																		
項目番	項目名	居宅介護	行動援護	重度訪問介護	重度訪問介護3-1	重度訪問介護3-2	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	旧法施設支援(通勤寮)	旧法施設支援(通所)	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	共同生活援助
95	第3時間帯 早朝			○														
96				○														
97				○														
98				○														
99				○														
100				○														
101				○														
102				○														
103				○														
104				○														
105				○														
106				○														
107				○														
108				○														
109				○														
110				○														
111	施設種類																	

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

## (6) 入力必須項目と様式の対応表(明細情報レコード)

様式種別番号		0101	1601	1701	1801													
項目番	項目名	居宅介護 行動援護	重度訪問介護(3-1) 重度訪問介護(3-2)	重度包括	児童デイサービス	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	旧法施設支援(入所)	旧法施設支援(通勤寮)	旧法施設支援(通所)	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	共同生活援助
1	交換情報識別番号	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
2	レコード種別コード	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
3	サービス提供年月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
4	市町村番号	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
5	事業所番号	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6	受給者証番号	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
7	様式種別番号	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
8	提供通番	◎	◎	◎	◎													
9	日付	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
10	サービス提供回数	○	○	○	○													
11	サービス内容	○				○												
12	ヘルパー資格	○	○															
13	運転フラグ	○																
14	開始時間	○	○	○		○	○	○					○	○	○	○	○	
15	終了時間	○	○	○		○	○	○					○	○	○	○	○	
16	算定時間数	○	○	○	○	○												
17	乗降(回数)	○																
18	移動			○	○													
19	派遣人数	○	○	○		○												
20	前月からの継続サービス	○																
21	送迎加算 往						○											
22	送迎加算 復						○											
23	家庭連携加算(サービス提供時間数)						○											

様式種別番号																		
項目番	項目名	居宅介護	行動援護	重度訪問介護(3-1)	重度訪問介護(3-2)	児童デイサービス	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	旧法施設支援(通勤寮)	旧法施設支援(入所)	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	共同生活援助
24	家庭連携加算(算定時間数)					○												
25	自活訓練加算										○							
26	短期滞在加算														○			
27	訪問支援特別加算(サービス提供時間数)					○		○					○			○	○	
28	訪問支援特別加算(算定時間数)					○		○					○			○	○	
29	施設外支援												○			○	○	
30	退所時支援特別加算										○	○	○					
31	地域移行加算										○							
32	食事提供加算							○	○			○	○	○	○	○	○	○
33	入院・外泊時加算										○	○	○					
34	提供形態														○	○		
35	備考	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	サービス提供の状況									○	○	○	○			○		○
37	夜間支援体制加算									○								
38	入院時支援特別加算(サービス提供回数)									○	○	○	○					○
39	入院時支援特別加算(算定回数)									○	○	○	○					○
40	帰宅時支援加算(サービス提供回数)									○								○
41	帰宅時支援加算(算定回数)									○								○
42	自立生活支援加算									○								○
43	日中介護等支援加算(サービス提供回数)									○								
44	日中介護等支援加算(算定回数)									○								
45	算定日数						○											
46	自立訓練 訪問型時間数													○	○			
47	実費算定 朝食									○	○							
48	昼食									○	○							

様式種別番号																	
項目番	項目名	居宅介護	行動援護	短期入所	生活介護	共同生活介護	施設入所支援	旧法施設支援(通勤寮)	旧法施設支援(入所)	自立訓練(機能訓練)	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	共同生活援助			
49	夕食							○	○								
50								○	○								
51	重度包括	適用単価			○												
52		基本単位数			○												
53		加算			○												
54		加算後単位数			○												
55		単位数			○												
56		1日計			○												
57	重度訪問(様式3-2)	1時間(13時間)			○												
58		2時間(14時間)			○												
59		3時間(15時間)			○												
60		4時間(16時間)			○												
61		5時間(17時間)			○												
62		6時間(18時間)			○												
63		7時間(19時間)			○												
64		8時間(20時間)			○												
65		9時間(21時間)			○												
66		10時間(22時間)			○												
67		11時間(23時間)			○												
68		12時間(24時間)			○												

※必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

## (7) サービス提供実績記録票設定例

### ① 留意事項

- i ) サービス提供実績記録票設定例では、インターフェース特有の設定例を主に説明する。本設定例に説明の無い事項に関しては、紙様式の記載と同様の設定方法となる。
- ii ) 計画時間数などの計画情報については実績記録票インターフェースに設定しない。算定の根拠となる情報(サービス提供開始時間、終了時間、算定時間数など)を設定する。
- iii ) 個人的な契約に基づき支給量を超過してサービス提供を行った場合など、支給決定を超えた部分のサービス提供実績は設定しない。算定根拠となる情報を設定する。
- iv ) 実績記録票の契約支給量は設定しない(契約情報は、請求明細書の契約情報レコードに設定する)。

②居宅介護

No	実際のサービス提供時間							
1	【通常】		10:00	11:00	12:00	13:00		
	身体	10:00～11:30	身体					
実績記録票インターフェース設定								
提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数	
1	1		111000	11	10:00～11:30	1.5	1	

提供通番にはサービス1回毎の通番を採番し設定する(複数回のサービスを1回のサービスとして扱う場合は複数のレコードに対して提供通番に同一番号が設定されることがある)。

No	実際のサービス提供時間							
2	【ヘルパー要件有】		10:00	11:00	12:00	13:00		
	身体(重訪)	10:00～11:30	身体(重訪)					
実績記録票インターフェース設定								
提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数	
1	1		111000	13	10:00～10:30	1.5	1	

身体(重訪)の場合ヘルパー資格に'13'を設定

No	実際のサービス提供時間						
3	【乗降の場合】		10:00	11:00	12:00		
	乗降 10:00～10:30 (1人目)		乗降				

#### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	乗降(回数)	派遣人数
1	1		115000		10:00～10:30	1	1

乗降の場合、回数を設定。

No	実際のサービス提供時間						
4	【同一時間2人派遣】		10:00	11:00	12:00		
	身体 10:00～11:00 (1人目)		身体(一人目)				
身体 10:00～11:00 (2人目)		身体(二人目)					

#### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1		111000	11	10:00～11:00	1	2
							合計 2

2人派遣でヘルパーの派遣時間が同一の場合、算定時間数は1時間とし、派遣人数を2と設定する。合計欄については、2時間を設定する(1時間×2人=2時間)。

No	実際のサービス提供時間							
5	【2人派遣派遣時間ずれ】			10:00	11:00	12:00	13:00	
	身体 10:00～12:00 (1人目)			身体(一人目)				
身体 11:00～13:00 (2人目)			身体(二人目)					

#### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	1	111000	11	10:00～13:00	3	1
2	1	2	111000	11	11:00～12:00	1	1
合計							4

2人派遣で時間がずれた場合、2行に分けて設定する(提供通番は別番号となる)。1行目は全体の通算時間を設定する。2行目はヘルパーが重複している時間帯を設定する。この時、ヘルパー毎にサービス提供回数を設定する(ヘルパー1人目に1、2人目に2を設定する)。派遣人数は行ごとに1と設定する。

No	実際のサービス提供時間							
6	【2人派遣 ヘルパー要件違い】			10:00	11:00	12:00	13:00	
	身体 10:00～12:00 (1人目)			身体(一人目)				
身体(3級) 11:00～13:00 (2人目)			身体(3級)(二人目)					

#### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	1	111000	11	10:00～12:00	2	1
2	1	2	111000	12	11:00～13:00	2	1
合計							4

2人派遣で1人目と2人目の従業者要件が異なる場合は、それぞれ行を分けて設定する。

No	実際のサービス提供時間																					
7	【運転あり】 通院(伴う) 5:00～5:30 運転 5:30～6:00 通院(伴う) 6:00～7:00	5:00	6:00	7:00																		
		通院 (伴う)	運転	通院(伴う)																		
紙様式記載例			算定の考え方																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>提供時間</th> <th>備考欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通院(伴う)</td> <td>5:00～7:00</td> <td>運転中5:30 ～6:00を除く</td> </tr> </tbody> </table>			サービス内容	提供時間	備考欄	通院(伴う)	5:00～7:00	運転中5:30 ～6:00を除く	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>提供時間</th> <th>時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通院(伴う)</td> <td>5:00～5:30</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>運転</td> <td>5:30～6:00</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>通院(伴う)</td> <td>6:00～7:00</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>		サービス内容	提供時間	時間数	通院(伴う)	5:00～5:30	0.5	運転	5:30～6:00	0.5	通院(伴う)	6:00～7:00	1.0
サービス内容	提供時間	備考欄																				
通院(伴う)	5:00～7:00	運転中5:30 ～6:00を除く																				
サービス内容	提供時間	時間数																				
通院(伴う)	5:00～5:30	0.5																				
運転	5:30～6:00	0.5																				
通院(伴う)	6:00～7:00	1.0																				

### 実績記録票インターフェース設定

提供 通番	日	サービス 提供回数	サービス内 容	運転	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数
1	1		113000		11	5:00～5:30		1
1	1		113000	1	11	5:30～6:00		1
1	1		113000		11	6:00～7:00	1.5	1

5:00～7:00までが連続した1回のサービス提供であるため、提供通番には同一番号を設定する。また、算定時間は最終行にまとめて設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行とする。

運転時間は運転フラグに1を設定する。

運転の時間数は算定時間に含まれない。

No	実際のサービス提供時間																																	
8	【空き時間あり】 身体 5:00～7:00 身体 8:30～10:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00																											
		身体																																
		身体																																
紙様式記載例				算定の考え方																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>提供時間</th> <th>備考欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>5:00～10:00</td> <td>空き時間7:00～8:30</td> </tr> </tbody> </table>				サービス内容	提供時間	備考欄	身体	5:00～10:00	空き時間7:00～8:30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>提供時間</th> <th>時間数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>5:00～7:00</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空き</td> <td>7:00～8:30</td> <td>1.5</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>身体</td> <td>8:30～10:00</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				サービス内容	提供時間	時間数		身体	5:00～7:00	2.0		空き	7:00～8:30	1.5	※	身体	8:30～10:00	1.5						
サービス内容	提供時間	備考欄																																
身体	5:00～10:00	空き時間7:00～8:30																																
サービス内容	提供時間	時間数																																
身体	5:00～7:00	2.0																																
空き	7:00～8:30	1.5	※																															
身体	8:30～10:00	1.5																																
				※空き時間が2時間未満の場合、連続した1回のサービス提供として取り扱う。																														
実績記録票インターフェース設定																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>提供通番</th> <th>日</th> <th>サービス提供回数</th> <th>サービス内容</th> <th>運転</th> <th>資格</th> <th>提供時間</th> <th>算定時間</th> <th>派遣人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>111000</td> <td></td> <td>11</td> <td>5:00～7:00</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>111000</td> <td></td> <td>11</td> <td>8:30～10:00</td> <td>3.5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>								提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	運転	資格	提供時間	算定時間	派遣人数	1	1		111000		11	5:00～7:00		1	1	1		111000		11	8:30～10:00	3.5	1
提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	運転	資格	提供時間	算定時間	派遣人数																										
1	1		111000		11	5:00～7:00		1																										
1	1		111000		11	8:30～10:00	3.5	1																										
5:00～10:00までが連続した1回のサービス提供であるため、提供通番には同一番号を設定する。また、算定時間は最終行にまとめて設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行とする。 空き時間は設定しない。																																		

No	実際のサービス提供時間																																										
9	【空き時間複数あり】 身体 5:00～6:15 身体 6:30～7:30 身体 8:45～10:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00																																				
紙様式記載例						算定の考え方																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th><th>提供時間</th><th>備考欄</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td><td>5:00～10:00</td><td>空き時間6:15～6:30 ／7:30～8:45</td></tr> </tbody> </table>						サービス内容	提供時間	備考欄	身体	5:00～10:00	空き時間6:15～6:30 ／7:30～8:45	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th><th>提供時間</th><th>時間数</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td><td>5:00～6:15</td><td>1.25</td><td></td></tr> <tr> <td>空き</td><td>6:15～6:30</td><td>0.25</td><td>※</td></tr> <tr> <td>身体</td><td>6:30～7:30</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr> <td>空き</td><td>7:30～8:45</td><td>1.25</td><td>※</td></tr> <tr> <td>身体</td><td>8:45～10:00</td><td>1.25</td><td></td></tr> </tbody> </table>		サービス内容	提供時間	時間数		身体	5:00～6:15	1.25		空き	6:15～6:30	0.25	※	身体	6:30～7:30	1.0		空き	7:30～8:45	1.25	※	身体	8:45～10:00	1.25							
サービス内容	提供時間	備考欄																																									
身体	5:00～10:00	空き時間6:15～6:30 ／7:30～8:45																																									
サービス内容	提供時間	時間数																																									
身体	5:00～6:15	1.25																																									
空き	6:15～6:30	0.25	※																																								
身体	6:30～7:30	1.0																																									
空き	7:30～8:45	1.25	※																																								
身体	8:45～10:00	1.25																																									
※空き時間が2時間未満の場合、連続した1回のサービス提供として取り扱う。																																											
実績記録票インターフェース設定																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>提供通番</th><th>日</th><th>サービス提供回数</th><th>サービス内容</th><th>運転</th><th>資格</th><th>提供時間</th><th>算定時間</th><th>派遣人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>1</td><td></td><td>111000</td><td></td><td>11</td><td>5:00～6:15</td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>1</td><td>1</td><td></td><td>111000</td><td></td><td>11</td><td>6:30～7:30</td><td></td><td>1</td></tr> <tr> <td>1</td><td>1</td><td></td><td>111000</td><td></td><td>11</td><td>8:45～10:00</td><td>3.5</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>								提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	運転	資格	提供時間	算定時間	派遣人数	1	1		111000		11	5:00～6:15		1	1	1		111000		11	6:30～7:30		1	1	1		111000		11	8:45～10:00	3.5	1
提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	運転	資格	提供時間	算定時間	派遣人数																																			
1	1		111000		11	5:00～6:15		1																																			
1	1		111000		11	6:30～7:30		1																																			
1	1		111000		11	8:45～10:00	3.5	1																																			
5:00～10:00までが連続した1回のサービス提供であるため、提供通番には同一番号を設定する。また、算定時間は最終行にまとめて設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行とする。 空き時間は設定しない。																																											

No	実際のサービス提供時間					
10	【運転あり空き時間あり】 通院(伴う) 4:30～5:00 運転 5:00～5:15 通院(伴う) 5:15～6:30 通院(伴う) 7:45～9:00 運転 9:00～9:15 通院(伴う) 9:15～9:45					
		5:00	6:00	7:00	8:00	9:00
		通院(伴う)	運転	通院(伴う)		

紙様式記載例			算定の考え方		
サービス内容	提供時間	備考欄	サービス内容	提供時間	時間数
通院(伴う)	4:30～9:45	運転中5:00～5:15／9:00～9:15除く 空き時間6:30～7:45	通院(伴う)	4:30～5:00	0.5
			運転	5:00～5:15	0.25
			通院(伴う)	5:15～6:30	1.25
			空き	6:30～7:45	1.25
			通院(伴う)	7:45～9:00	1.25
			運転	9:00～9:15	0.25
			通院(伴う)	9:15～9:45	0.5

※空き時間が2時間未満の場合、連続した1回のサービス提供として取り扱う。

実績記録票インターフェース設定								
提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	運転	資格	提供時間	算定期間	派遣人数
1	1		113000		11	4:30～5:00		1
1	1		113000	1	11	5:00～5:15		1
1	1		113000		11	5:15～6:30		1
1	1		113000		11	7:45～9:00		1
1	1		113000	1	11	9:00～9:15		1
1	1		113000		11	9:15～9:45	3.5	1

4:30～9:45までが連続した1回のサービス提供であるため、提供通番には同一番号を設定する。空き時間は設定しない。運転は運転フラグに1を設定する。算定期間は最終行にまとめて設定する。運転の時間数は算定期間に含まれない。最終行とは、同一提供通番の中で、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行とする。



### 算定の考え方

日	サービス内容	提供時間	時間数	
当月分	1	身体介護	22:00～00:00	2
翌月分	2	身体介護	00:00～02:00	2

※0時をまたがった場合、0時で分けて算定する(0時前は当月分として、0時以降は翌月分として算定する)。

### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	111000		11	22:00～02:00	4	1

0時をまたがるサービス提供を行った場合、前日分、翌日分にわけず、1行で設定する。  
日付はサービス開始時間の属する日付を設定する。

No	実際のサービス提供時間							
	【月またがり (0時またがり)】	22:00 23:00 0:00 1:00 2:00						
12	身体 月末日 22:00 ～翌月初日 2:00	身体						
算定の考え方								
当月分	日 31	サービス内容 身体介護	提供時間 22:00～00:00	時間数 2	※			
翌月分	1	サービス内容 身体介護	提供時間 00:00～02:00	時間数 2	※			
※0時をまたがった場合、0時で分けて算定する(0時前は当月分として、0時以降は翌月分として算定する)。								
実績記録票インターフェース設定								
当月の実績記録票								
提供 通番	日	サービス 提供回数	サービス 内容	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数	前月からの継 続サービス
-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	31	111000	11	22:00～00:00	2	1		
翌月の実績記録票								
提供 通番	日	サービス 提供回数	サービス 内容	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数	前月からの継 続サービス
1	31	111000	11	22:00～00:00		1	1	
1	1	111000	11	00:00～02:00	2	1		
月末日から翌月初日の0時をまたがってサービス提供を行った場合、当月分と翌月分の実績記録票それぞれに分けて設定する。当月の実績記録票には当月分のサービス提供のみを設定する。翌月の実績記録票については、前月から継続しているサービス提供分も設定する(一連のサービスとして設定することになるので前月からの継続サービスと翌月初日のサービス提供分の提供通番は同一番号となる)。翌月の実績記録票における前月からの継続サービスについては、「前月からの継続サービス」に1を設定する。								
算定時間数は最終行に設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、前月からの継続サービス昇順、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行である。								

No	実際のサービス提供時間			
13	【月またがり（0時またがり）】 身体 月末日 23:50～翌月初日 00:50	23:00	0:00	1:00

### 算定の考え方

日	サービス内容	提供時間	時間数	
当月分	31	身体介護	23:50～00:20	0.5
翌月分	1	身体介護	00:20～00:50	0.5

※最小単位(30分)で日をまたがった場合、またがった時間分は開始時間が属する日の分として算定する。

### 実績記録票インターフェース設定

#### 当月の実績記録票

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数	前月からの継続サービス
-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	31	111000	11	23:50～00:20	0.5	1		

#### 翌月の実績記録票

提供通番	日	サービス提供回数	サービス内容	資格	提供時間	算定時間	派遣人数	前月からの継続サービス
1	31	111000	11	23:50～00:20		1	1	
1	1	111000	11	00:20～00:50	0.5	1		

月末日から翌月初日の0時をまたがってサービス提供を行った場合、当月分と翌月分の実績記録票それぞれに分けて設定する。当月の実績記録票には当月分のサービス提供のみを設定する。翌月の実績記録票については、前月から継続しているサービス提供分も設定する(一連のサービスとして設定することになるので前月からの継続サービスと翌月初日のサービス提供分の提供通番は同一番号となる)。翌月の実績記録票における前月からの継続サービスについては、「前月からの継続サービス」に1を設定する。

算定時間数は最終行に設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、前月からの継続サービス昇順、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行である。

③重度訪問介護

No	実際のサービス提供時間														
	【1日に複数回提供】		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	1 重度訪問 4:00～7:00 8:00～11:00 12:00～15:00	重度訪問	重度訪問	重度訪問											

実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		4:00～7:00			1
1	1		8:00～11:00			1
1	1		12:00～15:00	9		1

一連(同一日)のサービスに対して提供通番に同一番号を設定する。また、算定時間は最終行にまとめて設定する。

実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	9	

算定時間の通算時間を1時間単位に区分し時間帯を設定する。  
サービス提供回数には、12時間目までの行なので‘1’を設定する。

No	実際のサービス提供時間																																																							
2	【移動あり】																																																							
	重度訪問 4:00～7:00 7:30～11:00 13:00～16:30 移動介護 4:00～7:00		<table border="1"> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td colspan="3">重度訪問</td><td colspan="3">重度訪問</td><td colspan="3">重度訪問</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td colspan="3">移動</td><td colspan="3"></td><td colspan="3" rowspan="3"></td><td colspan="5" rowspan="3"></td></tr> </table>													4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	重度訪問			重度訪問			重度訪問								移動												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																																											
重度訪問			重度訪問			重度訪問																																																		
移動																																																								

### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		4:00～7:00			1
1	1		7:30～11:00			1
1	1		13:00～16:30	10	3	1

一連(同一日)のサービスに対して提供通番に同一番号を設定する。算定時間、移動時間は最終行にまとめて設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、日付昇順、開始時間昇順に並べた場合の最終行とする。

### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	10	3

算定時間の通算時間を1時間単位に区分し時間帯を設定する。移動の欄に移動加算の算定時間を設定する。サービス提供回数には、12時間目までの行なので‘1’を設定する。

No	実際のサービス提供時間															
3	【移動 4 時間以上】		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	重度訪問 4:00～7:30 9:00～12:00 14:00～17:30															
	重度訪問 4:00～7:30 9:00～12:00 14:00～17:30		重度訪問 移動		重度訪問 移動		重度訪問 移動									

### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		4:00～7:30			1
1	1		9:00～12:00			1
1	1		14:00～17:30	10	10	1

一連(同一日)のサービスに対して提供通番に同一番号を設定する。算定時間、移動時間は最終行にまとめて設定する。様式3-1において、移動の時間数は実際の時間数を設定する。

### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	10	4

移動時間はサービス提供時間ではなく算定時間を設定する。移動所要時間 3 時間以上の場合は4を設定する。サービス提供回数には、12 時間目までの行なので ‘1’ を設定する。

No	実際のサービス提供時間															
4	【二人派遣同一時間】															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	重度訪問(1人目) 4:00～7:30 9:00～12:00 14:00～17:30															
	重度訪問(2人目) 4:00～7:30 9:00～12:00 14:00～17:30															

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		4:00～7:30			2
1	1		9:00～12:00			2
1	1		14:00～17:30	10		2
			合計	20		

2人派遣でヘルパー時間が同一の場合、1行に設定し、派遣人数を2とする。算定時間数、移動時間数は1人分を設定する。算定時間数の合計は2人分の20時間を設定する。

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	10	
2	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	10	

2人派遣は行を分けて設定する(提供通番は別番号となる)。

サービス提供回数には、12時間目までの行なので ヘルパーごとに‘1’を設定する。

No	実際のサービス提供時間										
5	【二人派遣時間ずれ】		4	5	6	7	8	9	10	11	12
	重度訪問(1人目) 4:00～9:00		重度訪問 (1人目)		移動		重度訪問 (2人目)				
重度訪問(2人目) 6:00～12:00											
移動介護 5:00～8:00											

### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1	1	4:00～12:00	8	3	1
2	1	2	6:00～9:00	3		1

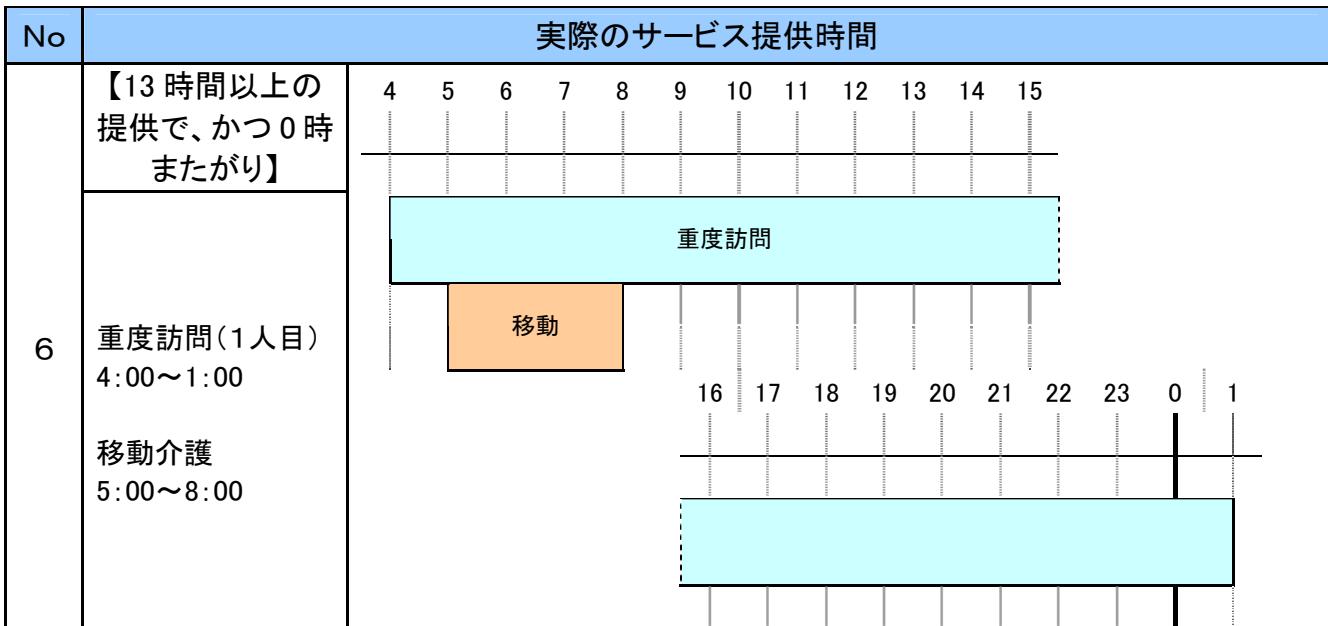
2人派遣でヘルパー時間がずれた場合、2行に分けてデータを作成する(提供通番は別番号となる)。1行目は通算時間を設定する。2行目はヘルパーが重複している時間を設定する。派遣人数は行ごとに1を設定する。

移動介護の通算時間は一人目の行に設定する。

### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	8	3
2	1	1	早朝	早朝	日中						3	

2人派遣は行を分けてデータを作成する(提供通番は別番号となる)。様式3-1で整理したサービス提供の開始時間、終了時間、算定時間数に基づき1時間単位の時間帯を設定する。サービス提供回数には、12時間目までの行なのでヘルパーごとに‘1’を設定する。



#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		4:00～0:00	20	3	1
2	2		0:00～1:00	1		1

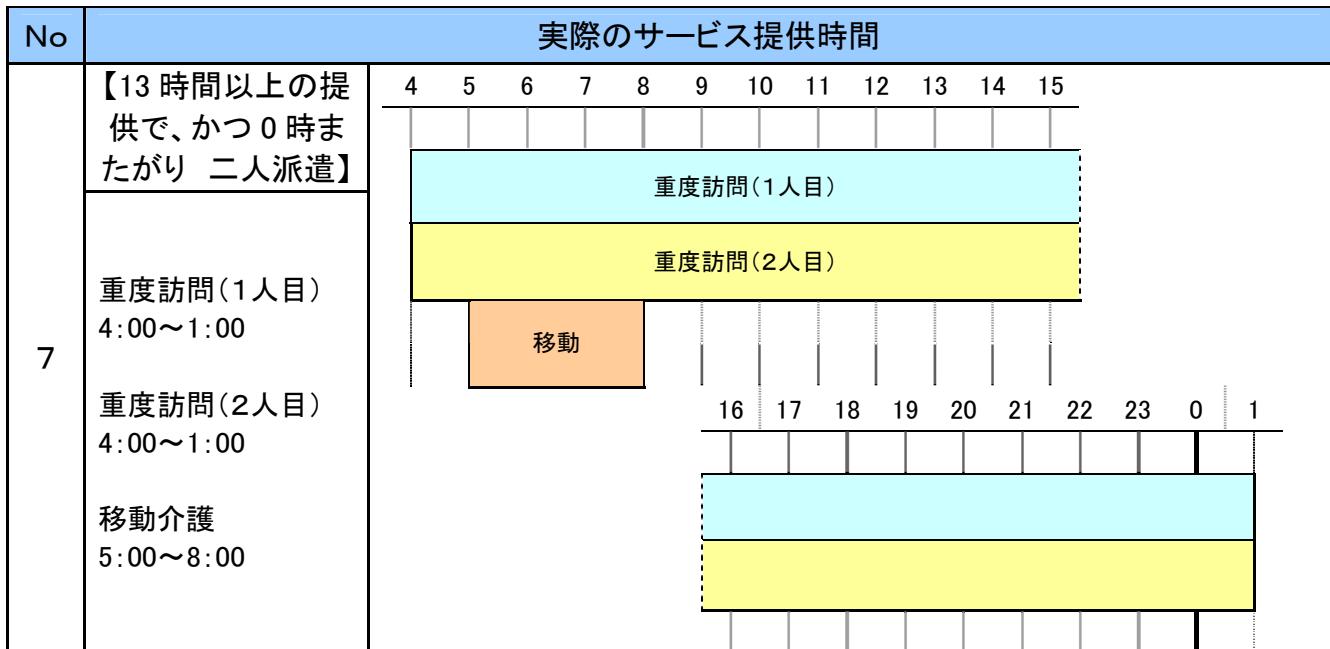
0時をまたがるサービスは2行に分けてレコードを作成する。  
提供通番ごとに算定時間、移動時間を設定する。

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	12	
1	1	2	日中	日中	夜間	夜間	夜間	夜間	深夜	深夜					8	3
2	2	1	深夜												1	

サービス提供回数は、12 時間目までの行に‘1’、13 時間目以降の行に‘2’を設定する。また、0 時をまたがるサービス提供を行った場合は、行を分けて(0 時で区切って)データを作成する。移動の時間数は一連のサービスの最終行に設定する。最終行とは、同一提供通番の中で提供回数昇順に並べた場合の最終行とする。

※同一の事業者が、1日に複数回の重度訪問介護を行う場合には、1日分の所要時間を通算して算定する。この場合の1日とは、0時から24時までを指すものであり、翌日の0時以降のサービス提供分については、所要時間1時間から改めて通算して算定する。このため、重度訪問介護のサービス提供実績記録票においては、前日分と翌日分を分けて設定する必要がある。



実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		4:00～0:00	20	3	2
2	2		0:00～1:00	1		2

0時をまたがるサービスは2行に分けて(0時で区切って)レコードを作成する。

提供通番ごとに算定時間、移動時間を設定する。

派遣人数は2となる。

実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	12	
1	1	2	日中	日中	夜間	夜間	夜間	夜間	深夜	深夜					8	3
2	1	1	深夜	深夜	早朝	早朝	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	日中	12	
2	1	2	日中	日中	夜間	夜間	夜間	夜間	深夜	深夜					8	
3	2	1	深夜												1	
4	2	1	深夜												1	

サービス提供回数は、12時間目までの行に‘1’、13時間目以降の行に‘2’をヘルパー単位に設定する。

また、0時をまたがるサービス提供を行った場合は、行を分けて(0時で区切って)データを作成する。

移動の時間数は一連のサービスの最終行に設定する。最終行とは、同一提供通番の中で、提供回数昇順に並べた場合の最終行とする。

No	実際のサービス提供時間						
	【最小単位(1時間)で0時またがり】						
8	重度訪問 21:45～2:45						

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		21:45～00:45	3		1
2	2		00:45～2:45	2		1

最小単位(1時間)で日をまたがった場合、またがった時間分は開始時間が属する日の分として設定する(23:45～00:45は前日分として設定することになる)。

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	小計	移動
1	1	1	深夜	深夜	深夜					3	
2	2	1	深夜	深夜						2	

0時をまたがるサービス提供を行った場合は、行を分けてデータを作成する。  
 サービス提供回数には、12時間目までの行なのでヘルパーごとに‘1’を設定する。

No	実際のサービス提供時間									
	【0時またがり複数サービス】									
9	<b>重度訪問</b> 21:00～00:30 01:30～05:00									

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		21:00～00:00	3		1
2	2		00:00～00:30			1
2	2		01:30～05:00	4		1

0時をまたがるサービスは行を分けて(0時で区切って)レコードを作成する。  
 2日目の提供分は通算して算定される為、提供通番は同一番号を設定する。

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	小計	移動
1	1	1	夜間	深夜	深夜					3	
2	2	1	深夜	深夜	深夜	深夜				4	

0時をまたがるサービス提供を行った場合は、行を分けてデータを作成する。  
 サービス提供回数には、12時間目までの行なので ヘルパーごとに‘1’を設定する。  
 2日目の提供分は通算して算定される。

No	実際のサービス提供時間		
	【0時まだがり サービス終了】		
10	重度訪問 23:00～00:30 (当初は 23:00～翌日 2:00までのサービスを計画していたが、急遽、入院等によりサービスを終了した場合を想定。)	23 0 1	重度訪問

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-1)

提供通番	日	サービス提供回数	提供時間	算定時間	移動	派遣人数
1	1		23:00～00:00	1		1

00:00～00:30は「概ね40分以上」に該当しないため、算定不可。実績記録票にも設定しない。

#### 実績記録票インターフェース設定(様式3-2)

提供通番	日	サービス提供回数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	小計	移動
1	1	1	深夜							1	

00:00～00:30は「概ね40分以上」に該当しないため、算定不可。  
実績記録票にも設定しない。

④行動援護

No	実際のサービス提供時間					
1	【通常】 行動 10:00～12:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
				行動		
実績記録票インターフェース設定						
提供通番	日	サービス提供回数	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	21		10:00～12:00	2	1
基本的に居宅介護の設定方法と同様である。						

No	実際のサービス提供時間					
2	【減算あり】 行動(減算) 10:00～12:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
				行動(減算)		
実績記録票インターフェース設定						
提供通番	日	サービス提供回数	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	22		10:00～12:00	2	1
ヘルパーの要件が未達の場合、資格には'22'「減算」を設定する。						

No	実際のサービス提供時間																						
3	【5 時間以上のサービス提供】	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00																
	行動 9:30～15:30																						
行動																							
実績記録票インターフェース設定																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>提供 通番</th><th>日</th><th>サービス 提供回数</th><th>資格</th><th>提供時間</th><th>算定 時間</th><th>派遣 人数</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>1</td><td>21</td><td></td><td>9:30～15:30</td><td>5</td><td>1</td><td></td></tr> </tbody> </table>								提供 通番	日	サービス 提供回数	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数		1	1	21		9:30～15:30	5	1	
提供 通番	日	サービス 提供回数	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数																	
1	1	21		9:30～15:30	5	1																	
所要時間 4 時間 30 分以上の場合、算定時間には5を設定する。																							

No	実際のサービス提供時間																														
4	【二人派遣 同一時間】			10:00	11:00	12:00																									
	行動 10:00～11:00 (1人目)				行動(一人目)																										
行動 10:00～11:00 (2人目)				行動(二人目)																											
実績記録票インターフェース設定																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>提供 通番</th><th>日</th><th>サービス 提供回数</th><th>資格</th><th>提供時間</th><th>算定 時間</th><th>派遣 人数</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>1</td><td>21</td><td></td><td>10:00～11:00</td><td>1</td><td>2</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">合計</td><td colspan="4" rowspan="2" style="text-align: right;">2</td></tr> </tbody> </table>								提供 通番	日	サービス 提供回数	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数		1	1	21		10:00～11:00	1	2		合計				2			
提供 通番	日	サービス 提供回数	資格	提供時間	算定 時間	派遣 人数																									
1	1	21		10:00～11:00	1	2																									
合計				2																											
2人派遣でヘルパーの派遣時間が同一の場合、算定時間数は1時間とし、派遣人数を2と設定する。 算定時間の合計欄は2時間となる。																															

No	実際のサービス提供時間						
5	【二人派遣 時間ずれ】		10:00	11:00	12:00	13:00	
	行動 10:00～12:00 (1人目)						行動(一人目)
行動 11:00～13:00 (2人目)						行動(二人目)	

#### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	1	21	10:00～13:00	3	1
2	1	2	21	11:00～12:00	1	1

2人派遣で時間がずれた場合、2行に分けて設定する(提供通番が別番号となる)。1行目は全体の通算時間を設定する。2行目はヘルパーが重複している時間帯を設定する。派遣人数は行ごとに1と設定する。

No	実際のサービス提供時間						
6	【二人派遣 従業者要件違い】		10:00	11:00	12:00	13:00	
	行動 10:00～12:00 (1人目)						行動(一人目)
行動(減算) 11:00～13:00 (2人目)						行動(減算)(二人目)	

#### 実績記録票インターフェース設定

提供通番	日	サービス提供回数	資格	提供時間	算定時間	派遣人数
1	1	1	21	10:00～12:00	2	1
2	1	2	22	11:00～13:00	2	1

2人派遣で1人目と2人目の従業者要件が異なる場合は、それぞれ行を分けて設定する(提供通番が別番号となる)。

⑤重度包括

No	実績記録票 紙様式記載										
	日曜日	サービス種別	サービス利用実績			実績単位数					
			開始時間	終了時間	実績時間数	適用単価	基本単位数	加算	加算後単位数	派遣人数	単位数
1	1 日	重度訪問介護	11:00	17:00	6	700	1050		1050	1	1050
	2 月	重度訪問介護	7:00	8:00	1	700	175	早朝	219	1	219
	2 月	重度訪問介護	8:00	10:00	2	700	350		350	1	350
	2 月	生活介護	10:00	16:00	6	700	1050		1050		1050
	2 月	重度訪問介護	16:00	18:00	2	700	350		350	1	350
	2 月	重度訪問介護	18:00	19:00	1	700	175	夜間	219	1	219
	2 月	重度訪問介護	19:00	20:00	1	682	171	夜間	214	1	214
	3 火	短期入所			1	890	890		890		890
	4 水	短期入所			1	890	890		890		890
	5 木	重度訪問介護	7:00	8:00	1	700	175	早朝	219	1	219
	5 木	重度訪問介護	8:00	10:00	2	700	350		350	1	350
	5 木	生活介護	10:00	16:00	6	700	1050		1050		1050
	5 木	重度訪問介護	16:00	18:00	2	700	350		350	1	350
	5 木	重度訪問介護	18:00	19:00	1	700	175	夜間	219	1	219
	5 木	重度訪問介護	19:00	20:00	1	682	171	夜間	214	1	214
	6 金	短期入所			1	890	890		890		890
	7 土	短期入所			1	890	890	早朝	890		890

実績記録票インターフェース設定

日	サービス種別	サービス利用実績			実績単位数					
		開始時間	終了時間	実績時間数	適用単価	基本単位数	加算	加算後単位数	派遣人数	単位数
1	121000	11:00	17:00	6	700	1050		1050	1	1050
2	121000	7:00	8:00	1	700	175	1	219	1	219
2	121000	8:00	10:00	2	700	350		350	1	350
2	221000	10:00	16:00	6	700	1050		1050		1050
2	121000	16:00	18:00	2	700	350		350	1	350
2	121000	18:00	19:00	1	700	175	3	219	1	219
2	121000	19:00	20:00	1	682	171	3	214	1	214
3	241000			1	890	890		890		890
4	241000			1	890	890		890		890
5	121000	7:00	8:00	1	700	175	1	219	1	219
5	121000	8:00	10:00	2	700	350		350	1	350
5	221000	10:00	16:00	6	700	1050		1050		1050
5	121000	16:00	18:00	2	700	350		350	1	350
5	121000	18:00	19:00	1	700	175	3	219	1	219
5	121000	19:00	20:00	1	682	171	3	214	1	214
6	241000			1	890	890		890		890
7	241000			1	890	890	1	890		890

入所、短期入所では時間の設定は不要。  
基本単位数には適用単価 × 実績時間数 ÷ 4 が設定される。  
派遣人数は訪問系サービスのみ設定が必要。  
単位数には加算後単位数 × 派遣人数を設定。

サービス種別は決定コードに保持する。サービス種別と決定コードの対応は次の通り

サービス種類	
12	重度訪問介護
13	行動援護
22	生活介護
23	児童デイ
24	短期入所
31	共同生活介護
34	宿泊型自立訓練
41	自立訓練(機能訓練)
42	自立訓練(生活訓練)
43	就労移行支援
44	就労移行支援(養成施設)
45	就労継続支援A型
46	就労継続支援B型
82	旧身体通所更生
84	旧身体通所療護
86	旧身体通所授産
92	旧知的通所更生
94	旧知的通所授産

決定コード	備考
121000	※1
131000	
221000	
231000	
241000	
311000	
341000	
411000	
421000	
431000	
441000	
451000	
461000	
820000	
840000	
860000	
920000	
940000	

※1 居宅介護を提供した場合は「重度訪問介護」(121000)を設定する。

⑥短期入所

No	実績記録票 紙様式記載					
1 短期入所 2日～5日 9日	開始日		終了日		算定日数	食事提供加算
	日付	曜日	日付	曜日		
	2	月	5	木	4	4
	9	月			1	1
合計				5	5	
実績記録票インターフェース設定						
日	算定日数	食事加算				
2	1	1				
3	1	1				
4	1	1				
5	1	1				
9	1	1				
合計	5	5				
サービス提供を行った日付を全て設定する。 算定日数、食事提供加算についても、日ごとに設定する。						

⑦日中活動系

No	実績記録票 紙様式記載										
1 児童デイ 2日～6日 15日～16日 25日～26日	【家庭連携加算、訪問支援加算】										
		日	提供時間		送迎		家庭連携加算		訪問支援特別加算		
					往	復	提供時間	算定時間	提供時間	算定時間	
		2	09:00～11:00		1	1					
		3	13:00～14:00				1				
		4	13:00～16:00				3				
		5	13:00～14:00				1				
		6	09:00～11:00		1	1					
		15	13:00～15:00						2		
		16	13:00～14:00						1		
		25	13:00～16:00						3		
		26	13:00～14:00						1		
		合計			3	4					

実績記録票インターフェース設定

日	提供時間	送迎		家庭連携加算		訪問支援特別加算	
		往	復	提供時間	算定時間	提供時間	算定時間
2	09:00～11:00	1	1				
3	13:00～14:00			1	1		
4	13:00～16:00			3	2		
5	13:00～14:00			1			
6	09:00～11:00	1	1				
15	13:00～15:00					2	2
16	13:00～14:00					1	
25	13:00～16:00					3	2
26	13:00～14:00					1	
合計		4	3	2	4	2	

家庭連携加算、訪問支援特別加算は、実提供時間に加え、算定する時間数も設定する。  
1時間までは、算定時間に1を設定し、2時間を超える場合は算定時間に2を設定する。  
同様に合計回数にも実提供回数に加え、算定する回数を設定する。

⑧居住系

No	実績記録票 紙様式記載							
共同生活介護 5日～入居の 場合	1	日	入院時支援特別加算		帰宅時支援加算		日中介護等支援加算	
		提供回数	算定回数	提供回数	算定回数	提供回数	算定回数	
		1						
		2						
		3						
		4						
		5						
		6	1					
		7	1					
		8	1					
		9	1					
		10						
		11						
		12						
		13		1				
		14		1				
		15			1			
		16						
		17						
		18				1		
		19				1		
		20				1		
		21				1		
		22				1		
		23						
		24						
		25						
		26						
		27						
		28						
		29						
		30						
		31						
合計		4		3		5		

## 実績記録票インターフェース設定

日	入院時支援特別加算		帰宅時支援加算		日中介護等支援加算	
	提供回数	算定回数	提供回数	算定回数	提供回数	算定回数
5						
6	1	1				
7	1					
8	1					
9	1					
10						
11						
12						
13		1	1			
14		1				
15		1				
16						
17						
18					1	
19					1	
20					1	1
21					1	1
22					1	1
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計	4	1	3	1	5	3

5日入所開始なので、5日～31日までのサービス提供を受けた日数分データを設定する。

**■入院時支援特別加算**

**①提供回数**

報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合、データを設定する。

**②算定回数**

報酬上算定できる回数を設定する。

**■帰宅時支援加算**

**①提供回数**

報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合、データを設定する。

**②算定回数**

報酬上算定できる回数を設定する。

**■日中介護支援加算**

**①提供回数**

報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合、データを設定する。

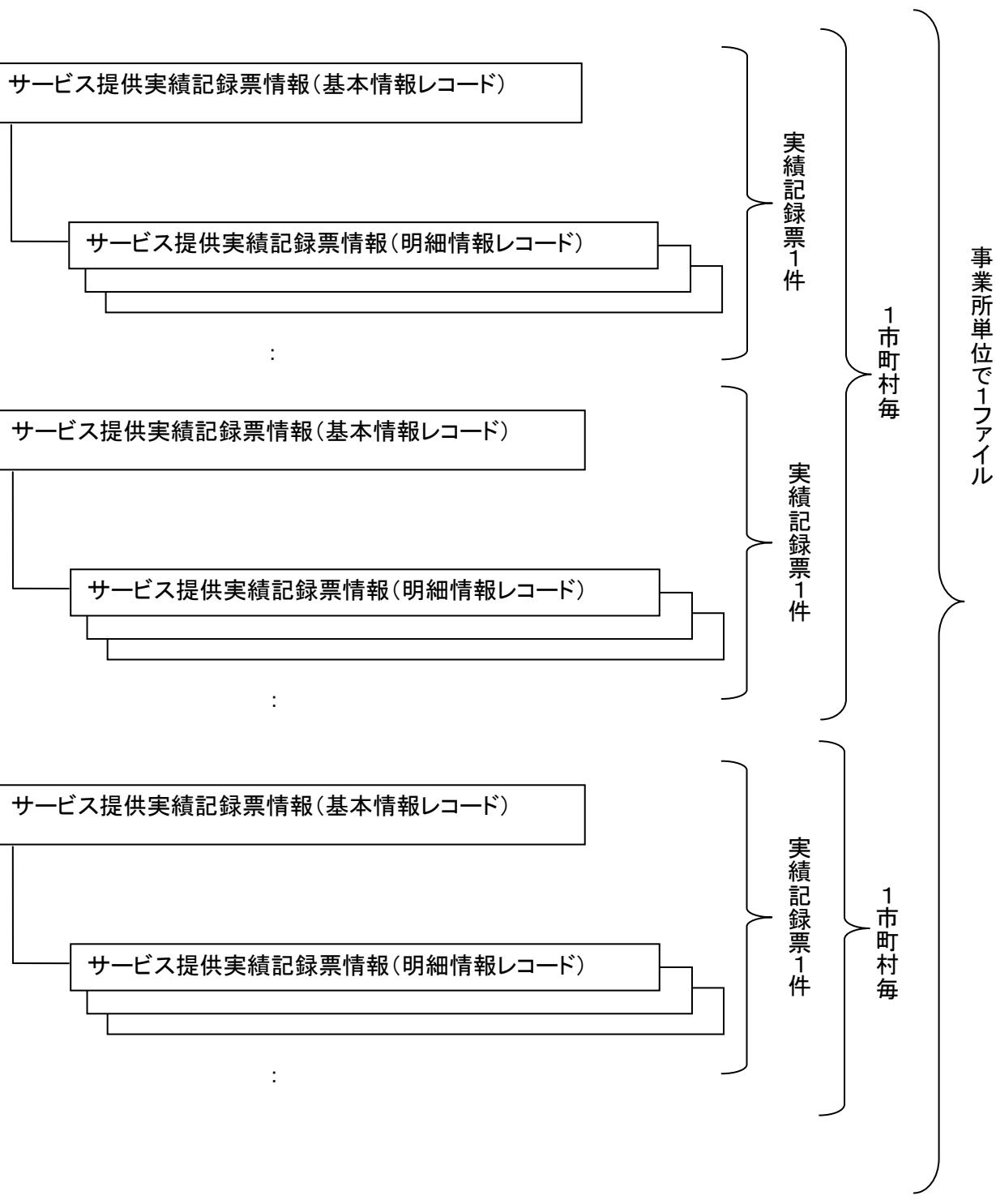
**②算定回数**

報酬上算定できる日に対して回数を設定する。

No	実績記録票 紙様式記載																																																																																																			
	<p>平成19年11月 (様式9)</p> <table border="1"> <tr> <td>受給者証番号</td><td>1111111111</td><td>障害者名</td><td>受給太郎</td><td>事業所番号</td><td>1234567890</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>補足給付適用の有無</td><td></td><td>補足給付額</td><td></td><td>事業所名</td><td>東京事業所</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th><th>サービス提供の状況</th><th>外泊時加算</th><th>入院時加算</th><th>朝食</th><th>昼食</th><th>夕食</th><th>光熱水費</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td align="center" colspan="2">合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td align="center" colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td align="center" colspan="2">実費合計額</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>地域移行加算</td><td>入所中算定日</td><td></td><td>退所日</td><td>H19年10月28日</td><td>退所後算定日</td><td>H19年11月20日</td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 退所月と算定月が異なる</p>	受給者証番号	1111111111	障害者名	受給太郎	事業所番号	1234567890				補足給付適用の有無		補足給付額		事業所名	東京事業所				日	サービス提供の状況	外泊時加算	入院時加算	朝食	昼食	夕食	光熱水費																																	合計																実費合計額								地域移行加算	入所中算定日		退所日	H19年10月28日	退所後算定日	H19年11月20日										
受給者証番号	1111111111	障害者名	受給太郎	事業所番号	1234567890																																																																																															
補足給付適用の有無		補足給付額		事業所名	東京事業所																																																																																															
日	サービス提供の状況	外泊時加算	入院時加算	朝食	昼食	夕食	光熱水費																																																																																													
合計																																																																																																				
実費合計額																																																																																																				
地域移行加算	入所中算定日		退所日	H19年10月28日	退所後算定日	H19年11月20日																																																																																														
2	退所後に退所後支援加算、地域移行加算を算定する場合で、退所月と退所後における加算の算定月が異なる場合																																																																																																			
<b>実績記録票インターフェース設定</b>																																																																																																				
<p>平成19年11月 (様式9)</p> <table border="1"> <tr> <td>受給者証番号</td><td>1111111111</td><td>事業所番号</td><td>1234567890</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>明細情報レコードは設定しない</p> <table border="1"> <tr> <td>地域移行加算</td><td></td><td>退所日</td><td>H19年10月28日</td><td>退所後算定日</td><td>H19年11月20日</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>基本情報レコードの必須項目(項番1～項番7)と、退所時特別支援加算の「退所日」、「退所後算定日」もしくは、地域移行加算の「退所日」、「退所後算定日」のみ設定が必要。 明細情報レコードは設定しない。</p>									受給者証番号	1111111111	事業所番号	1234567890						地域移行加算		退所日	H19年10月28日	退所後算定日	H19年11月20日																																																																													
受給者証番号	1111111111	事業所番号	1234567890																																																																																																	
地域移行加算		退所日	H19年10月28日	退所後算定日	H19年11月20日																																																																																															

## サービス提供実績記録票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 1.2.3.7. 障害福祉サービス費等支払決定増減表情報

#### (1) 障害福祉サービス費等支払決定増減表情報

障害福祉サービス費等支払決定増減表情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : ヘッダレコード

支払決定増減表の基本情報等を格納する。

2 : 明細レコード(複数レコード)

返戻件数、返戻単位数などを格納する。

3 : 合計レコード

返戻件数、返戻単位数などの合計情報を格納する。

#### (2) ヘッダレコード

項目番	項目名	属性	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	01を出力する(ヘッダレコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6	作成年月日	数字	8	処理年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
7	頁	数字	5	頁数を出力する	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(3) 明細レコード(複数レコード)

項目番	項目名	属性	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	02を出力する(明細レコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	市町村番号	英数	6	証記載市町村番号を出力する	※C
6	市町村名	漢字	40	市町村名を全角文字で出力する	
7	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
8	請求差件数	数字	8	請求差件数を出力する	
9	請求差単位数	数字	12	請求差単位数を出力する	
10	返戻件数	数字	7	返戻件数を出力する	
11	返戻単位数	数字	11	返戻単位数を出力する	

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(4) 合計レコード

項目番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	03を出力する(合計レコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	請求差件数合計	数字	8	請求差件数合計を出力する	
6	請求差単位数合計	数字	12	請求差単位数合計を出力する	
7	返戻件数合計	数字	7	返戻件数合計を出力する	
8	返戻単位数合計	数字	11	返戻単位数合計を出力する	

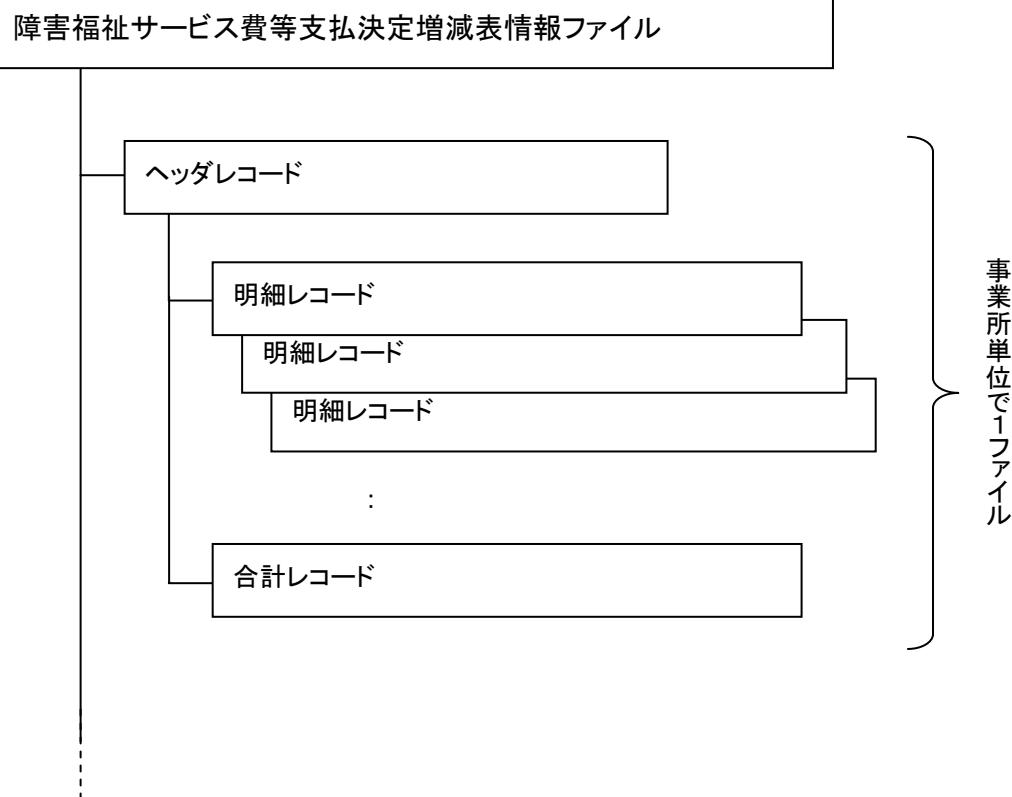
※B:「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

## 障害福祉サービス費等支払決定増減表情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(5) 障害福祉サービス費等支払決定増減表(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 1.2.3.8. 返戻等一覧表情報

#### (1) 返戻等一覧表情報

返戻等一覧表情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1 : ヘッダレコード

返戻等一覧表の基本情報等を格納する。

##### 2 : 明細レコード(複数レコード)

サービス種類ごとの返戻事由などを格納する。

#### (2) ヘッダレコード

項目名	属性	バイト数	内容	備考
1 交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2 帳票レコード種別	英数	2	01を出力する(ヘッダレコード)	
3 受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4 事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5 事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6 作成年月日	数字	8	処理年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
7 頁	数字	5	頁数を出力する	
8 国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	
9 データ種別名	漢字	18	データ種別名を出力する	※1

※1:「障害福祉サービス費」を出力する。

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(3) 明細レコード(複数レコード)

項目番	項目名	属性	バイト数	内容	出力対象項目(※1)					備考	
					種別						
					サ	請	明	利	計		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	◎	◎	※B	
2	帳票レコード種別	英数	2	O2を出力する(明細レコード)	◎	◎	◎	◎	◎		
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	◎	◎	◎	◎	◎	※Y	
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	◎	◎	◎	◎	◎	※C	
5	証記載市町村番号	英数	6	証記載市町村番号を出力する	◎	◎	◎	◎	◎	※C	
6	市町村名	漢字	40	市町村名を全角文字で出力する	◎	◎	◎	◎	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	◎		◎	◎	◎	※C	
8	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを出力する	◎		◎	◎	◎		
9	種別	漢字	2	種別を出力する	◎	◎	◎	◎	◎	※1	
10	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	◎	◎	◎	◎	◎	※Y	
11	サービス種類	英数	2	サービス種類コードを出力する	◎		◎		◎	※C	
12	単位数	数字	10	単位数を出力する			◎		◎		
13	返戻事由コード	英数	4	返戻事由コードを出力する	◎	◎	◎	◎	◎		
14	返戻事由内容	漢字	60	返戻事由の内容を出力する	◎	◎	◎	◎	◎		

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、空白:出力対象外項目

なお、種別により出力対象項目が異なる。凡例は以下の通り。

「サ」…サービス提供実績記録票、 「請」…請求書、「明」…明細書、

「利」…利用者負担上限額管理結果票、「計」…サービス利用計画作成費

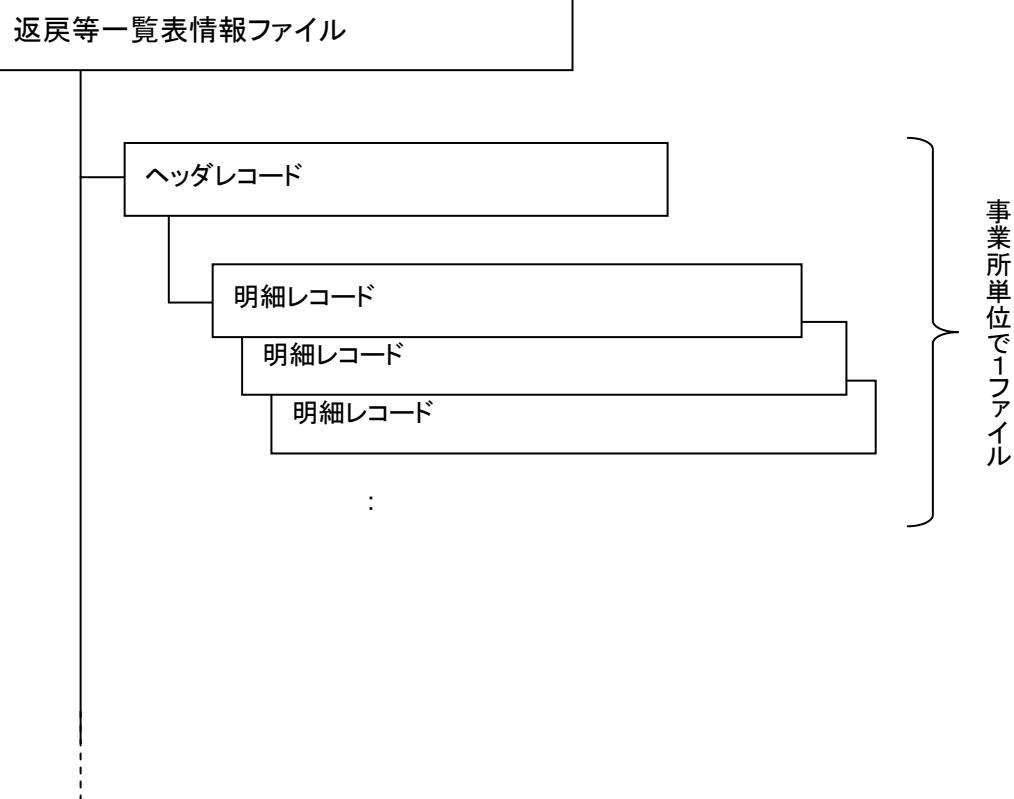
※B:「インターフェース仕様書 事業所編 1.2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

## 返戻等一覧表情報 ファイル構成図

### レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### (4) 返戻等一覧表(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 1.2.3.9. 支払通知情報

(1) 障害福祉サービス費等支払決定額通知書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 障害福祉サービス費等支払決定額内訳書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(3) 事業所別障害福祉サービス費等支払明細書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(4) 障害福祉サービス費等支払過誤決定通知書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(5) 訪問調査委託料支払明細一覧表(帳票)

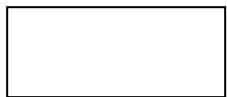
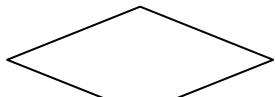
帳票出力情報であるため、項目を記載していません

## 2. 障害児施設給付

### 2.1. インタフェース仕様

#### 2.1.1. 受け渡し概要図

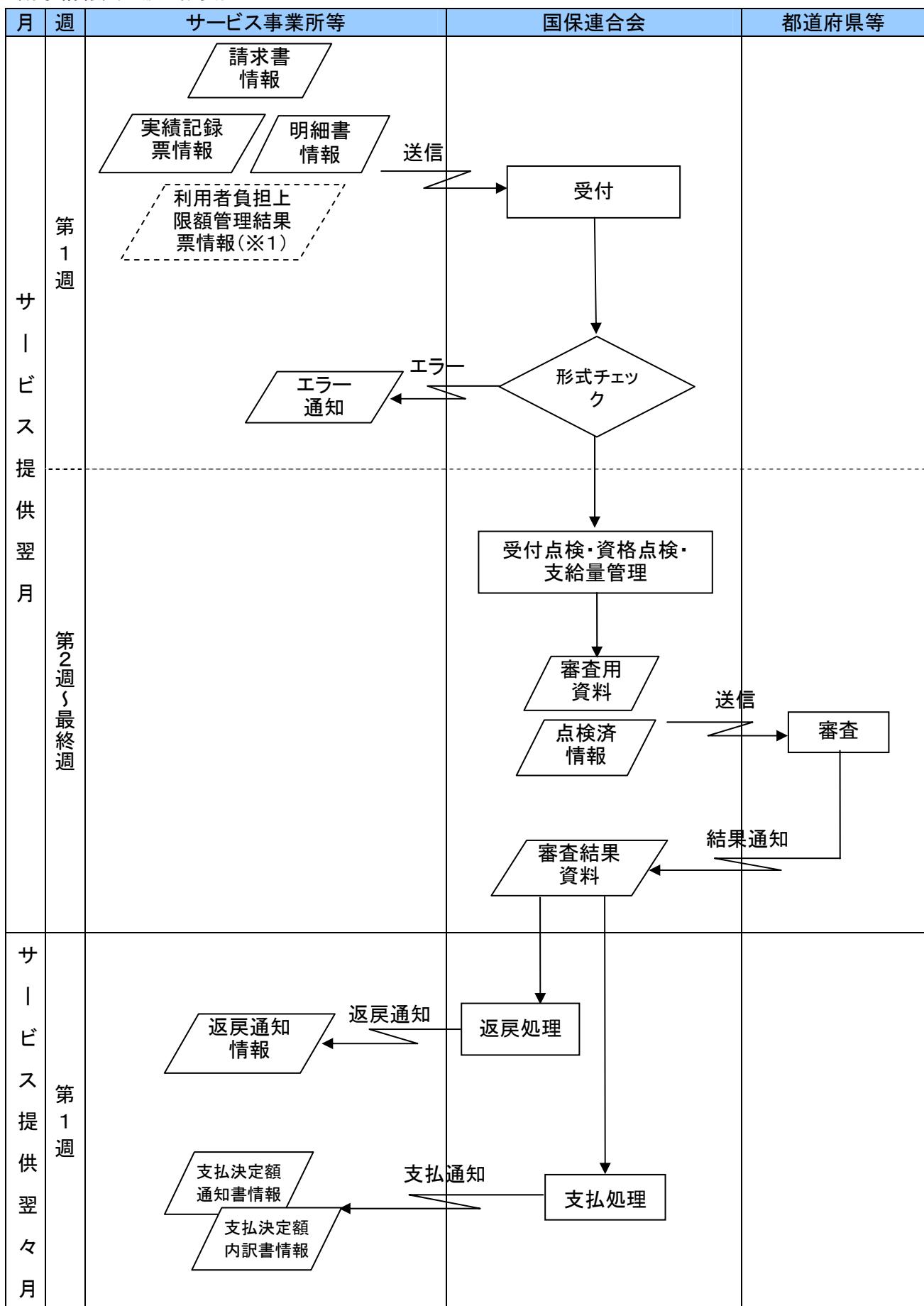
受け渡し概要図の中で用いている図の意味は、次の通り。

表示図	内容
	処理
	手作業
	データベース
	データ
	判断
	当該システムから出力された帳票
	他のシステムから出力された帳票及び添付書類等
	参照

#### 2.1.1.1. 請求情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会	都道府県等
<p>1. サービス事業所等は、支給決定者に対してサービスを行った場合、国保連合会に請求書情報、明細書情報、実績記録票情報を送信する。</p> <p>利用者負担上限額管理を行った場合は、利用者負担上限額管理結果票情報(※1)も送信する。</p> <p>3. サービス事業所等は、形式チェックでエラーとなった情報の確認を行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p> <p>7. 国保連合会から返戻通知情報を受け取る。</p> <p>9. 国保連合会から支払決定額通知書情報等を受け取る。</p>	<p>2. 国保連合会は、サービス事業所等より送信された請求書情報等に対して形式チェックを行う。形式チェックの結果、エラーを発見した場合、サービス事業所等へエラーを通知する。</p> <p>なお、データエラーは、送信された請求書情報等の記載内容の誤りではないため、返戻として扱われない。</p> <p>4. 国保連合会は受付点検・資格点検・支給量点検を行い、都道府県等審査用資料および、点検済情報を作成し、都道府県等へ送信する。</p> <p>6. 都道府県等の審査結果資料により、返戻が発生した場合、サービス事業所等へ返戻通知情報を送付する。</p> <p>8. 都道府県等の審査結果資料に基づきサービス事業所等へ支払決定額通知書情報等を送付する。</p>	<p>5. 都道府県等は審査を行い、審査結果を国保連合会に送信する。</p>
<b>備考</b>		
※ 1)利用者負担上限額管理を行った場合のみ、上限額管理事業所から送信する。		

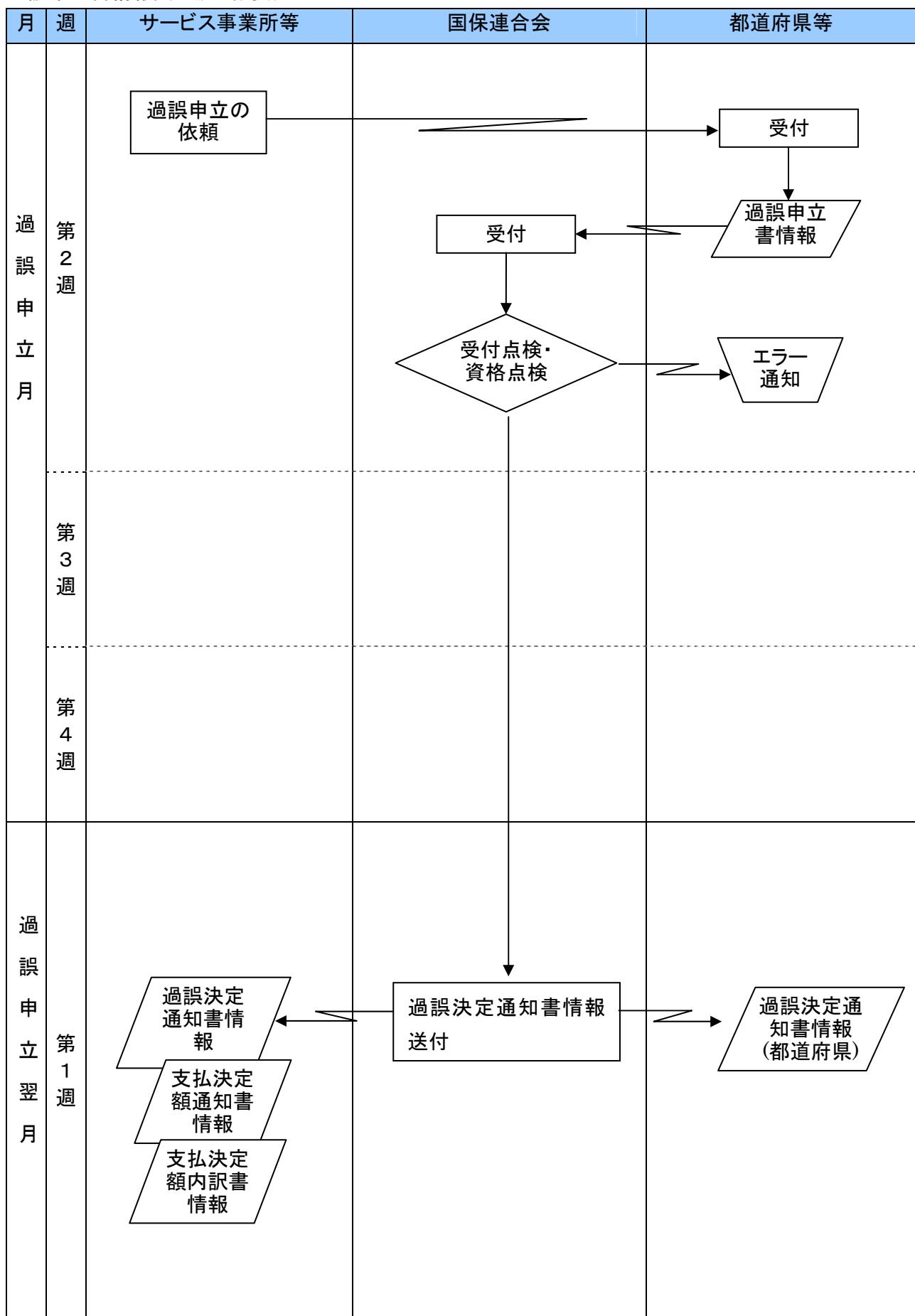
請求情報受け渡し概要図



#### 2.1.1.2. 過誤情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会	都道府県等
<p>1. サービス事業所等は、一度審査決定した請求に対して取り下げを行う場合、都道府県等と調整し過誤申し立を依頼する。</p>	<p>3. 国保連合会は、受け付けた過誤申立書情報の受付点検・資格点検・支給量管理を実施し、エラーを発見した場合、都道府県等へエラーを通知する。</p> <p>5. 過誤申立書情報の点検結果に基づき都道府県等および、サービス事業所等へ過誤決定通知書情報を送付する。</p>	<p>2. 都道府県等は過誤申立書情報を国保連合会に提出する。</p> <p>4. 都道府県等は、受付点検でエラーとなった情報の確認を行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p>
備考		

過誤申立書情報受け渡し概要図



## 2.1.2. インタフェース一覧

### 2.1.2.1. 障害児施設給付費請求書・明細書情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	K111	障害児施設給付費請求書情報	障害児施設等から障害児施設給付費の請求を行う際に提出する障害児施設単位の集計情報。	障害児施設 → 国保連合会	月次	伝送
(2)	K121	障害児施設給付費明細書情報	障害児施設等から障害児施設給付費の請求を行う際に提出する障害児施設単位の集計情報。	障害児施設 → 国保連合会	月次	伝送

### 2.1.2.2. 利用者負担上限額管理結果票情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	K411	利用者負担上限額管理結果票情報	上限額管理者が作成する利用者負担上限額管理結果票の集計情報（上限額管理を行った場合に上限額管理者が送信する）。	障害児施設 → 国保連合会	月次	伝送

### 2.1.2.3. 利用者負担額一覧表情報（サービス事業所等間の受け渡し情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	K511	利用者負担額一覧表情報	障害児施設等の間で上限額管理対象者の利用者負担額を受け渡すための情報	障害児施設 → 上限額管理者	月次	FD 等

### 2.1.2.4. サービス提供実績記録票情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	K611	サービス提供実績記録票情報	障害児施設等から障害児施設給付費の請求を行う際に提出する、サービス提供実績記録票の情報	障害児施設 → 国保連合会	月次	伝送

#### 2.1.2.5. 増減単位数返戻通知情報（出力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	K711	障害児施設給付費等支払決定増減表情報	都道府県等ごとの請求差、返戻の状況を障害児施設等へ通知するためのリスト ※障害児施設等からの依頼があった場合のみ提供	国保連合会 → 障害児施設	月次	伝送
(2)	K721	返戻等一覧表情報	返戻となる情報を確認するためのリスト ※障害児施設等からの依頼があった場合のみ提供	国保連合会 → 障害児施設	月次	伝送
(3)	K7A1	障害児施設給付費等支払決定増減表	都道府県等ごとの請求差、返戻の状況を障害児施設等へ通知するためのリスト	国保連合会 → 障害児施設	月次	PDF
(4)	K7B1	返戻等一覧表	返戻となる情報を確認するためのリスト	国保連合会 → 障害児施設	月次	PDF

#### 2.1.2.6. 支払通知情報（出力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	K8A1	障害児施設給付費等支払決定額通知書	障害児施設等への支払決定額を通知するためのリスト	国保連合会 → 障害児施設	月次	PDF
(2)	K8B1	障害児施設給付費等支払決定額内訳書	障害児施設等へ支払決定額の内訳を通知するためのリスト	国保連合会 → 障害児施設	月次	PDF
(3)	K8C1	事業所別障害児施設給付費等支払明細書	障害児施設等へ支払決定額の明細を通知するためのリスト	国保連合会 → 障害児施設	月次	PDF
(4)	K8D1	障害児施設給付費等支払過誤決定通知書	障害児施設等へ過誤申立の決定額を通知するためのリスト	国保連合会 → 障害児施設	月次	PDF

### 2.1.3. 項目説明

本節では、“情報”として記載されている各帳票ごとのインターフェースについて記載する。

#### 2.1.3.1. 障害児施設給付費 請求書情報

##### (1) 障害児施設給付 請求書情報

障害児施設給付費請求書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

###### 1 : 基本情報レコード

都道府県、受給者、請求サービス事業所および請求金額等に関する情報を格納する。

###### 2 : 明細情報レコード(複数レコード)

サービス種類ごとの請求件数、単位数、利用者負担額、請求額等を格納する。

(2) 障害児施設給付費 請求書 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バト	内容	※必須	備考
					K111	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する。	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックマジット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	請求金額	数字	10	請求金額を設定する。 請求金額=合計 給付費請求額+合計 特別対策費請求額+合計 自治体助成額。	◎	
7	障害児施設給付費 小計	件数	数字	6 小計 件数	◎	
8		単位数	数字	9 小計 単位数	◎	
9		費用合計	数字	10 小計 費用合計	◎	
10		給付費請求額	数字	10 小計 給付費請求額	◎	
11		特別対策費請求額	数字	10 小計 特別対策費請求額	○	
12		利用者負担額	数字	10 小計 利用者負担額	◎	
13		自治体助成額	数字	10 小計 自治体助成額	○	
14	特定入所障害児食 費等給付費 小計	件数	数字	6 小計 件数	○	
15		費用合計	数字	10 小計 費用合計	○	
16		給付費請求額	数字	10 小計 給付費請求額	○	
17	合計	件数	数字	6 合計 件数	◎	
18		単位数	数字	9 合計 単位数	◎	
19		費用合計	数字	10 合計 費用合計	◎	
20		給付費請求額	数字	10 合計 給付費請求額	◎	
21		特別対策費請求額	数字	10 合計 特別対策費請求額	○	
22		利用者負担額	数字	10 合計 利用者負担額	◎	
23		自治体助成額	数字	10 合計 自治体助成額	○	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

### (3) 障害児施設給付費 請求書 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須(給付種別毎)		備考	
					K111			
					給付種別 =1	給付種別 =2		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B	
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	◎	◎		
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y	
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	※C	
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C	
6	給付種別	数字	1	請求書における給付の種別を表す 1:障害児施設給付費の場合 2:特定入所障害児食費等給付費の場合	◎	◎		
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード	◎	◎	※C	
8	件数	数字	6	サービス種類毎の明細書の件数	◎	○		
9	単位数	数字	9	サービス種類毎の単位数	◎			
10	費用合計	数字	10	サービス種類毎の費用の額。	◎ ※1	○		
11	給付費請求額	数字	10	サービス種類毎の給付費請求額	◎	○		
12	特別対策費請求額	数字	10	サービス種類毎の特別対策費請求額	○			
13	利用者負担額	数字	10	サービス種類毎の利用者負担額 自治体助成がある場合、明細書の決定利用 者負担額から自治体助成額を控除した額を 設定する。	◎			
14	自治体助成額	数字	10	サービス種類毎の自治体助成額	○			

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インターフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 明細書における、サービス種類ごとの総費用額(100/100 の額)の合計となる。

※必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

### 2.1.3.2. 障害児施設給付費 明細書情報

#### (1) 障害児施設給付費 明細書情報

障害児施設給付費明細書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

都道府県、受給者および請求サービス事業所等に関する明細書の基本情報を格納する。

2 : 日数情報レコード(複数レコード)

サービス種別ごとの日数情報を格納する。

3 : 明細情報レコード(複数レコード)

実施したサービス単位のサービスコード・請求単位数等を格納する。

4 : 集計情報レコード(複数レコード)

サービス種別ごと集計欄毎の請求単位数、利用者負担額等を格納する。

(2) 障害児施設給付費 明細書 基本情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考	
					K121		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎		
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックデジット1桁含む)	◎	※C	
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
7	助成自治体番号	数字	6	助成自治体がある場合、助成自治体の番号を設定	○	※C	
8	施設給付決定保護者氏名力ナ	英数	25	施設給付決定保護者力ナ氏名	△		
9	施設給付決定に係る障害児氏名力ナ	英数	25	施設給付決定に係る障害児力ナ氏名	△		
10	地域区分コード	数字	2	地域区分コードを設定	◎	※C	
11	就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	数字	1	設定しない。			
12	利用者負担上限月額①	数字	6	利用者負担上限月額を設定	◎		
13	就労継続支援A型減免対象者	数字	1	設定しない。			
14	障害程度区分コード	英数	2	設定しない。			
15	上 限 額 管 理 事 業 所	指定事業所番号	数字	10	上限管理事業所の事業所番号を設定	○	※C
16		管理結果	数字	1	上限額管理結果票の管理結果を設定	○	※1
17		管理結果額	数字	5	上限額管理結果票の管理結果額を設定	○	
18	日 中 介 護 欄 等 支	指定事業所番号	数字	10	設定しない。		
19		当該事業所への通所日数	数字	2	設定しない。		
20	請求 額 集 計 欄 合 計	給付単位数	数字	9	サービス種類コードごとの単位数を設定	◎	
21		総費用額	数字	10	サービスの総費用額を設定	◎	
22		上限月額調整(①②の内少ない数)	数字	6	利用者負担上限月額と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうを設定	◎	
23		A型減免	事業者減免額	数字	6	設定しない。	
24		減免後利用者負担額	数字	6	設定しない。		
25		調整後利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額を設定	○	

項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
				K121	
26 上限額管理後利用者負担額	数字	6	上限額管理後利用者負担額	○	
27 決定利用者負担額	数字	6	算定した結果の利用者負担額を設定する（自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である）。	◎	
28 請求額 紙付費	数字	10	給付費の請求額を設定	◎	
29 高額障害福祉サービス費	数字	10	設定しない。		
30 特別対策費	数字	10	特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	
31 自治体助成分請求額	数字	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定	○	
32 特定入所障害児食事等給付費 算定日額	数字	4	算定する日額を設定	○	
33 日数	数字	2	算定する日数を設定	○	
34 紙付費請求額	数字	5	特定入所障害児食費等給付費の請求額を設定	○	
35 実費算定額	数字	6	利用者が負担する実費の額を設定	○	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

- ※1 “1”：管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない  
 “2”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下そのため、調整事務は行わない。  
 “3”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(3) 障害児施設給付費 明細書 日数情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
					K121	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(日数情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックマット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード2桁を設定	◎	※C
8	サービス開始日等	開始年月日	数字	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設定する)	◎
9		終了年月日	数字	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設定する)	○
10		利用日数	数字	2	サービス種類毎に利用日数を設定。	◎
11		入院日数	数字	2	サービス種類毎に入院日数を設定。	○
12		外泊日数	数字	2	サービス種類毎に外泊日数を設定。	○

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 障害児施設給付費明細書へは、入院又は外泊をした日数の合計を入院日数欄に記載するが、インターフェース上は入院日数、外泊日数を分けて設定する。

※必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

#### (4) 日数情報レコードの設定方法

##### ①開始年月日の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
知的障害児	11	入所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  施設給付決定を受けた障害児が当該施設等に入所した日付を記載する(請求の都度記載)。同一月内に同一の施設の入退所を繰り返した場合、月初日に入所中であれば、当該入所の年月日を記載する。月初日に入所中でなければ、当該月の最初に入所した年月日を記載する。	(1)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成15年4月1日に入所して現在も継続入所している場合 明細書の開始年月日：平成15年4月1日  ②平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所したが、平成19年9月21日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の開始年月日：平成15年4月1日  ③平成19年9月15日に入所した場合 明細書の開始年月日：平成19年9月15日  ④平成19年9月1日に入所し、9月14日に一旦退所したが、9月20日に再度入所した場合 明細書の開始年月日：平成19年9月1日
第一種自閉症児	12		
第二種自閉症児	13		
盲児	31		
ろうあ児	32		
肢体不自由児 (入所)	41		
肢体不自由児療護	43		
医療機関 (肢体不自由児)	45		
重心障害児	51		
医療機関 (重心障害児)	52		
知的障害児通園	21	通所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  施設給付決定保護者に対し、一連とみなされる利用契約の下で最初にサービスを提供した日付を記載する(請求の都度記載)。	(2)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成19年9月1日に契約を開始し、平成19年9月3日～平成19年9月10日にサービス提供を行った場合 明細書の開始年月日：平成19年9月3日  ②平成19年9月1日に契約支給量10日で契約したが、平成19年9月15日から契約支給量15日に変更契約し、平成19年9月3日～平成19年9月10日にサービス提供を行った場合 明細書の開始年月日：平成19年9月3日  (3)平成19年10月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成19年9月1日から契約支給量10日で契約していたが、平成19年9月15日から契約支給量15日に契約変更した場合で、平成19年10月5日～平成19年10月16日にサービス提供を行った場合(※最初のサービス提供は9月3日) 明細書の開始年月日：平成19年9月3日
難聴幼児通園	33		
肢体不自由児 (通所)	42		
肢体不自由児通園	44		

②終了年月日の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
知的障害児	11	入所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  施設給付決定を受けた障害児が月の途中に退所した場合に、退所した日付を記載する。同一月内に同一の施設等の入退所を繰り返した場合、月末日に入所中であれば記載を省略する。月末日に入所中でなければ、当該月の最後に退所した年月日を記載する。	(4)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成15年4月1日に入所して現在も継続入所している場合 明細書の終了年月日：設定無し ②平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所した場合 明細書の終了年月日：平成19年9月15日 ③平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所したが、平成19年9月21日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の終了年月日：設定無し ④平成15年4月1日に入所し平成19年9月15日に退所し、平成19年9月21日から再度入所し、平成19年9月28日に退所した場合 明細書の終了年月日：平成19年9月28日
第一種自閉症児	12		
第二種自閉症児	13		
盲児	31		
ろうあ児	32		
肢体不自由児 (入所)	41		
肢体不自由児療護	43		
医療機関 (肢体不自由児)	45		
重心障害児	51		
医療機関 (重心障害児)	52		
知的障害児通園	21	通所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  施設給付支給決定保護者に対し、一連とみなされる利用契約を解消し、月の途中にサービスの提供を中止した場合に、最後にサービスを提供した日付を記載する。	(5)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成19年9月16日までサービス提供を行い、契約を終了した場合 明細書の終了年月日：平成19年9月16日
難聴幼児通園	33		
肢体不自由児 (通所)	42		
肢体不自由児通園	44		

③利用日数の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例																																																																				
知的障害児	11	入所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  施設給付決定を受けた障害児が当該月に実際に入所していた日数を記載する。日数には入所日及び退所日を含むものとし、入院又は外泊をした日数(入院又は外泊を開始した日及び施設等に戻った日は含まない。)は含めない。	(7) 平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成15年4月1日に入所して19年9月もそのまま入所していた場合 明細書の利用日数 : 30日  ②平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所した場合 明細書の利用日数 : 15日  ③平成15年4月1日に入所して、平成19年9月15日に退所したが、平成19年9月21日から再度入所し継続して入所している場合 明細書の利用日数 : 25日(15+10)  ④平成19年9月に入所中であり、9月11日～9月20日の期間入院した場合 明細書の利用日数 : 22日(30-8)  ⑤平成19年9月に入所中であり、9月21日から入院している場合 明細書の利用日数 : 21日(30-9)																																																																				
第一種自閉症児	12																																																																						
第二種自閉症児	13																																																																						
盲児	31																																																																						
ろうあ児	32																																																																						
肢体不自由児 (入所)	41																																																																						
肢体不自由児療護	43																																																																						
医療機関 (肢体不自由児)	45																																																																						
重心障害児	51																																																																						
医療機関 (重心障害児)	52																																																																						
知的障害児通園	21	通所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  障害児が当該月に実際にサービス利用した日数を記載する。。	(8) 平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①次のようにサービス提供を行った場合																																																																				
難聴幼児通園	33		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">サービスコード</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> </tr> <tr> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>211111</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>215310</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用日数カウント</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td></td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	サービスコード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	211111	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1		215310	1	1	1	1				1						利用日数カウント	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11
サービスコード	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13																																																									
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																																																										
211111	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1																																																											
215310	1	1	1	1				1																																																															
利用日数カウント	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11																																																											
肢体不自由児 (通所)	42	明細書の利用日数 : 11日となる。																																																																					
肢体不自由児通園	44	※上限額管理加算などの加算のみを利用した場合も1日とカウントする。																																																																					

④入院日数の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
知的障害児	11	入所による指定施設支援を行う障害児 施設の場合  施設給付決定を受けた障害児が当該 月に入院をした日数(入院を開始した 日及び施設等に戻った日は含まない。)を記載する。  補足: 入院から外泊へ移行した場合、外泊日 数にカウントする。外泊から入院へ移 行した場合、入院日数にカウントする。	(9)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のように データを作成する。  ①平成19年9月に入所中であり、9月11日～9月20日 と、9月25日～9月27日の期間入院した場合 明細書の入院日数：9日(8+1)  ②平成19年9月に入所中であり、9月21日から入院して いる場合 明細書の入院日数：9日
第一種自閉症児	12		
第二種自閉症児	13		
盲児	31		
ろうあ児	32		
肢体不自由児 (入所)	41		
肢体不自由児療護	43		
医療機関 (肢体不自由児)	45		
重心障害児	51		
医療機関 (重心障害児)	52		
知的障害児通園	21	通所による指定施設支援を行う障害児 施設の場合  記載の必要ない	設定しない
難聴幼児通園	33		
肢体不自由児 (通所)	42		
肢体不自由児通園	44		

⑤外泊日数の設定方法

サービス種類		事務処理要領	データ設定例
知的障害児	11	入所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  施設給付決定を受けた障害児が当該月に外泊をした日数(外泊を開始した日及び施設等に戻った日は含まない。)を記載する。  補足: 入院から外泊へ移行した場合、外泊日数にカウントする。外泊から入院へ移行した場合、入院日数にカウントする。	(9)平成19年9月の明細書を作成する場合、下記のようにデータを作成する。  ①平成19年9月に入所中であり、9月11日～9月20日と、9月25日～9月27日の期間入院した場合 明細書の入院日数：9日(8+1)  ②平成19年9月に入所中であり、9月21日から入院している場合 明細書の入院日数：9日
第一種自閉症児	12		
第二種自閉症児	13		
盲児	31		
ろうあ児	32		
肢体不自由児 (入所)	41		
肢体不自由児療護	43		
医療機関 (肢体不自由児)	45		
重心障害児	51		
医療機関 (重心障害児)	52		
知的障害児通園	21	通所による指定施設支援を行う障害児施設の場合  記載の必要ない	設定しない
難聴幼児通園	33		
肢体不自由児 (通所)	42		
肢体不自由児通園	44		

(5) 障害児施設給付費明細書 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
					K121	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	サービスコード	数字	6	サービスコード6桁	◎	※C
8	単位数	数字	6	サービスコードごとの単位数	◎	
9	回数	数字	3	サービスコードごとの回数	◎	
10	サービス単位数	数字	9	サービスコードごとの算定額	◎	
11	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

(6) 障害児施設給付費 明細書 集計情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
					K121	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O4を設定する(集計情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックマジック1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード2桁を設定	◎	※C
8	集計欄分類番号	数字	1	同一のサービス種類コードで複数の集計情報を作成する為の集計欄分類番号を設定	◎	※1
9	サービス利用日数	数字	2	サービス利用日数を設定 本体報酬を算定しない日において、各種加算のみを算定した場合も1日とカウントする。上限額管理加算も1日とカウントする。	◎	
10	給付単位数	数字	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号ごとの単位数を設定	◎	
11	単位数単価	数字	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字。8.5 円の場合、08500 を設定	◎	
12	給付率	数字	3	給付率を設定	◎	
13	総費用額	数字	10	サービスの総費用額を設定	◎	
14	給付率に基づく請求額	数字	10	総費用額 × 給付率 / 100	◎	
15	給付率に基づく利用者負担額②	数字	6	総費用額 - 給付率に基づく請求額	◎	
16	上限月額調整(①②の内少ない数)	数字	6	利用者負担上限月額と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうを設定	◎	
17	A型減免 事業者減免額	数字	6	設定しない。		
18	減免後利用者負担額	数字	6	設定しない。		
19	調整後利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額を設定	○	
20	上限額管理後利用者負担額	数字	6	上限額管理後利用者負担額を設定	○	
21	決定利用者負担額	数字	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)。	◎	
22	給付費	数字	10	給付費請求額を設定	◎	
23	高額障害福祉サービス費	数字	10	設定しない。		
24	特別対策費	数字	10	特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
					K121	
25	自治体助成分請求額	数字	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定	○	※2
26	算定日額	数字	4	サービス種類ごとに算定する日額を設定	○	※3
27	日数	数字	2	サービス種類ごとに算定する日数を設定	○	※3
28	給付費請求額	数字	5	サービス種類ごとに給付費請求額を設定	○	※3
29	実費算定額	数字	6	サービス種類ごとに利用者が負担する実費の額を設定	○	※3
30	対象期間(開始)	数字	6	設定しない。		
31	対象期間(終了)	数字	6	設定しない。		
32	当月の利用日数	数字	2	設定しない。		
33	原則日数の総和	数字	3	設定しない。		

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インターフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 1 : 2、3および4以外の情報は1を設定する。

2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合、2を設定する。具体的には丙地以外に所在する事業所において、下記障害児施設サービスを行った場合となる。

#### (1)知的障害児施設給付

- ①重度知的障害児支援加算
- ②重度重複障害児加算
- ③強度行動障害児特別支援加算
- ④自活訓練加算

#### (2)盲ろうあ児施設給付費

- ①盲ろうあ児支援加算
- ②重度盲ろうあ児支援加算
- ③重度重複障害者加算

#### (3)肢体不自由児施設支援

- ①乳幼児加算
- ②重度肢体不自由児支援加算
- ③重度重複障害者加算

#### (4)重症心身障害児施設給付費

- 3 : 同一サービス種類で給付率が異なる場合(障害児施設給付費の激変緩和加算)
- 4 : 同一サービス種類で給付率が異なる場合(特別対策事業の激変緩和加算)

## ※2 助成請求額設定ルール

助成請求額の計算方法としては、国制度(利用者負担調整など)を適用した後の利用者負担額に対してサービス種類ごとに定率を助成する方式とする。

助成請求額=決定利用者負担額×市町村助成率(小数点以下切捨)

例)施設(入所)と施設(通所)のサービス提供を受ける利用者で、施設(通所)の利用者負担額のうち半分を市町村が助成する場合

	施設(入所)	施設(通所)	
決定利用者負担額	7500	4,800	$4,800(\text{円}) \times 50(\%)$
助成請求額		2,400	

↓

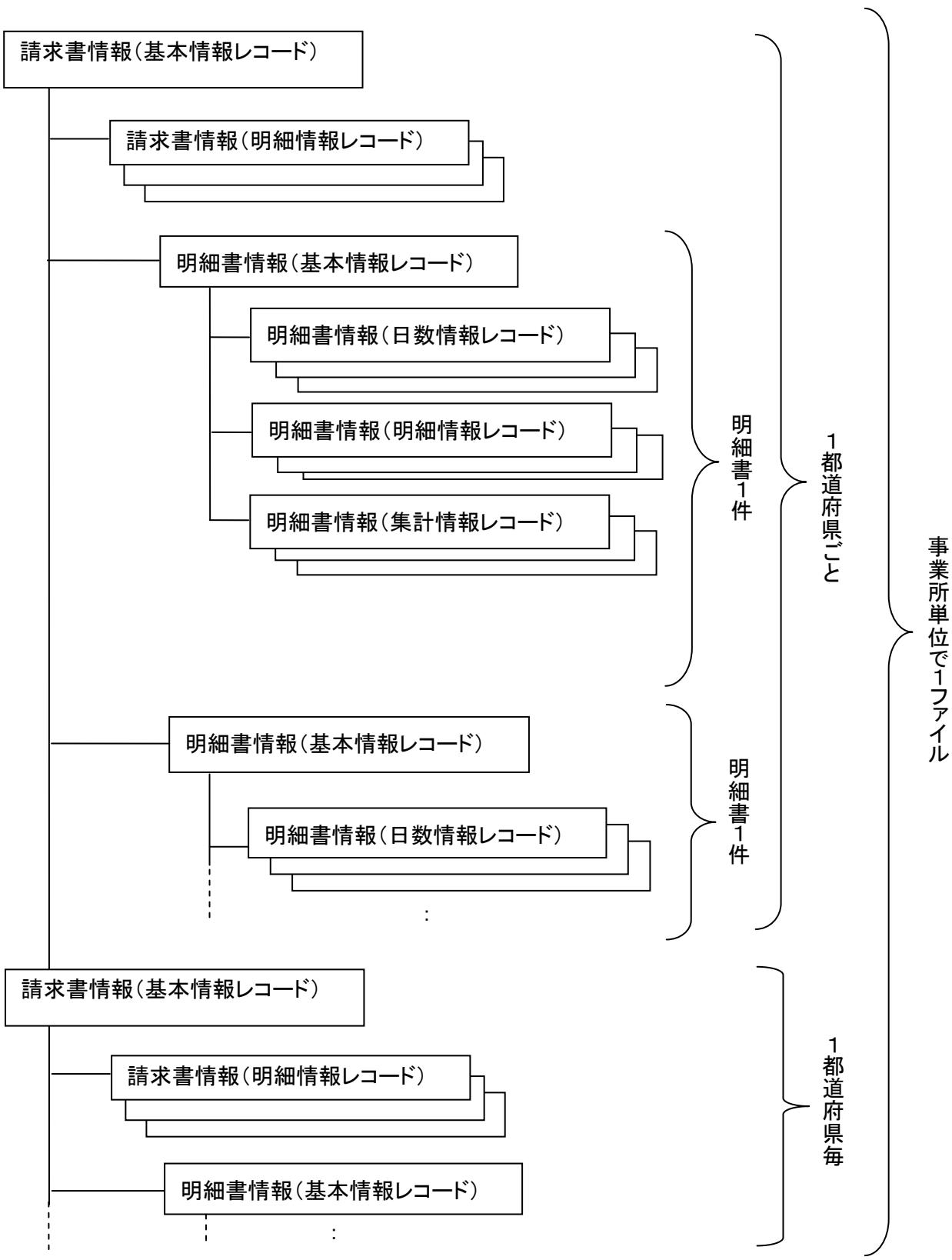
実際の利用者負担額は、 $7,500 + 4,800 - 2,400 = 9,900$  となる。

## ※3 集計欄分類番号=1のレコードのみに設定が必要である。

必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

## 障害児施設給付費請求書／明細書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 2.1.3.3. 利用者負担上限額管理結果票情報

#### (1) 利用者負担上限額管理結果票情報

利用者負担上限額管理結果票情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1 : 基本情報レコード

上限額管理事業所単位に利用者負担上限額管理結果票の基本情報等を格納する。

##### 2 : 明細情報レコード(複数レコード)

各サービス提供事業所ごとの上限額管理結果額等を格納する。

(2) 利用者負担上限額管理結果票 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	上限額管理結果票情報作成区分コード	数字	1	上限額管理票の作成区分を設定する。 1:新規 2:修正 3:取消	◎	※1
5	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックボックス1桁含む)	◎	※C
6	上限管理事業所番号	数字	10	上限管理を行った事業所の事業所番号を設定	◎	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
8	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	
9	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	
10	利用者負担上限月額	数字	5	利用者負担上限月額を設定	◎	
11	利用者負担上限額管理結果	数字	1	上限額管理結果を設定	◎	※2
12	総費用額	数字	10	サービスの総費用額	◎	※3
13	合計 利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額	◎	※3
14	管理結果 利用者負担額	数字	6	上限管理結果額 利用者負担額	◎	※3

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 上限額管理票情報の作成区分を設定する。当該処理年月内で初めて送付する場合は、「新規」を設定する。内容に変更が発生し、再度送付する場合は、「修正」を設定する。情報自体を取り消す場合は「取消」を設定する。

※2 “1”：管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない  
“2”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下そのため、調整事務は行わない。  
“3”：利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※3 事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インターフェース上は常に必須とする。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(3) 利用者負担上限額管理結果票 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックデジット1桁含む)	◎	※C
5	上限管理事業者番号	数字	10	上限管理を行った事業所の事業所番号を設定	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	項目番	数字	2	1から通番を設定	◎	
8	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
9	利用者負担額集計・調整欄 総費用額	数字	10	サービスの総費用額	◎	※1
10	利用者負担額	数字	6	調整後利用者負担額	◎	※1
11	管理結果 利用者負担額	数字	6	上限管理結果額 利用者負担額	◎	※1

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

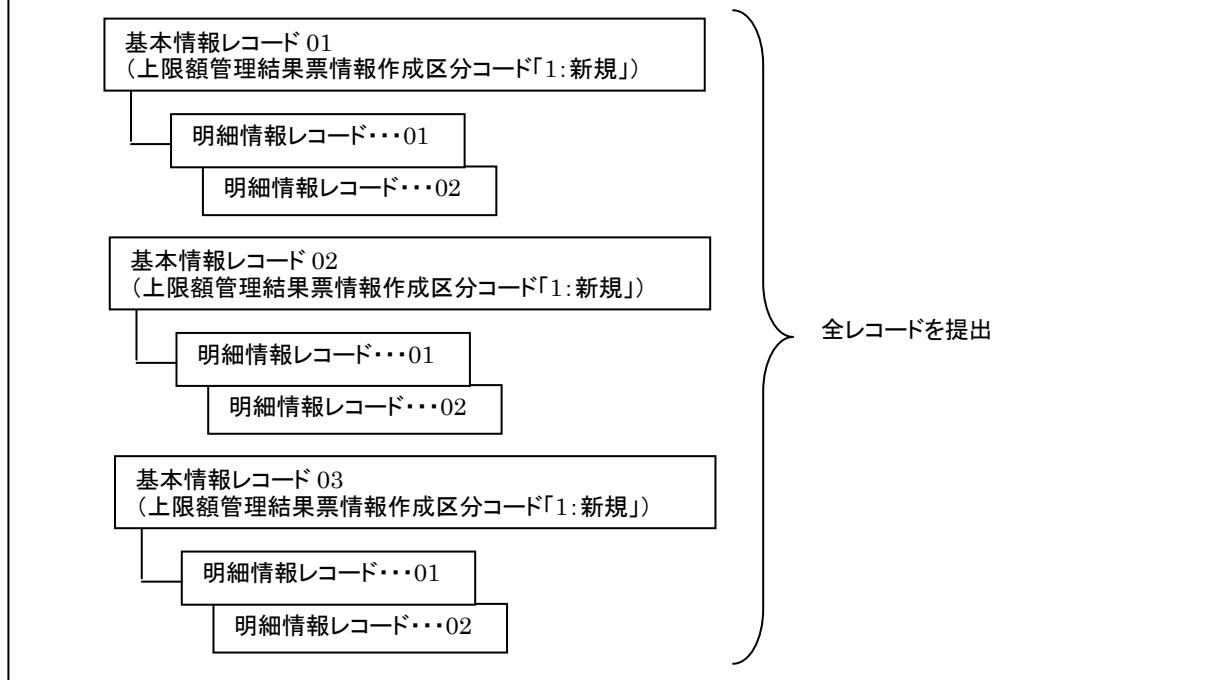
※1 事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インターフェース上は常に必須とする。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

#### (4) 利用者負担上限額管理結果票情報レコード作成方法

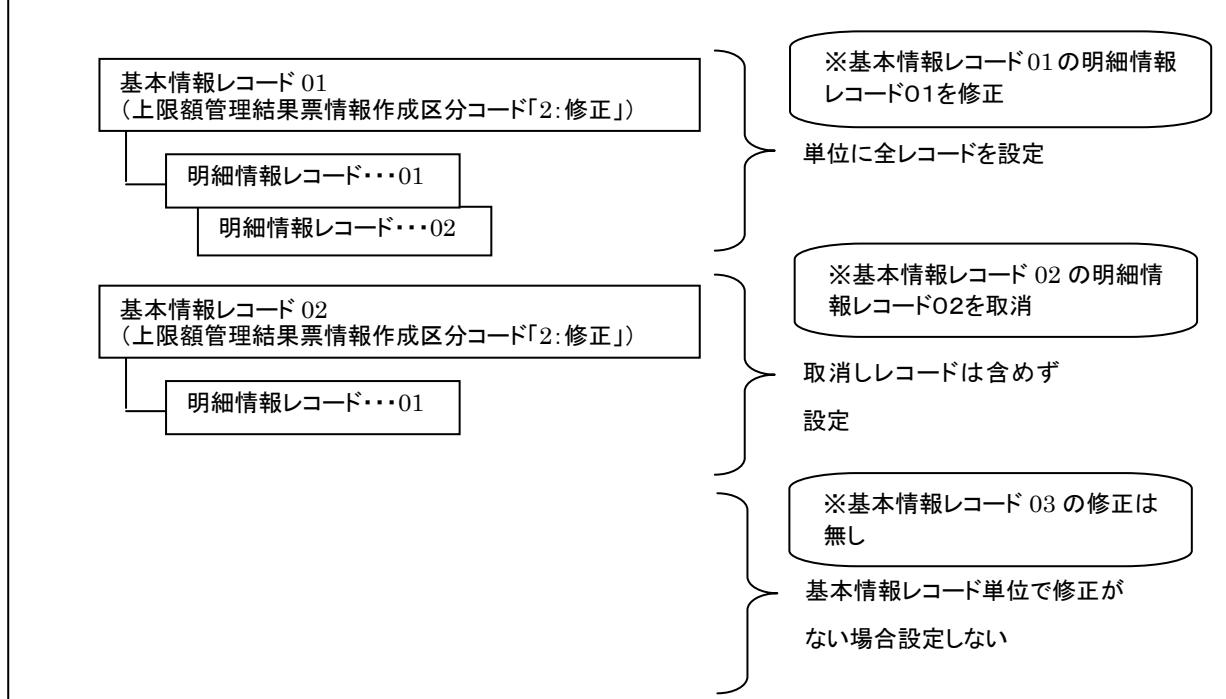
##### ①新規に利用者負担上限額管理結果票情報を提出する場合

⇒ 上限額管理結果票情報作成区分コード「1：新規」を設定し、全レコードを提出する。



##### ②提出した利用者負担上限額管理結果票情報を修正する場合

⇒ 修正が必要な情報の基本情報レコードに対して上限額管理結果票情報作成区分コード「2：修正」を設定し、基本情報レコード単位に修正後の最新レコードを提出する。



③提出した利用者負担上限額管理結果票情報を取消す場合（基本情報レコード単位の取消）

⇒取消しが必要な基本情報レコードに対して上限額管理結果票情報作成区分コード「3：取消」を設定し、基本情報レコードのみ提出する。

基本情報レコード 01  
(上限額管理結果票情報作成区分コード「3:取消」)

※基本情報レコード 01 の取消し

基本情報レコード 01 のみ設定

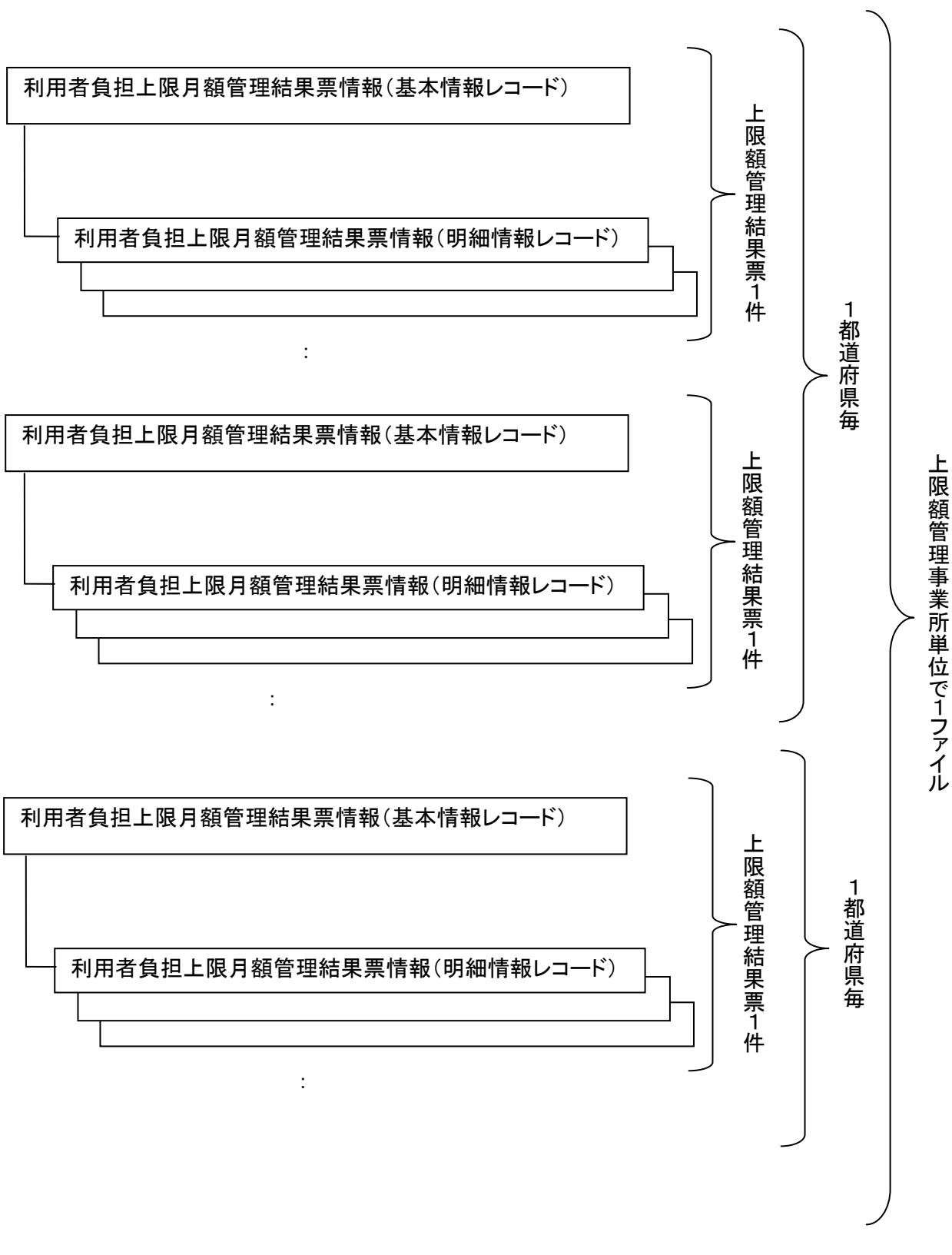
取消さないため基本情報レコード 02 について  
は、設定しない

取消さないため基本情報レコード 03 について  
は、設定しない

注) 同一キー（証記載都道府県番号・受給者証番号・サービス提供年月・上限額管理事業所番号）の利用者負担上限額管理結果票更新結果の取消を行い、新規で再度登録する場合は、同一ファイルに取消データと新規データを作成してはならない。

## 利用者負担上限額管理結果票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



#### 2.1.3.4. 利用者負担額一覧表情報

##### (1) 利用者負担額一覧表情報

利用者負担額一覧表情報は1つの情報レコードから構成される。

利用者負担額一覧表情報に関してはインターフェース仕様書(共通編)に定める「コントロールレコード」、「データレコード」、「エンドレコード」の設定は不要である。

###### 1: 情報レコード

受給者ごとの請求額、利用者負担額等を格納する。

##### (2) 利用者負担額一覧表 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
3	上限額管理事業所番号	数字	10	上限額管理者の事業所番号	◎	※C	
4	事業所番号	数字	10	事業所番号	◎	※C	
5	項目番	数字	4	1からの連番を設定	◎		
6	事業所名称	漢字	80	利用者負担額一覧表を作成した事業所の主たる事業所名称を設定。 インターフェースを受け渡した場合に、上限額管理結果票の各事業所名称欄に印刷する為の項目。	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
8	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックマジック1桁含む)	◎	※C	
9	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△		
10	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△		
11	総費用額	数字	10	サービスの総費用額	◎		
12	利用者負担額	数字	6	明細書の調整後利用者負担額	◎		
13	提供サービス	サービス種類コード1	数字	2	提供したサービス種類コード2桁を優先順位が高い順に設定	◎	※1
14		サービス種類コード2	数字	2	提供したサービス種類コード2桁を優先順位が高い順に設定	○	※1
15		サービス種類コード3	数字	2	提供したサービス種類コード2桁を優先順位が高い順に設定	○	※1

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

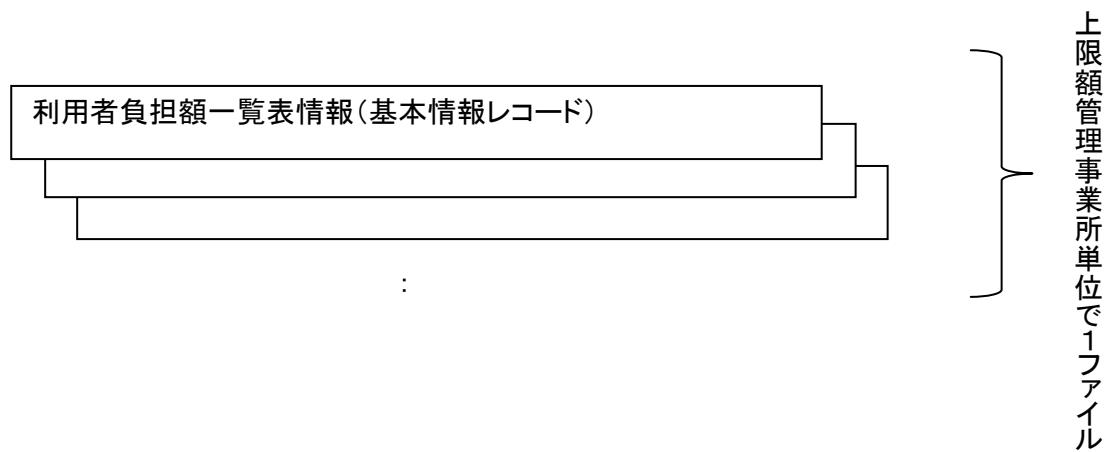
※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 サービス種類コードは最大3つまでを優先順位の高い順に設定する。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

## 利用者負担額一覧表情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 2.1.3.5. サービス提供実績記録票情報

#### (1) サービス提供実績記録票情報

サービス提供実績記録票情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1 : 基本情報レコード

支給決定障害者毎のサービス提供実績記録票の基本情報等を格納する。

##### 2 : 明細情報レコード(複数レコード)

日ごと、サービス提供回数ごとの明細情報等を格納する。

#### (2) 基本情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	説明	※必須 (様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックボックス1桁含む)	◎	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
7	様式種別番号	数字	4	様式番号2桁、枝番2桁を設定	◎	◎	※1
8	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	数字	1	1:無し 2:有り	○	
9		補足給付額(円／日)	数字	4	補足給付適用の有無が有りの場合に、一日単位の補足給付額を設定	○	
10		食費の単価 朝食(円／日)	数字	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	○	
11		食費の単価 昼食(円／日)	数字	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	○	
12		食費の単価 夕食(円／日)	数字	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	○	
13		食費の単価 一日(円／日)	数字	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、一日単位の単価を設定(契約が1日単位の場合)	○	
14		光熱水費の単価 一日(円／日)	数字	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、日単位の光熱水費単価を設定(契約が一日単位の場合)	○	
15		光熱水費の単価 一月(円／月)	数字	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、一月単位の光熱水費単価を設定(契約が一月単位の場合)	○	

項目番	項目名	属性	バト	説明	※必須 (様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
16	合計1(身体介護・行動支援) 護・重度訪問)	内訳 100%	数字	4	設定しない。		
17		内訳 70%	数字	4	設定しない。		
18		内訳 重訪	数字	4	設定しない。		
19		合計 算定時間数計	数字	4	設定しない。		
20	合計2(通院介護(伴う))	内訳 100%	数字	4	設定しない。		
21		内訳 70%	数字	4	設定しない。		
22		内訳 重訪	数字	4	設定しない。		
23		合計 算定時間数計	数字	4	設定しない。		
24	合計3(家事援助)	内訳 100%	数字	4	設定しない。		
25		内訳 90%	数字	4	設定しない。		
26		合計 算定時間数計	数字	4	設定しない。		
27	合計4(通院介護) (伴う)	内訳 100%	数字	4	設定しない。		
28		内訳 90%	数字	4	設定しない。		
29		合計 算定時間数計	数字	4	設定しない。		
30	合計5(通院等乗降) 介助)	内訳 100%	数字	3	設定しない。		
31		内訳 90%	数字	3	設定しない。		
32		合計 算定時間数計	数字	3	設定しない。		
33	提供実績の合計	算定 移動介護分	数字	3	設定しない。		
34		実績 送迎加算(回)	数字	2	設定しない。		
35		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定	○	
36		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数字	2	家庭連携加算の算定回数を設定	○	
37		合計 算定日数(日)	数字	2	設定しない。		
38		夜間支援体制加算(回)	数字	2	設定しない。		
39		日中介護等支援加算 (回)(サービス提供回数)	数字	2	設定しない。		

項目番	項目名	属性	バト	説明	※必須 (様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
40	日 中介護等支援加算(回)(算定回数)	数字	2	設定しない。			
41	通所型(回)	数字	2	設定しない。			
42	訪問型 1時間未満(回)	数字	2	設定しない。			
43	訪問型 1時間以上(回)	数字	2	設定しない。			
44	短期滞在加算(回)	数字	2	設定しない。			
45	食事提供加算(回)	数字	2	食事提供加算の提供回数を設定		○	
46	入院・外泊時加算(回)	数字	2	加算を算定する回数を設定	○		
47	入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	入院時支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	○		
48	入院時支援特別加算(回) (算定回数)	数字	2	入院時支援特別加算の算定回数の合計を設定	○		
49	自立生活支援加算(回)	数字	2	設定しない。			
50	自活訓練加算(回)	数字	2	自活訓練加算の回数を設定	○		
51	訪問支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	訪問支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定		○	
52	訪問支援特別加算(回) (算定回数)	数字	2	訪問支援特別加算の算定回数の合計を設定		○	
53	施設外支援 当月(日)	数字	2	設定しない。			
54	施設外支援 累計(日／180日)	数字	2	設定しない。			
55	帰宅時支援加算(回) (サービス提供回数)	数字	2	設定しない。			
56	帰宅時支援加算(回) (算定回数)	数字	2	設定しない。			
57	実費算定の合計	朝食(回)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝食の合計回数を設定	○	
58		昼食(回)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼食の合計回数を設定	○	
59		夕食(回)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕食の合計回数を設定	○	
60		光熱水費(回)	数字	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、光熱水費を徴収する日数を設定	○	
61		各小計 食事(円)	数字	7	補足給付適用の有無が有りの場合に、単価と算定回数から食費の合計を計算し設定する。	○	
62		各小計 光熱水費(円)	数字	7	補足給付適用の有無が有りの場合に、単価と算定回数から光熱水費の合計を計算し設定する。1月単位の契約の場合は1月の額を設定する。	○	

項目番号	項目名	属性	バイト	説明	※必須 (様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
63	実費合計額(円)	数字	8	補足給付適用の有無が有りの場合に、食費、高熱水費の小計を合計し設定する。	○		
64	入所時特別支援 加算	利用開始日(年月日)	数字	8	設定しない。		
65		30日目(年月日)	数字	8	設定しない。		
66		当月算定日数(日)	数字	2	設定しない。		
67	退所時特別支援 加算	入所中算定日(年月日)	数字	8	設定しない。		
68		退所日(年月日)	数字	8	設定しない。		
69		退所後算定日(年月日)	数字	8	設定しない。		
70	初期加算	利用開始日(年月日)	数字	8	設定しない。		
71		30日目(年月日)	数字	8	設定しない。		
72		当月算定日数(日)	数字	2	設定しない。		
73	地域移行加算	入所中算定日(年月日)	数字	8	設定しない。		
74		退所日(年月日)	数字	8	設定しない。		
75		退所後算定日(年月日)	数字	8	設定しない。		
76	重度包括	実績単位数(単位)	数字	6	設定しない。		
77		実績割合(%)	数字	4	設定しない。		
78		支給決定量(単位)	数字	6	設定しない。		
79		報酬請求額(円)	数字	7	設定しない。		
80		利用者負担上限月額(円)	数字	6	設定しない。		
81		利用者負担額(円)	数字	6	設定しない。		
82		共同生活介護合計日数	数字	2	設定しない。		
83		短期入所合計日数	数字	2	設定しない。		
84		その他サービス合計時間数	数字	4	設定しない。		
85		当該月の日数	数字	2	設定しない。		
86		サービス担当者会議開催日	数字	8	設定しない。		

項目番	項目名	属性	バト	説明	※必須 (様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
87	重度訪問介護(様式3-2)集計欄	第1時間帯 早朝	数字	3	設定しない。		
88		第1時間帯 日中	数字	3	設定しない。		
89		第1時間帯 夜間	数字	3	設定しない。		
90		第1時間帯 深夜	数字	3	設定しない。		
91		第2時間帯 早朝	数字	3	設定しない。		
92		第2時間帯 日中	数字	3	設定しない。		
93		第2時間帯 夜間	数字	3	設定しない。		
94		第2時間帯 深夜	数字	3	設定しない。		
95		第3時間帯 早朝	数字	3	設定しない。		
96		第3時間帯 日中	数字	3	設定しない。		
97		第3時間帯 夜間	数字	3	設定しない。		
98		第3時間帯 深夜	数字	3	設定しない。		
99		第4時間帯 早朝	数字	3	設定しない。		
100		第4時間帯 日中	数字	3	設定しない。		
101		第4時間帯 夜間	数字	3	設定しない。		
102		第4時間帯 深夜	数字	3	設定しない。		
103		第5時間帯 早朝	数字	3	設定しない。		
104		第5時間帯 日中	数字	3	設定しない。		
105		第5時間帯 夜間	数字	3	設定しない。		
106		第5時間帯 深夜	数字	3	設定しない。		
107		第6時間帯 早朝	数字	3	設定しない。		
108		第6時間帯 日中	数字	3	設定しない。		
109		第6時間帯 夜間	数字	3	設定しない。		
110		第6時間帯 深夜	数字	3	設定しない。		

項目番	項目名	属性	バイト	説明	※必須 (様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
111	施設種類	数字	2	施設の種類をサービス種類コード 2 枠で設定		○	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 様式種別番号

項目番	情報名	様式種別番号	備考
(1)	障害児施設支援（入所）提供実績記録票情報	0101	
(2)	障害児施設支援（通所）実績記録票情報	0201	

※必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

(3) 明細情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	説明	※必須(様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	O2を設定する(明細情報レコード)	◎	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
4	都道府県番号	数字	6	受給者証に記載された都道府県番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
7	様式種別番号	数字	4	様式番号2桁、枝番2桁を設定	◎	◎	※1
8	提供通番	数字	3	設定しない。			
9	日付	数字	2	日を設定。	◎	◎	
10	サービス提供回数	数字	2	設定しない。			
11	サービス内容	数字	6	設定しない。			
12	ヘルパー資格	数字	2	設定しない。			
13	運転フラグ	数字	1	設定しない。			
14	開始時間	数字	4	開始時間を数字4桁で設定 例)10:00→1000		○	
15	終了時間	数字	4	終了時間を数字4桁で設定 例)11:00→1100		○	
16	算定時間数	数字	3	設定しない。			
17	乗降(回数)	数字	2	設定しない。			
18	移動	数字	2	設定しない。			
19	派遣人数	数字	1	設定しない。			
20	前月からの継続サービス	数字	1	設定しない			
21	送迎加算 往	数字	1	設定しない。			

項目番号	項目名	属性	バイト	説明	※必須(様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
22	送迎加算 復	数字	1	設定しない。			
23	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数字	4	実際に支援に要した時間数を設定(整数部2桁+小数部2桁を設定、例:1.5時間→0150)		○	
24	家庭連携加算 (算定時間数)	数字	2	算定する時間数を設定(整数)		○	
25	自活訓練加算	数字	1	加算を算定する場合1を設定	○		
26	短期滞在加算	数字	1	設定しない。			
27	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)	数字	4	実際にサービス提供した時間数を設定(整数部2桁+小数部2桁を設定、例:1.5時間→0150)		○	
28	訪問支援特別加算 (算定時間数)	数字	2	算定する時間数を設定(整数)		○	
29	施設外支援	数字	1	設定しない。			
30	退所時支援特別加算	数字	1	設定しない。			
31	地域移行加算	数字	1	設定しない。			
32	食事提供加算	数字	1	加算対象となる低所得者に対して食事を提供した日数を設定		○	
33	入院・外泊時加算	数字	1	加算を算定する場合1を設定	○		
34	提供形態	数字	1	設定しない。			
35	備考	漢字	100	備考欄に記載が必要な場合、設定	○	○	
36	サービス提供の状況	数字	1	1:宿泊型自立訓練 2:入院 3:外泊 4:入院→外泊 5:外泊→入院 6:入院→共同生活住居に戻る→外泊 7:外泊→共同生活住居に戻る→入院	○		
37	夜間支援体制加算	数字	1	設定しない。			
38	入院時支援特別加算 (サービス提供回数)	数字	1	入院時支援特別加算の算定用件を満たす支援を行った場合1を設定。報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する。	○		
39	入院時支援特別加算 (算定回数)	数字	1	入院時支援特別加算の報酬上算定できる回数を設定する。	○		
40	帰宅時支援加算 (サービス提供回数)	数字	1	設定しない。			
41	帰宅時支援加算 (算定回数)	数字	1	設定しない。			

項目番号	項目名	属性	バイト	説明	※必須(様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
42	自立生活支援加算	数字	1	設定しない。			
43	日中介護等支援加算 (サービス提供回数)	数字	1	設定しない。			
44	日中介護等支援加算 (算定回数)	数字	1	設定しない。			
45	算定日数	数字	1	設定しない。			
46	自立訓練 訪問型時間数	数字	4	設定しない。			
47	実費算定	朝食	数字	1 補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って朝食を提供した場合1を設定。	○		※2
48		昼食	数字	1 補足給付適用の有無が有りの場合で、昼食を提供した場合1を設定	○		※2
49		夕食	数字	1 補足給付適用の有無が有りの場合で、夕食を提供した場合1を設定	○		※2
50		光熱水費	数字	1 補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って、光熱水費を徴集する日に1を設定。	○		
51	重度包括	適用単価	数字	3 設定しない。			
52		基本単位数	数字	4 設定しない。			
53		加算	数字	1 設定しない。			
54		加算後単位数	数字	4 設定しない。			
55		単位数	数字	4 設定しない。			
56		1日計	数字	5 設定しない。			
57	重度訪問(様式3-2)	1時間(13時間)	数字	1 設定しない。			
58		2時間(14時間)	数字	1 設定しない。			
59		3時間(15時間)	数字	1 設定しない。			
60		4時間(16時間)	数字	1 設定しない。			
61		5時間(17時間)	数字	1 設定しない。			
62		6時間(18時間)	数字	1 設定しない。			

項目番号	項目名	属性	バイト	説明	※必須(様式種別番号ごと)		備考
					0101	0201	
					入所	通所	
63	障害児施設支援 時間	7時間(19時間)	数字	1	設定しない。		
64		8時間(20時間)	数字	1	設定しない。		
65		9時間(21時間)	数字	1	設定しない。		
66		10時間(22時間)	数字	1	設定しない。		
67		11時間(23時間)	数字	1	設定しない。		
68		12時間(24時間)	数字	1	設定しない。		

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 様式種別番号

項目番号	情報名	様式種別番号	備考
(1)	障害児施設支援（入所）提供実績記録票情報	0101	
(2)	障害児施設支援（通所）実績記録票情報	0201	

※2 1日単位の契約の場合は、朝食、昼食、夕食の全てに1を設定。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

#### (4) 実績記録票インターフェース設定例

##### ① 留意事項

- i ) サービス提供実績記録票設定例では、インターフェース特有の設定例を主に説明する。本設定例に説明の無い事項に関しては、紙様式の記載と同様の設定方法となる。
- ii ) 個人的な契約に基づき支給量を超過してサービス提供を行った場合、支給決定を超えた部分のサービス提供実績は設定しない。算定根拠となる情報を設定する。

②通所系

No	実績記録票 紙様式記載					
	日	提供時間	家庭連携加算		訪問支援特別加算	
1 知的障害児通園施設 2日～6日 15日～16日 25日～26日			提供時間	算定時間	提供時間	算定時間
2	09:00～11:00					
3	13:00～14:00	1				
4	13:00～16:00	3				
5	13:00～14:00	1				
6	09:00～11:00					
15	13:00～15:00			2		
16	13:00～14:00			1		
25	13:00～16:00			3		
26	13:00～14:00			1		
		合計	3		4	

実績記録票インターフェース設定

日	提供時間	家庭連携加算		訪問支援特別加算	
		提供時間	算定時間	提供時間	算定時間
2	09:00～11:00				
3	13:00～14:00	1	1		
4	13:00～16:00	3	2		
5	13:00～14:00	1			
6	09:00～11:00				
15	13:00～15:00			2	2
16	13:00～14:00			1	
25	13:00～16:00			3	2
26	13:00～14:00			1	
合計		3	2	4	2

家庭連携加算、訪問支援特別加算は、実提供時間に加え、算定する時間数も設定する。

1時間までは、算定時間に1を設定し、2時間を超える場合は算定時間に2を設定する。

同様に合計回数にも実提供回数に加え、算定する回数を設定する。

③入所系

No	実績記録票 紙様式記載			実績記録票インターフェース設定		
1 【知的障害児施設】 5日～入居の場合		日	入院時支援特別加算			
			提供回数	算定回数		
		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6	1			
		7	1			
		8	1			
		9	1			
		10				
		11				
		12				
		13				
		14				
		15				
		16				
		17				
		18				
		19				
		20				
		21				
		22				
		23				
		24				
		25				
		26				
		27				
		28				
		29				
		30				
		31				
		合計	4			

5日入所開始なので、5日～31日までのサービス提供を受けた日数分データを設定する。

■入院時支援特別加算

①提供回数

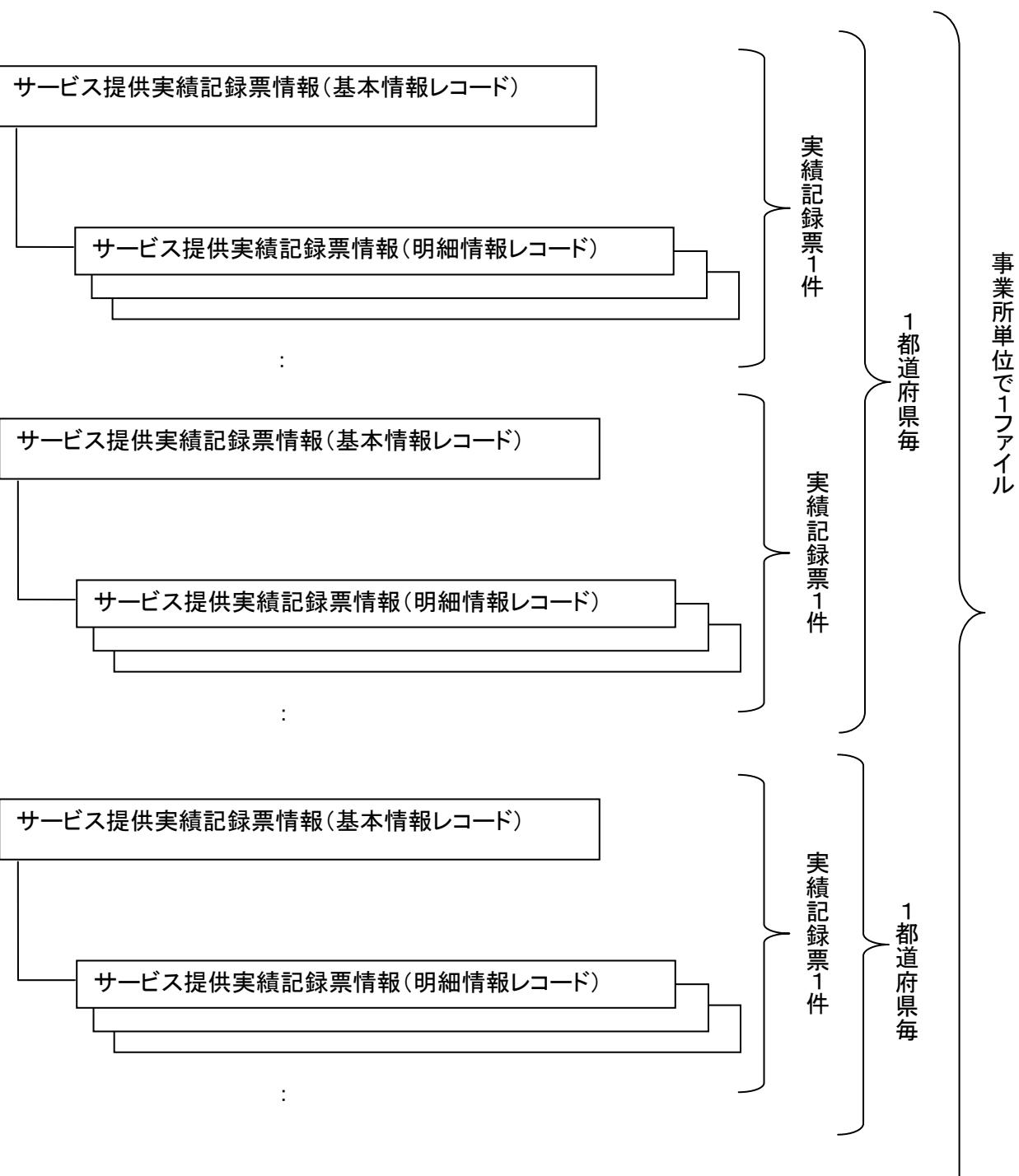
報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合、データを設定する。

②算定回数

報酬上算定できる回数を設定する。

## サービス提供実績記録票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 2.1.3.6. 障害児施設給付費等支払決定増減表情報

#### (1) 障害児施設給付費等支払決定増減表情報

障害児施設給付費等支払決定増減表情報支払決定増減表情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : ヘッダレコード

支払決定増減表の基本情報等を格納する。

2 : 明細レコード(複数レコード)

返戻件数、返戻単位数などを格納する。

3 : 合計レコード

返戻件数、返戻単位数などの合計情報を格納する。

#### (2) ヘッダレコード

項目番	項目名	属性	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	01を出力する(ヘッダレコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6	作成年月日	数字	8	処理年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
7	頁	数字	5	頁数を出力する	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(3) 明細レコード(複数レコード)

項目番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	02を出力する(明細レコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	都道府県等番号	英数	6	証記載都道府県等番号を出力する	※C
6	市町村名	漢字	40	市町村名を全角文字で出力する	
7	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
8	請求差件数	数字	8	請求差件数を出力する	
9	請求差単位数	数字	12	請求差単位数を出力する	
10	返戻件数	数字	7	返戻件数を出力する	
11	返戻単位数	数字	11	返戻単位数を出力する	

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(4) 合計レコード

項目番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	03を出力する(合計レコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	請求差件数合計	数字	8	請求差件数合計を出力する	
6	請求差単位数合計	数字	12	請求差単位数合計を出力する	
7	返戻件数合計	数字	7	返戻件数合計を出力する	
8	返戻単位数合計	数字	11	返戻単位数合計を出力する	

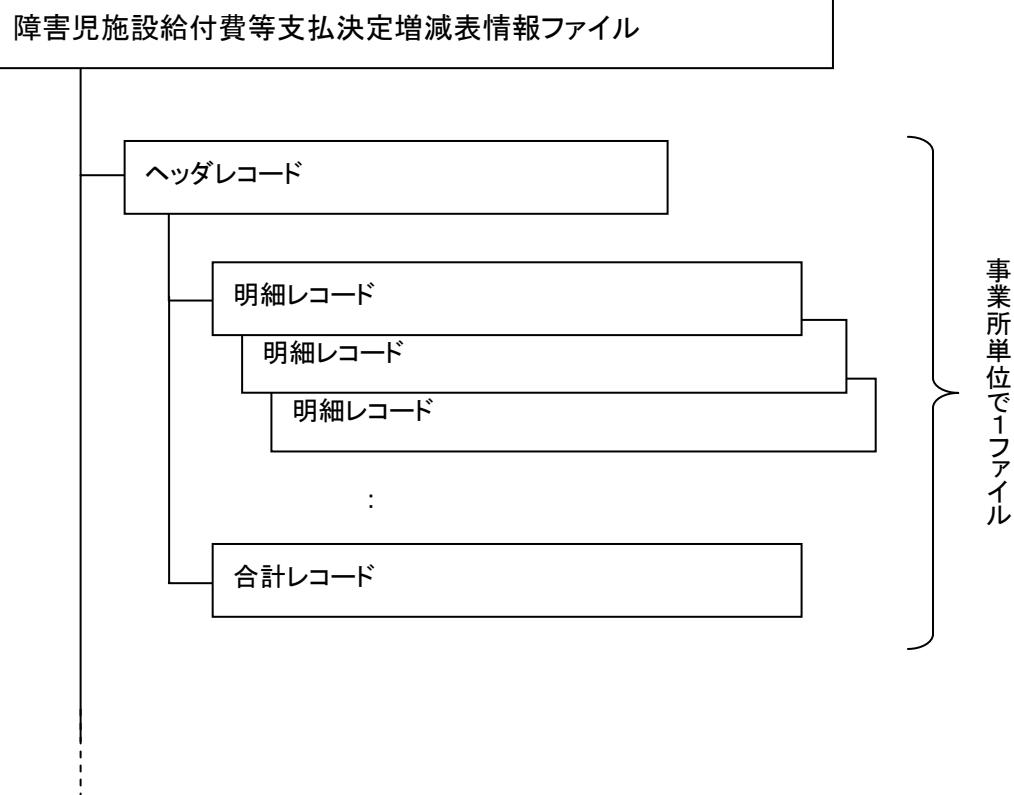
※B:「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

## 障害児施設給付費等支払決定増減表情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(5) 障害児施設給付費等支払決定増減表(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 2.1.3.7. 返戻等一覧表情報

#### (1) 返戻等一覧表情報

返戻等一覧表情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1 : ヘッダレコード

返戻等一覧表の基本情報等を格納する。

##### 2 : 明細レコード(複数レコード)

サービス種類ごとの返戻事由などを格納する。

#### (2) ヘッダレコード

項目名	属性	バイト数	内容	備考
1 交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2 帳票レコード種別	英数	2	01を出力する(ヘッダレコード)	
3 受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4 事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5 事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6 作成年月日	数字	8	処理年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
7 頁	数字	5	頁数を出力する	
8 国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	
9 データ種別名	漢字	18	データ種別名を出力する	※1

※1:「障害福祉サービス費」を出力する。

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(3) 明細レコード(複数レコード)

項目番	項目名	属性	バイト数	内容	出力対象項目(※1)				備考	
					種別					
					サ	請	明	利		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	◎	※B	
2	帳票レコード種別	英数	2	02を出力する(明細レコード)	◎	◎	◎	◎		
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	◎	◎	◎	◎	※Y	
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	◎	◎	◎	◎	※C	
5	証記載都道府県番号	英数	6	証記載都道府県等番号を出力する	◎	◎	◎	◎	※C	
6	都道府県等名	漢字	40	都道府県等名を全角文字で出力する	◎	◎	◎	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する	◎		◎	◎	※C	
8	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを出力する	◎		◎	◎		
9	種別	漢字	2	種別を出力する	◎	◎	◎	◎	※1	
10	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	◎	◎	◎	◎	※Y	
11	サービス種類	英数	2	サービス種類コードを出力する	◎		◎		※C	
12	単位数	数字	10	単位数を出力する			◎			
13	返戻事由コード	英数	4	返戻事由コードを出力する	◎	◎	◎	◎		
14	返戻事由内容	漢字	60	返戻事由の内容を出力する	◎	◎	◎	◎		

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、空白:出力対象外項目

なお、種別により出力対象項目が異なる。凡例は以下の通り。

「サ」…サービス提供実績記録票、 「請」…請求書、「明」…明細書、

「利」…利用者負担上限額管理結果票

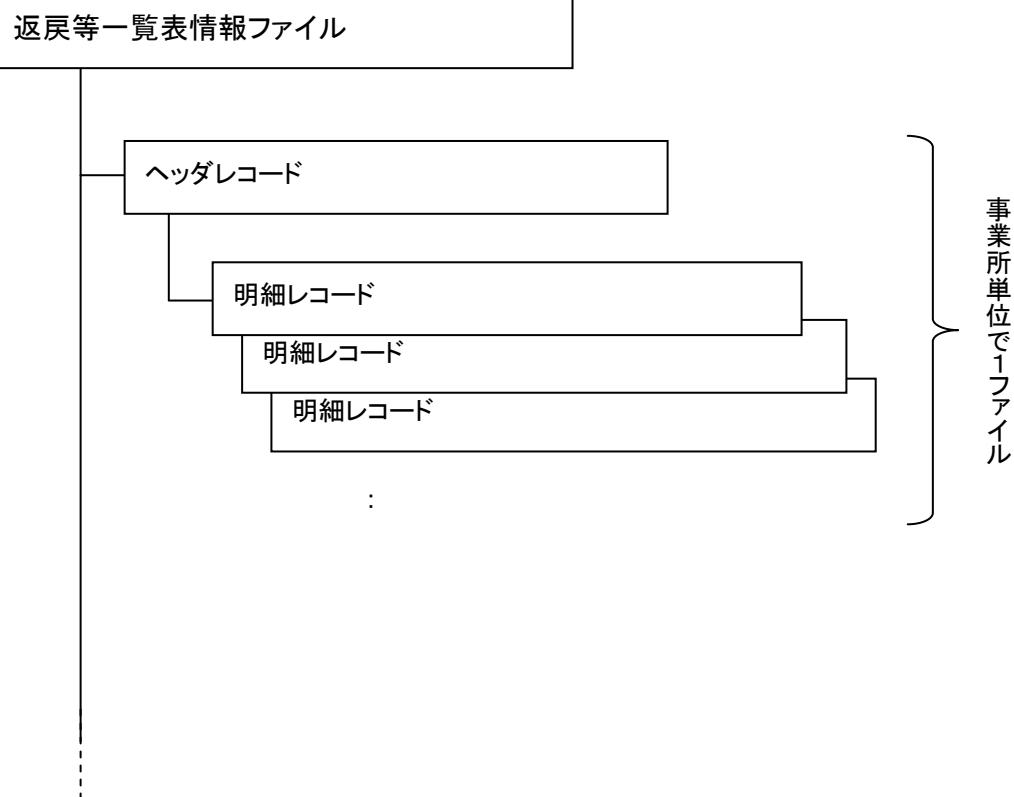
※B:「インターフェース仕様書 事業所編 2.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

## 返戻等一覧表情報 ファイル構成図

### レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### (4) 返戻等一覧表(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 2.1.3.8. 支払通知情報

#### (1) 障害児施設給付費等支払決定額通知書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

#### (2) 障害児施設給付費等支払決定額内訳書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

#### (3) 事業所別障害児施設給付費等支払明細書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

#### (4) 障害児施設給付費等支払過誤決定通知書(帳票)

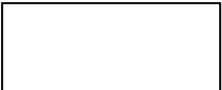
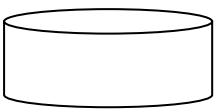
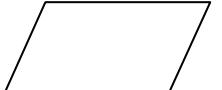
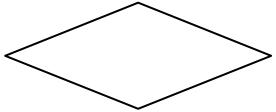
帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 3. 共同処理業務

#### 3.1. インタフェース仕様

##### 3.1.1. 受け渡し概要図

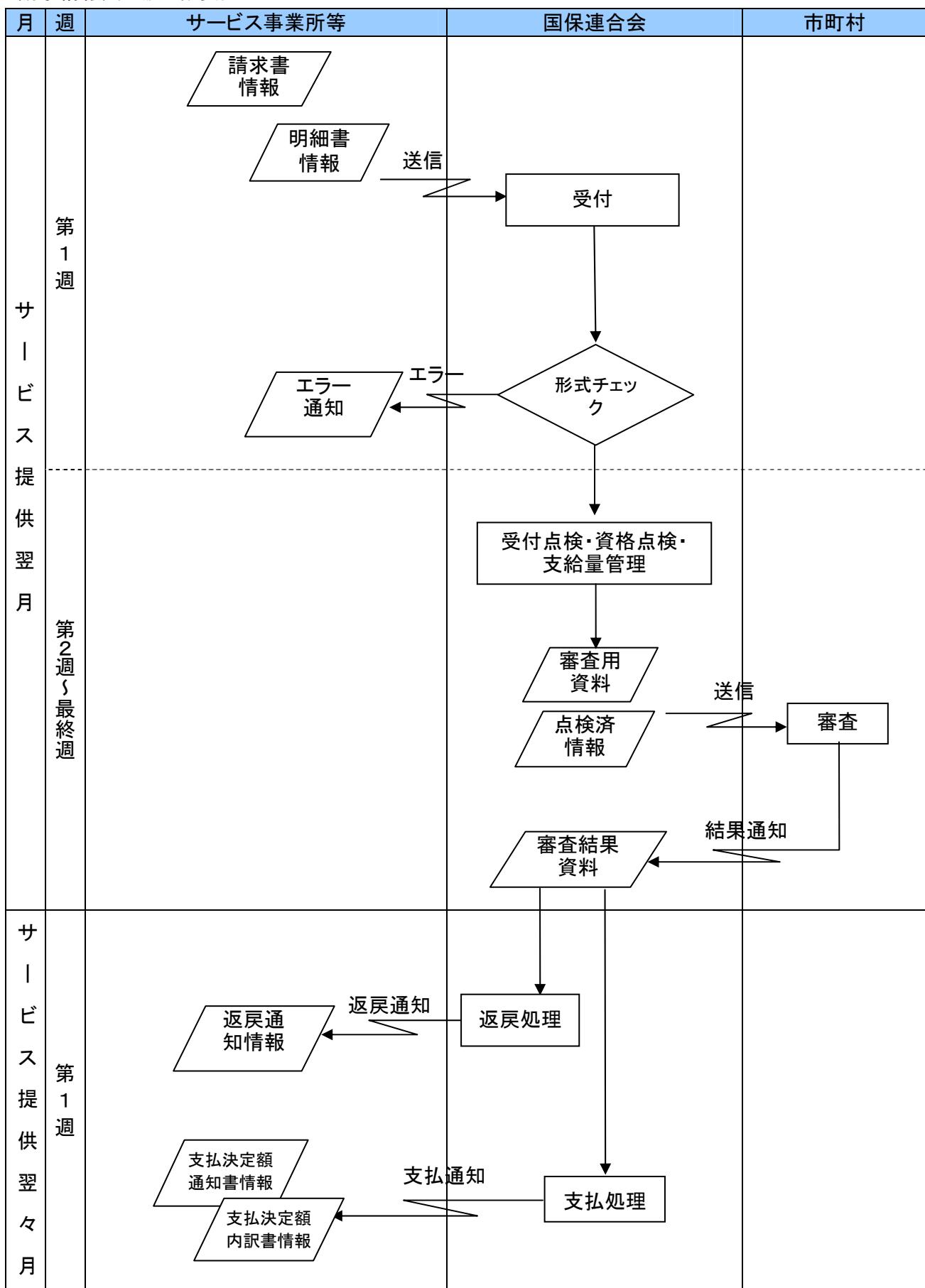
受け渡し概要図の中で用いている図の意味は、次の通り。

表示図	内容
	処理
	手作業
	データベース
	データ
	判断
	当該システムから出力された帳票
	他のシステムから出力された帳票及び添付書類等
	参照

### 3.1.1.1. 請求情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会	市町村
<p>1. サービス事業所等は、支給決定者に対してサービスを行った場合、国保連合会に請求書情報、明細書情報を送信する。</p> <p>3. サービス事業所等は、形式チェックでエラーとなった情報の確認を行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p> <p>7. 国保連合会から返戻通知情報を受け取る。</p> <p>9. 国保連合会から支払決定額通知書情報等を受け取る。</p>	<p>2. 国保連合会は、サービス事業所等より送信された請求書情報等に対して形式チェックを行う。形式チェックの結果、エラーを発見した場合、サービス事業所等へエラーを通知する。 なお、データエラーは、送信された請求書情報等の記載内容の誤りではないため、返戻として扱われない。</p> <p>4. 国保連合会は受付点検・資格点検・支給量点検を行い、市町村審査用資料および、点検済情報を作成し、市町村へ送信する。</p> <p>6. 市町村の審査結果資料により、返戻が発生した場合、サービス事業所等へ返戻通知情報を送付する。</p> <p>8. 市町村の審査結果資料に基づきサービス事業所等へ支払決定額通知書情報等を送付する。</p>	<p>5. 市町村は審査を行い、審査結果を国保連合会に送信する。</p>
<b>備考</b>		

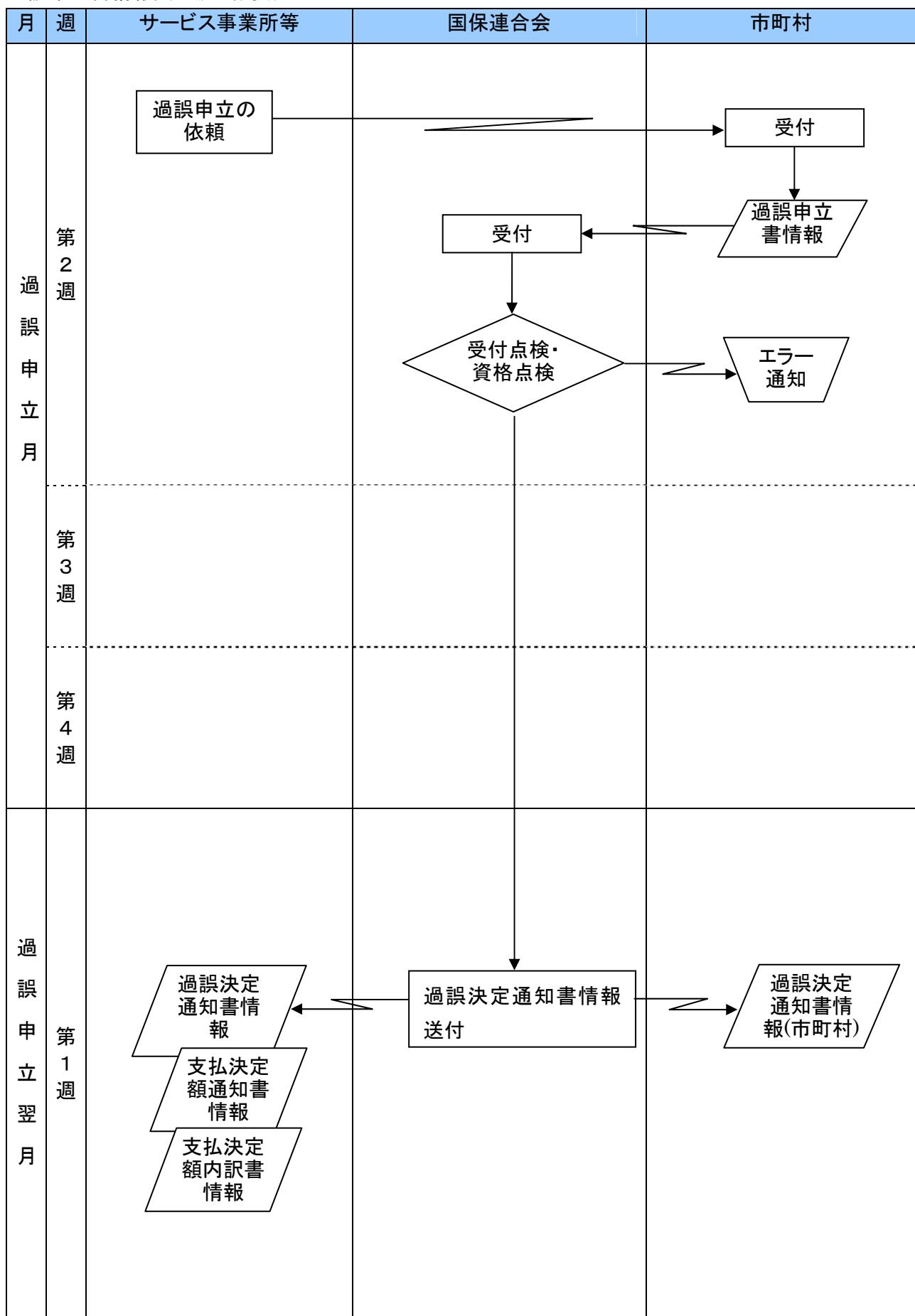
請求情報受け渡し概要図



### 3.1.1.2. 過誤情報受け渡し概要

サービス事業所等	国保連合会	市町村
<p>1. サービス事業所等は、一度審査決定した請求に対して取り下げを行う場合、市町村と調整し過誤申し立を依頼する。</p>	<p>3. 国保連合会は、受け付けた過誤申立書情報の受付点検・資格点検・支給量管理を実施し、エラーを発見した場合、市町村へエラーを通知する。</p> <p>5. 過誤申立書情報の再点検結果に基づき市町村および、サービス事業所等へ過誤決定関係書情報を送付する。</p>	<p>2. 市町村は過誤申立書情報を国保連合会に提出する。</p> <p>4. 市町村は、受付点検でエラーとなった情報の確認を行い、誤りを修正した後、国保連合会に翌月(受付期間に間に合えば当月)提出する。</p>
備考		

過誤申立書情報受け渡し概要図



### 3.1.2. インタフェース一覧

#### 3.1.2.1. 請求書・明細書情報（入力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	L111	地域生活支援事業請求書情報	サービス事業所等から地域生活支援事業の請求を行う際に提出するサービス事業所単位の集計情報。	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送
(2)	L121	地域生活支援事業明細書情報	サービス事業所等から地域生活支援事業の請求を行う際に提出するサービス事業所単位の集計情報。	サービス事業所等 → 国保連合会	月次	伝送

#### 3.1.2.2. 増減単位数返戻通知情報（出力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	L711	地域生活支援事業等支払決定増減表情報	市町村ごとの請求差、返戻の状況をサービス事業所等へ通知するためのリスト ※サービス事業所等からの依頼があった場合のみ提供	国保連合会 → サービス事業所等	月次	伝送
(2)	L721	返戻等一覧表情報	返戻となる情報を確認するためのリスト ※サービス事業所等からの依頼があった場合のみ提供	国保連合会 → サービス事業所等	月次	伝送
(3)	L7A1	地域生活支援事業等支払決定増減表	市町村ごとの請求差、返戻の状況をサービス事業所等へ通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(4)	L7B1	返戻等一覧表	返戻となる情報を確認するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF

#### 3.1.2.3. 支払通知情報（出力情報）

項目番号	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	L8A1	地域生活支援事業等支払決定額通知書	サービス事業所等への支払決定額を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(2)	L8B1	地域生活支援事業等支払決定額内訳書	サービス事業所等へ支払決定額の内訳を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(3)	L8C1	事業所別地域生活支援事業等支払明細書	サービス事業所等へ支払決定額の明細を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF
(4)	L8D1	地域生活支援事業等支払過誤決定通知書	サービス事業所等へ過誤申立の決定額を通知するためのリスト	国保連合会 → サービス事業所等	月次	PDF

### 3.1.3. 項目説明

本節では、“情報”として記載されている各帳票ごとのインターフェースについて記載する。

#### 3.1.3.1. 地域生活支援事業 請求書情報

##### (1) 地域生活支援事業 請求書情報

地域生活支援事業 請求書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

市町村、受給者、請求サービス事業所および請求金額等に関する情報を格納する。

2 : 明細情報レコード(複数レコード)

サービス種類ごとの請求件数、単位数、利用者負担額、請求額等を格納する。

(2) 地域生活支援事業 請求書 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報識別番号を設定する。	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックボックス1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	請求金額	数字	10	請求金額を設定する。 請求金額=合計 納付費請求額	◎	
7	地域生活支援事業給付費	件数	数字	6 小計 件数	◎	
8		単位数	数字	9 小計 単位数	◎	
9		費用合計	数字	10 小計 費用合計	◎	
10		給付費請求額	数字	10 小計 納付費請求額	◎	
11		特別対策費請求	数字	10 設定しない		
12		利用者負担額	数字	10 小計 利用者負担額	◎	
13		自治体助成額	数字	10 設定しない		
14	特定障害者特別給付費	件数	数字	6 設定しない		
15		費用合計	数字	10 設定しない		
16		給付費請求額	数字	10 設定しない		
17	合計	件数	数字	6 合計 件数	◎	
18		単位数	数字	9 合計 単位数	◎	
19		費用合計	数字	10 合計 費用合計	◎	
20		給付費請求額	数字	10 合計 納付費請求額	◎	
21		特別対策費請求額	数字	10 設定しない		
22		利用者負担額	数字	10 合計 利用者負担額	◎	
23		自治体助成額	数字	10 設定しない		

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

(3) 地域生活支援事業 請求書 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックマジック1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	給付種別	数字	1	1固定	◎	
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード	◎	※C
8	件数	数字	6	サービス種類毎の明細書の件数	◎	
9	単位数	数字	9	サービス種類毎の単位数	◎	
10	費用合計	数字	10	サービス種類毎の総費用額(100/100の額)の合計	◎	
11	給付費請求額	数字	10	サービス種類毎の給付費請求額	◎	
12	特別対策費請求額	数字	10	設定しない		
13	利用者負担額	数字	10	サービス種類毎の利用者負担額	◎	
14	自治体助成額	数字	10	設定しない		

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎：必須項目 ○：請求内容により必要 △：任意設定 空白：不要

### 3.1.3.2. 地域生活支援事業 明細書情報

#### (1) 地域生活支援事業 明細書情報

地域生活支援事業の明細書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1 : 基本情報レコード

市町村、受給者および請求サービス事業所等に関する明細書の基本情報を格納する。

##### 2 : 明細情報レコード(複数レコード)

実施したサービス単位のサービスコード・請求単位数等を格納する。

##### 3 : 集計情報レコード(複数レコード)

サービス種別ごと集計欄毎の請求単位数、利用者負担額等を格納する。なお、地域生活支援事業明細書の集計情報レコードは、利用者負担額の計算方法によって設定が必要なデータ項目が異なる。後述の必須項目に記載する。

#### (2) 地域生活支援事業 明細書 基本情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックマジック1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	助成自治体番号	数字	6	設定しない		
8	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	
9	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	
10	地域区分コード	数字	2	設定しない		
11	就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	数字	1	設定しない		
12	利用者負担上限月額①	数字	6	設定しない		
13	就労継続支援A型減免対象者	数字	1	設定しない		
14	障害程度区分コード	英数	2	設定しない		
15	上限額管理事業所	指定事業所番号	数字	10	設定しない	
16		管理結果	数字	1	設定しない	
17		管理結果額	数字	5	設定しない	

項目番号	項目名		属性	バイト	内容	※必須	備考
18	日 中 介 算 欄 護 等 支	指定事業所番号	数字	10	設定しない		
19		当該事業所への通所日数	数字	2	設定しない		
20	請求額集計欄 合計	給付単位数	数字	9	単位数の合計を設定	◎	
21		総費用額	数字	10	サービスの総費用額の合計を設定	◎	
22		上限月額調整(①②の内少ない数)	数字	6	設定しない		
23		A型減免	事業者減免額	数字	6	設定しない	
24		減免後利用者負担額	数字	6	設定しない		
25		調整後利用者負担額	数字	6	設定しない		
26		上限額管理後利用者負担額	数字	6	設定しない		
27		決定利用者負担額	数字	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)。	◎	
28		請求額	給付費	数字	10	給付費の請求額を設定	◎
29			高額障害福祉サービス費	数字	10	設定しない	
30			特別対策費	数字	10	設定しない	
31		自治体助成分請求額	数字	6	設定しない		
32	特定障害者特別給付費(合計)	算定日額	数字	4	設定しない		
33		日数	数字	2	設定しない		
34		給付費請求額	数字	5	設定しない		
35		実費算定額	数字	6	設定しない		

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

(3) 地域生活支援事業 明細書 明細情報レコード

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックシート1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
7	サービスコード	数字	6	サービスコード6桁	◎	※C
8	単位数	数字	6	サービスコードごとの単位数	◎	
9	回数	数字	3	サービスコードごとの回数	◎	
10	サービス単位数	数字	9	サービスコードごとの算定額	◎	
11	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※必須 ◎ : 必須項目 ○ : 請求内容により必要 △ : 任意設定 空白 : 不要

(4) 地域生活支援事業 明細書 集計情報レコード

項目番号	項目名	属性	バイト	内容	※必須		備考
					定率負担	定額負担	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	レコード種別コード	数字	2	04を設定する(集計情報レコード)	◎	◎	
3	サービス提供年月	数字	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
4	市町村番号	数字	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックボックス1桁含む)	◎	◎	※C
5	事業所番号	数字	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
6	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
7	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コード2桁を設定	◎	◎	※C
8	集計欄分類番号	数字	1	1固定	◎	◎	
9	サービス利用日数	数字	2	サービス利用日数を設定	◎	◎	
10	給付単位数	数字	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号ごとの単位数を設定	◎	◎	
11	単位数単価	数字	5	10000を設定(10円固定)	◎	◎	
12	給付率	数字	3	給付率を設定	◎		
13	総費用額	数字	10	サービスの総費用額を設定	◎	◎	
14	請求額集計欄 ↓ 給付率に基づく 請求額	数字	10	請求額を設定する。 定率負担と定額負担の場合で設定方法が異なる。※1、※2参照。	◎	◎	※1 ※2
15	利用者負担額②	数字	6	利用者負担額を設定する。 定率負担と定額負担の場合で設定方法が異なる。※3、※4参照。	◎	◎	※3 ※4
16	上限月額調整(①②の内少ない数)	数字	6	設定しない			
17	A型減免 事業者減免額	数字	6	設定しない			
18	減免後利用者負担額	数字	6	設定しない			
19	調整後利用者負担額	数字	6	設定しない			
20	上限額管理後利用者負担額	数字	6	設定しない			
21	決定利用者負担額	数字	6	算定した結果の利用者負担額を設定する。	◎	◎	※5
22	請求額 給付費	数字	10	給付費の請求額を設定。 総費用額-決定利用者負担額となる。	◎	◎	
23	高額障害福祉サービス費	数字	10	設定しない			

項目番	項目名	属性	バイト	内容	※必須		備考
					定率負担	定額負担	
24	特別対策費	数字	10	設定しない			
25		数字	6	設定しない			
26	特定障害者特別給付費	算定日額	数字	4	設定しない		
27		日数	数字	2	設定しない		
28		給付費請求額	数字	5	設定しない		
29		実費算定額	数字	6	設定しない		
30		対象期間(開始)	数字	6	設定しない。		
31	利用日数管理票	対象期間(終了)	数字	6	設定しない。		
32		当月の利用日数	数字	2	設定しない。		
33		原則日数の総和	数字	3	設定しない。		

※B 「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」を参照のこと。

※C 「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y 「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※1 定率負担の場合の請求額＝総費用額×給付率／100(小数点以下切捨)。

※2 定額負担の場合の請求額＝総費用額－給付率に基づく利用者負担額②。

※3 定率負担の場合の利用者負担額②＝総費用額－給付率に基づく請求額。

※4 定額負担の場合の利用者負担額②＝サービスコードごとに設定された利用者負担額×そのサービスコードの回数。

※5 利用者負担の上限調整を行うなどの理由で利用者負担額の調整が必要な場合には決定利用者負担額にて調整を行うこととする。(7)(8)設定例参照。

必須 ◎： 必須項目 ○： 請求内容により必要 △： 任意設定 空白： 不要

#### (5) 地域生活支援事業明細書における集計情報レコードの設定方法について

- ① 地域生活支援事業の利用者負担の計算方法は定率負担と定額負担の2通りに対応可能である。サービス種類単位に定率負担もしくは、定額負担の集計情報レコードを作成することになる。よって同一サービス種類で定率負担と定額負担の両方を用いることはできない。
- ② 地域生活支援事業の集計情報レコードにおいて、複数のサービス種類を集計する必要がある場合、サービス種類コードの昇順に集計することとする。

(6) 地域生活支援事業 請求書イメージ

地域生活支援事業給付費等請求書																																																		
平成 年 月 日																																																		
( 請 求 先 )																																																		
般	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top; width: 10%;">請求事業者</td> <td style="width: 10%;">指定事業所番号</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td colspan="7">丁</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">住 所 (所在地)</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td colspan="7">電話番号</td> </tr> <tr> <td colspan="7">名 称</td> </tr> <tr> <td colspan="7">職・氏名</td> </tr> </table>							請求事業者	指定事業所番号							丁							住 所 (所在地)							電話番号							名 称							職・氏名						
請求事業者	指定事業所番号																																																	
	丁																																																	
	住 所 (所在地)																																																	
	電話番号																																																	
名 称																																																		
職・氏名																																																		
下記のとおり請求します。																																																		
平成		年		月分																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 10%;">請求金額</td> <td colspan="7" style="text-align: right;">百万</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">千</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">万</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">十</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: right;">円 0</td> </tr> </table>								請求金額	百万							4	千	9	万	5	十	0		円 0																										
請求金額	百万																																																	
	4	千	9	万	5	十	0																																											
	円 0																																																	
<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">塗つぶし部分は 値を設定しない</span>																																																		
地域生活支援事業	区分		件数	単位数	費用合計	給付費請求額	特別対策費請求額	利用者負担額																																										
	日中預かり事業	1	5200	52000	46800		5200																																											
	移動支援事業	1	2400	24000	23050		950																																											
小計		2	5500	55000	49500		5500																																											
特定障害者特別給付費																																																		
合計		2	5500	55000	49500		5500																																											

(7) 地域生活支援事業 明細書イメージ(定率負担の場合)

地域生活支援事業給付費等明細書(定率負担)

市町村番号	1 1 1 1 1 1	助成自治体番号		平成 1 9 年 0 9 月分		
受給者証番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	指定事業所番号	1 1 6 1 1 1 1 1 1 1			
支給決定障害者等氏名	地域 太郎	請求事業者	事業者及びその事業所の名称	単位数単価を10円固定とし地域区分は設定しない。		
支給決定に係る障害児氏名	上限月額は設定しない。		地域区分			
就労継続支援A型事業者負担減免措置実施						
利用者負担上限月額 ①	就労継続支援A型減免対象者					
利用者負担上限額 管理事業所	指定事業所番号	管理結果	管理結果額			
事業所名称						
サービス種別	開始年月日 平成 年 月 日	終了年月日 平成 年 月 日	利用日数	院日数		
	開始年月日 平成 年 月 日	終了年月日 平成 年 月 日	利用日数	院日数		
	開始年月日 平成 年 月 日	終了年月日 平成 年 月 日	利用日数	院日数		
給付費明細欄	サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	摘要
	日中預かり事業1／2日	0 1 1 1 1 1	4 0 0	1 3	5 2 0 0	
	移動支援事業0.5H	0 2 1 1 1 1	8 0	1 0	8 0 0	
	移動支援事業1.0H	0 2 1 1 1 2	1 6 0	1 0	1 6 0 0	
	サービス種類は01～05を使用し、サービスコードの頭2桁はサービス種類を設定する。					
	明細書の請求額集計欄はサービス種類の昇順で左から並べる					
	集計情報レコードの「集計欄分類番号」は1固定とする					
請求額集計欄	サービス種類コード	0 1 日中預かり	0 2 移動支援			合計
	サービス利用日数	1 3 日	1 0 日			
	給付単位数	5 2 0 0	2 4 0 0			7 6 0 0
	単位数単価	1 0 0 0 円/単位	1 0 0 0 円/単位			
	給付率	9 0 /100	9 0 /100		給付率を設定する。	
	総費用額	5 2 0 0 0	2 4 0 0 0			7 6 0 0 0
	和付率に に基づく 上限月額調整(①②の内少ない数) A型減免 減免後利用者負担額	4 6 8 0 0	2 1 6 0 0	9割の額		
		5 2 0 0	2 4 0 0	1割の額		
	利用者負担額の上限額調整などを行う場合は、決定利用者負担額に調整後の利用者負担額を設定する。 注意：決定利用者負担額は利用者負担額②を超えて設定してはならない					
	決定利用者負担額	5 2 0 0	9 5 0			6 1 5 0
	給付費 請求額 特別対策費	4 6 8 0 0	2 3 0 5 0			6 9 8 5 0
	自治体助成分請求額					
特定障害者特別給付費	算定日額	日数	市町村請求額	実費算定額		
					1 枚中	1 枚目

#### (8) 地域生活支援事業 明細書イメージ(定額負担の場合)

# 地域生活支援事業給付費等明細書(定額負担)

市町村番号	1	1	1	1	1	1
助成自治体番号						

平成 19年09月分

受給者証番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
支給決定障害者等 氏名	地域	太郎								
支給決定に係る 障害児氏名										

指定事業所番号	1	1	6	1	1	1	1	1	1	1
請求事業者	事業者及び その事業所 の名称	地域生活支援事業								
	地域区分									

利用者負担上限月額 ①		就労継続支援A型減免対象者	
-------------	--	---------------	--

利用者負担上限額 管理事業所	指定事業所番号	管理結果	管理結果額
	事業所名称		

サービス種別	開始年月日	平成	年	月	日	終了年月日	平成	年	月	日	利用日数	入院日数
	開始年月日	平成	年	月	日	終了年月日	平成	年	月	日		
	開始年月日	平成	年	月	日	終了年月日	平成	年	月	日		

給付費明細欄	サービス内容		サービスコード		単位数		回数		サービス単位数		摘要					
	日中預かり事業1／2日	移動支援事業0.5H	0	1	1	1	1	1	4	0	0	1	3	5	2	0
	日中預かり事業1／2日	0 1 1 1 1 1							4 0 0	1 3		5 2 0 0		1回あたり利用者負担額500円とする場合	500円×13回=6500円	
	移動支援事業0.5H	0 2 1 1 1 1							8 0	1 0		8 0 0		1回あたり利用者負担額100円とする場合	100円×10回=1000円	
	移動支援事業1.0H	0 2 1 1 1 2							1 6 0	1 0		1 6 0 0		1回あたり利用者負担額200円とする場合	200円×10回=2000円	
	明細書の請求額集計欄は サービス種類の昇順で左から 並べる													1回あたり利用者負担額100円とする場合	100円×10回=1000円	
	集計情報レコードの「集計欄分類 番号」は1固定とする															

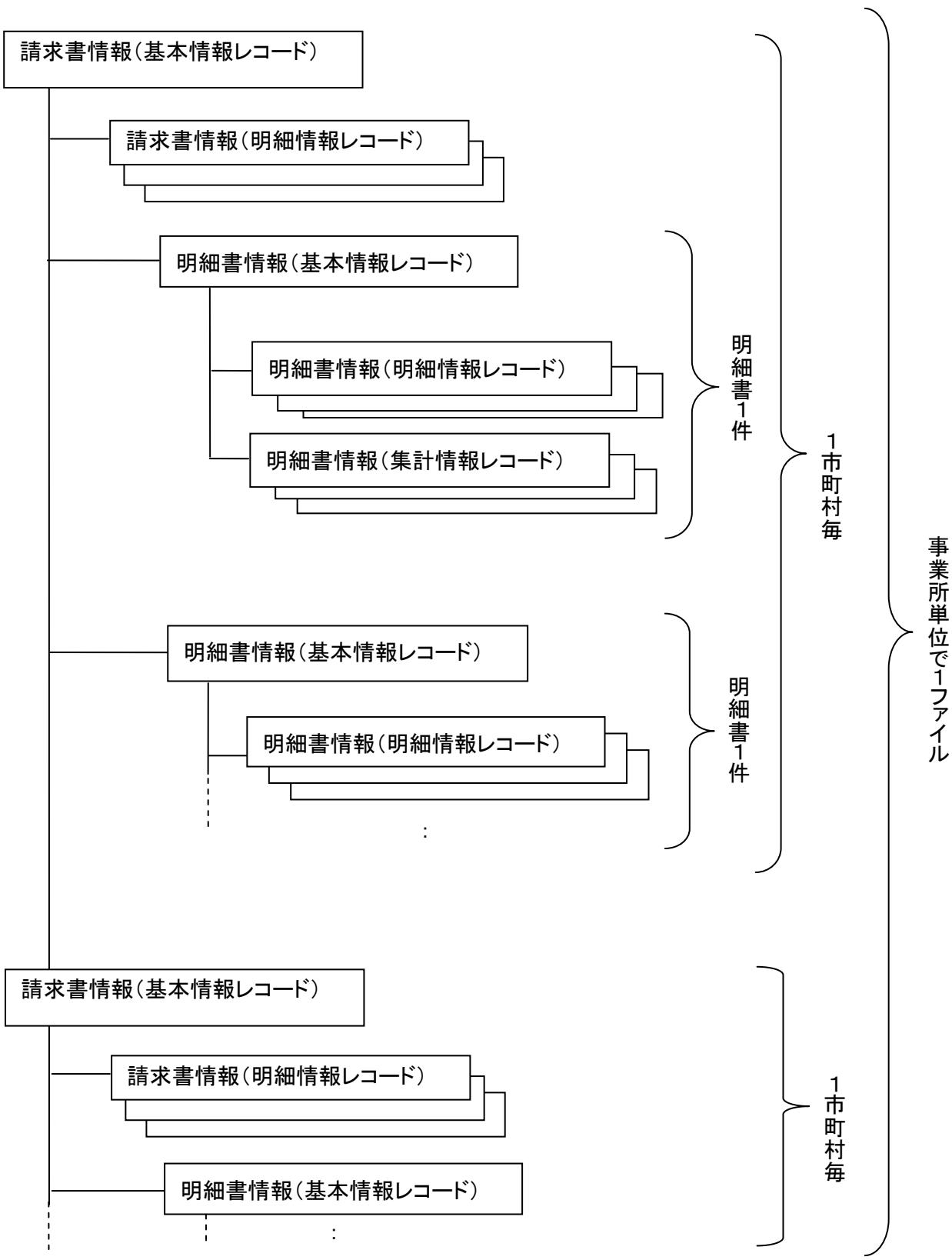
請求額集計欄	サービス種類コード		日中預かり		移動支援										合計	
	サービス利用日数	1 3	日	1 0	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
	給付単位数		5 2 0 0			2 4 0 0									7 6 0 0	
	単位数単価	1 0 0 0	0 円/単位	1 0 0 0	0 円/単位											
	給付率	9 0	/100	9 0	/100											
	総費用額	5 2 0 0 0	0	2 4 0 0 0	0										7 6 0 0 0	
	給付率 に 基づく 請求額	4 5 5 0 0	0	2 1 0 0 0	0											
	利用者負担額②	6 5 0 0	0	3 0 0 0	0											
	上限月額調整(①②の内少ない数)															
	事業者減免額															
	減免後利用者負担額															
	調整後利用者負担額															
	上限額管理後利用者負担額															
	決定利用者負担額	6 1 5 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6 1 5 0	0
	請求額 給付費 特別対策費	4 5 8 5 0	0	2 4 0 0 0	0										6 9 8 5 0	0
	自治体助成分請求額															

特定障害者特別給付費	算定日額	日数	市町村請求額	実費算定額

1 枚中 1 枚目

## 地域生活支援事業給付費等請求書／明細書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### 3.1.3.3. 地域生活支援事業等支払決定増減表情報

#### (1) 地域生活支援事業等支払決定増減表情報

地域生活支援事業等支払決定増減表情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : ヘッダレコード

支払決定増減表の基本情報等を格納する。

2 : 明細レコード(複数レコード)

返戻件数、返戻単位数などを格納する。

3 : 合計レコード

返戻件数、返戻単位数などの合計情報を格納する。

#### (2) ヘッダレコード

項目番	項目名	属性	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	01を出力する(ヘッダレコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6	作成年月日	数字	8	処理年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
7	頁	数字	5	頁数を出力する	
8	国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(3)明細レコード(複数レコード)

項目番	項目名	属性	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	02を出力する(明細レコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	市町村番号	英数	6	証記載市町村番号を出力する	※C
6	市町村名	漢字	40	市町村名を全角文字で出力する	
7	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
8	請求差件数	数字	8	請求差件数を出力する	
9	請求差単位数	数字	12	請求差単位数を出力する	
10	返戻件数	数字	7	返戻件数を出力する	
11	返戻単位数	数字	11	返戻単位数を出力する	

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(4)合計レコード

項目番	項目名	属性	バイト数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	帳票レコード種別	英数	2	03を出力する(合計レコード)	
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5	請求差件数合計	数字	8	請求差件数合計を出力する	
6	請求差単位数合計	数字	12	請求差単位数合計を出力する	
7	返戻件数合計	数字	7	返戻件数合計を出力する	
8	返戻単位数合計	数字	11	返戻単位数合計を出力する	

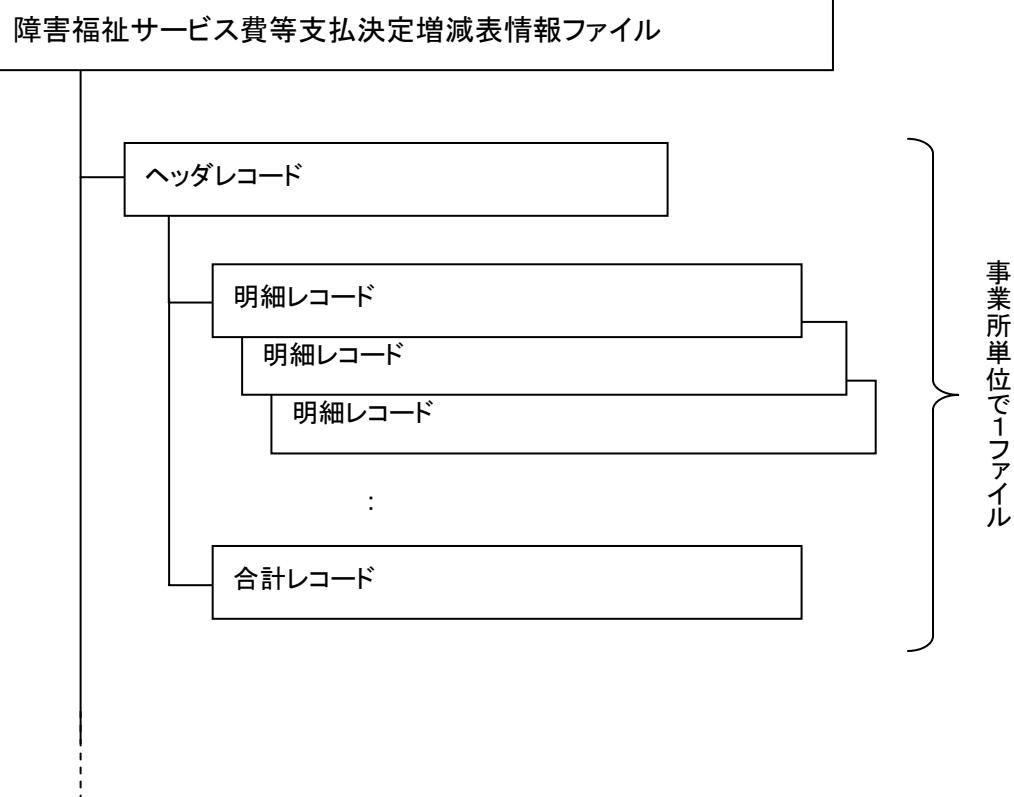
※B:「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

## 地域生活支援事業等支払決定増減表情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(5) 地域生活支援事業等支払決定増減表(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 3.1.3.4. 返戻等一覧表情報

#### (5) 返戻等一覧表情報

返戻等一覧表情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

##### 1 : ヘッダレコード

返戻等一覧表の基本情報等を格納する。

##### 2 : 明細レコード(複数レコード)

サービス種類ごとの返戻事由などを格納する。

#### (6) ヘッダレコード

項目名	属性	バイト数	内容	備考
1 交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2 帳票レコード種別	英数	2	01を出力する(ヘッダレコード)	
3 受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	※Y
4 事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	※C
5 事業所名	漢字	40	事業所名を出力する	
6 作成年月日	数字	8	処理年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を出力する	※Y
7 頁	数字	5	頁数を出力する	
8 国保連合会名	漢字	30	国保連合会名を出力する	
9 データ種別名	漢字	18	データ種別名を出力する	※1

※1:「障害福祉サービス費」を出力する。

※B:「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

(7) 明細レコード(複数レコード)

項目番	項目名	属性	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考	
					種別			
					請	明		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B	
2	帳票レコード種別	英数	2	02を出力する(明細レコード)	◎	◎		
3	受付年月	数字	6	請求受付年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	◎	◎	※Y	
4	事業所番号	英数	10	事業所番号を出力する	◎	◎	※C	
5	証記載市町村番号	英数	6	証記載市町村番号を出力する	◎	◎	※C	
6	市町村名	漢字	40	市町村名を全角文字で出力する	◎	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を出力する		◎	※C	
8	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを出力する		◎		
9	種別	漢字	2	種別を出力する	◎	◎	※1	
10	サービス提供年月	数字	6	サービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を出力する	◎	◎	※Y	
11	サービス種類	英数	2	サービス種類コードを出力する		◎	※C	
12	単位数	数字	10	単位数を出力する		◎		
13	返戻事由コード	英数	4	返戻事由コードを出力する	◎	◎		
14	返戻事由内容	漢字	60	返戻事由の内容を出力する	◎	◎		

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、空白:出力対象外項目

なお、種別により出力対象項目が異なる。凡例は以下の通り。

「サ」…サービス提供実績記録票、 「請」…請求書、「明」…明細書、

「利」…利用者負担上限額管理結果票、「計」…サービス利用計画作成費

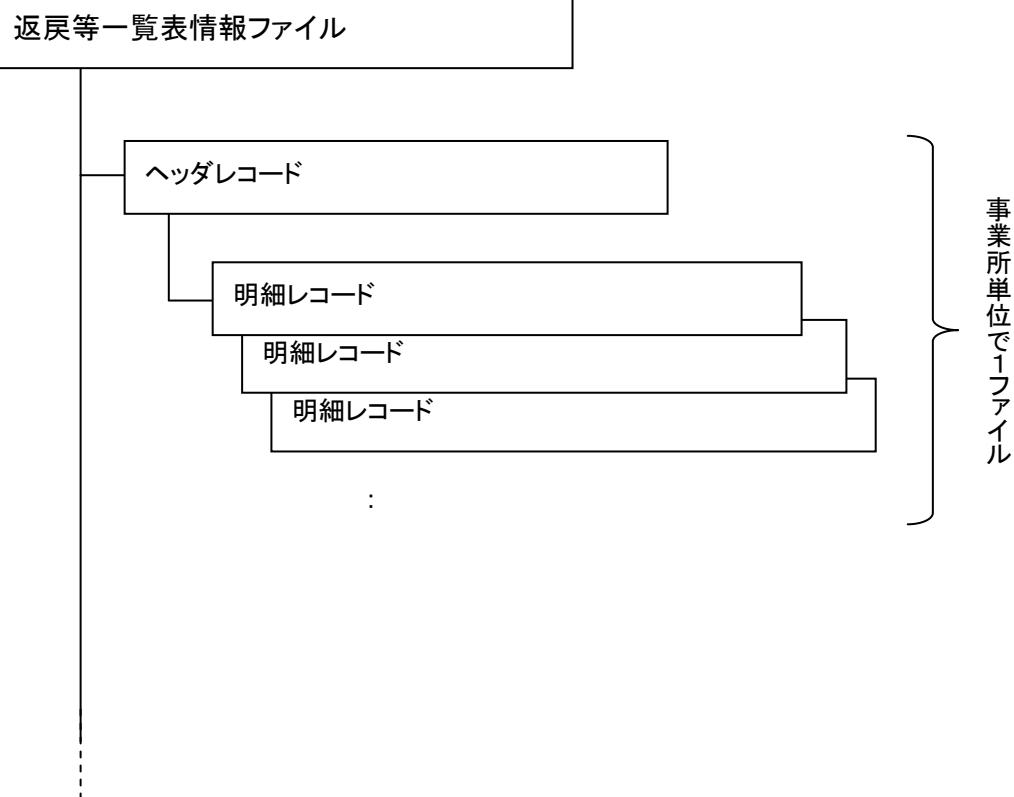
※B:「インターフェース仕様書 事業所編 3.1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インターフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インターフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

## 返戻等一覧表情報 ファイル構成図

### レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



### (8)返戻等一覧表(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

### 3.1.3.5. 支払通知情報

#### (1) 地域生活支援事業等支払決定額通知書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

#### (2) 地域生活支援事業等支払決定額内訳書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

#### (3) 事業所別地域生活支援事業等支払明細書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

#### (4) 地域生活支援事業等支払過誤決定通知書(帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません